

2008

Normalization

ASAHI SHIMBUN SOCIAL WELFARE ORGANIZATION

朝日の社会福祉

平成20年度

事業
報告



はじめに

「共に生きる豊かな福祉社会」のために

社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団にとって2008年は、創立80周年という大きな節目でした。

関東大震災（1923年）での被災者救援がきっかけで、1928年1月に前身の「社団法人朝日新聞社会事業団」が発足。歴史を継いだ08年度は、創立80周年記念事業として新たに「子どもへの暴力防止プロジェクト助成」と「養護施設・里親家庭の高校生進学応援金」に取り組んだのが特色です。とりわけ、暴力防止への関心や反響は際立ち、問題の根深さと同時に、改善へ向けた各地の熱心な活動ぶりが印象的でした。

事業見直しと組織のスリム化も春から検討作業を重ねました。主催、後援、協力を含め、展開していた事業は約300件に及んでいましたが、役目をすでに果たしたと見なせるものを中心に削減を図りました。一方では、里親家庭で暮らす子どもたちのための「権利ノート」作成など新規事業も手がけ、メリハリをつけています。09年度からは、事業を「子ども」「障害者」「高齢者」の3本柱に集中させる基本方針を決定。重点方式に切り替えます。

格差社会のひずみは深刻化し、閉塞感が色濃い中で迎えた08年度ですが、9月に米国で発生した金融危機が諸外国へも瞬く間に波及し、「100年に1度」とも「未曾有」ともいわれる世界同時不況へと拡大しました。この経済状況は、母体である朝日新聞社、さらには当事業団にも大きな影響を与え、主要事業である朝日チャリティー美術展は名古屋、大阪、東京と相次いで売り上げ減に見舞われました。一般寄付も落ち込む中で、9月に大口個人寄付（2億円）の申し出があったことは特筆されます。

福祉事業をめぐる社会環境も変化を余儀なくされています。しかし、当事業団が、「共に生きる豊かな福祉社会」の実現のため、今後も時代の要請をくみとって先駆的な事業を推進していく決意に変わりはありません。

皆様から寄せられたご支援、ご協力に厚く感謝を申し上げ、さらなるお力添えを懇願しつつ、2008年度の事業結果を報告させていただきます。

目 次

はじめに.....	1
子どもの福祉.....	5
子どもへの暴力防止プロジェクト助成	5
児童養護施設・里親家庭の高校生進学応援金	7
里親家庭で生活する「子どもの権利ノート」	8
朝日夏季保育大学（長野）	9
シンポジウム「子どもたちの居場所を考える」（名古屋）	10
前向き子育てプログラムの連続講座（大阪、和歌山）	10
街の学校（大阪）	10
第25回福祉施設絵画展（名古屋）	11
第2回演劇ワークショップ「Remix」（山梨）	11
その他のキャンプ事業	11
障害者の福祉.....	13
自閉症カンファレンスNIPPON～TEACCHモデルに学ぶ実践研究会（東京）	13
自閉症を正しく理解すること～自閉症の支援で最も大切なこと～（奈良）	14
自立課題の作り方講座（大阪、北九州、名古屋）	15
ジョブコーチ・ネットワーク（JC-NET）（沖縄、東京）	16
第25回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト（東京）	18
第27回名古屋手話通訳問題研修会（名古屋）	19
高次脳機能障害講演会（大阪）	19
高次脳機能障害支援セミナー（名古屋）	19
脳損傷・高次脳機能障害オーストラリア研修ツアー	20
団塊世代の福祉とボランティアのゆくえ（名古屋）	20
第46回心身障害問題を考える集い（名古屋）	21
1/43 この数字は何でしょう（大阪）	21
精神障害者ホームヘルプガイドブック（大阪）	22
視力障害の大学生のための「聖明・朝日盲大学生奨学金」（東京）	22
第27回肢体不自由児・者の美術展（東京）	23
「心の輪を広げる体験作文」「障害者の日のポスター」（東京）	23
第37回聴美会（名古屋）	24

- 第29回障害者歩くスキーの集い（札幌） 24
- 第29回朝日九州車いすバスケットボール選手権大会（佐賀） 24
- 第20回九州車いすツインバスケットボール選手権大会（福岡） 25
- 東海北陸車いす市民・交流集会 I N岐阜（名古屋） 26

高齢者の福祉 27

- 朝日福祉ふれあいサロン「親の介護・自分の老後」（大阪） 27
- 朝日福祉講演会「高齢者虐待を未然に防ぐために」（広島） 28
- 朝日高齢者福祉セミナー（名古屋） 28
- 第8回懐かしの童謡・唱歌を歌いましょう（大阪） 29

福祉教育・福祉啓発推進 30

- 第4回自殺防止事業（福岡） 30
- 講演会「子どもの関係づくりを考える」（大阪） 30
- 全国グループホームスタッフ・ネットワーク「京都会議」（京都） 31
- 近畿グループホームスタッフ研修会（大阪） 31
- 東海グループホームスタッフ研修会（名古屋） 31

医療と公衆衛生 32

- 第60回保健文化賞（東京） 32
- 小児がん街頭キャンペーン（名古屋） 32
- 生活習慣病市民公開講座（北九州） 32
- のびのびくらぶ（名古屋） 33
- アサヒベビー相談室（大阪・高槻・大津） 33
- アサヒベビー相談室（名古屋） 34
- マタニティスクール（名古屋） 35

チャリティー事業 36

- 朝日チャリティー美術展（名古屋、大阪、東京） 36
- 第58回メサイア演奏会（東京） 37
- 親子で楽しむクリスマスコンサート（東京） 38
- 第45回宇井あきらとレ・ザマン・ド・ラ・シャンソンコンサート（東京） 38
- 杵勝会歳末チャリティー長唄演奏会（東京） 39
- 協賛能（大阪） 39
- 第54回朝日推薦演奏会（大阪） 39
- 第50回各派合同三曲演奏会（大阪） 40
- 第56回洋舞合同祭（大阪） 40
- 朝日新聞チャリティーコンサート（大阪・西宮） 41
- 第55回各流合同茶会（大阪） 41
- 第54回歳末チャリティー朝日茶会（名古屋） 42

第38回チャリティー朝日邦楽会（名古屋）	42
スリーデーマーチ（東松山・小金井）	42
彩季会チャリティーバザー（東京）	43
百貨店協賛チャリティー（大阪）	43

その他の事業 44

朝日社会福祉賞（東京）	44
西部朝日福祉助成金（九州・沖縄・山口）	44
朝日福祉ガイドDVD新シリーズ第2弾「親と教師のための 自閉症の子どもの評価」全4巻	45
ミャンマー・サイクロン救援募金、中国四川大地震救援募金	46

おもな後援・協賛・協力事業一覧表	47
チャリティー美術展に出展いただいた皆様	55
ご寄付をいただいた皆様	65
朝日福祉ガイドブック・DVD・ビデオご案内	74
朝日新聞厚生文化事業団のあゆみ	76
2008年度収支計算書	78
理事・評議員名簿	79
お問い合わせ先・職員名簿	80

子 ども の 福 祉

80周年記念事業 子どもへの暴力防止プロジェクト助成

総額1億5,000万円・今年度は全国の20団体に約6,000万円を贈呈

朝日新聞社と共同主催。厚生労働省、テレビ朝日福祉文化事業団後援

朝日新聞厚生文化事業団創立80周年記念事業として、新たに「子どもへの暴力防止プロジェクト助成」を2カ年計画で開始しました。

このプロジェクト助成は、次代を担う子どもたちがさまざまな暴力や虐待の被害に遭わず、安心して暮らせる社会を築くことを目指したもので、子どもたちへの暴力（虐待）の防止や予防の啓発事業、暴力を受けた経験のある子どもたちへのケアなどを担う、地域の小さなグループから全国的に活動する大きな団体まで、その取り組みとうとするさまざまなプロジェクト（事業）を支援するための助成事業です。地域で活動するグループや団体に光が当たり、一人でも多くの人々が子どもへの暴力（虐待）防止に関心を持ち、地域での活動を認識し、理解を深め、新たな活動が生まれることを応援することがこの事業のねらいです。

助成総額は09年度と合わせて2年間で1億5,000万円という大きな助成事業であることと合わせて、対象のテーマを「子どもへの暴力防止」にしぼり、1団体あたりの助成額に原則として制限を設けないこと、年度を越える事業についても認めること、また、プロジェクトに要する人件費を助成額の30%まで認めることなど、これまでの他の助成事業にはない特色を盛り込み、関係各方面から注目と高い関心呼びました。

5月20日から募集を開始、7月25日の締め切り時には全国から210団体の申し込みがあり、実地調査も含めて当事業団内に設けた選考委員会による3次の選考の末、初年度は最終的に20団体、総額5,960万円の贈呈を決定しました＝別表。

厚生労働省が定めた「児童虐待防止推進月間」の11月に合わせて朝日新聞紙上その他で贈呈団体を発表し、東日本（写真上）と西日本（写真下）各10団体ずつに分かれて11月11日、東京、大阪の朝日新聞本社で贈呈式を行いました。



6 子どもの福祉

所在地	団体名	代表者名（敬称略） （代表は決定時）	プロジェクト内容
埼玉県 上尾市	NPO法人 青少年の自立を支える埼玉の会	理事長・徳地昭夫	県内自立援助ホームで生活する児童へのソーシャルスキルトレーニングと職員の研修。
千葉県 千葉市	社団法人 千葉県歯科医師会	会長・岸田 隆	1歳半と3歳児の健診未受診児童への家庭訪問による歯科健診で、暴力予防と早期発見。
千葉県 木更津市	木更津市PTA連絡協議会	会長・森 正人	子どもへの暴力防止のためのCAPプログラムを、公立の市内全小中学校で実施。
神奈川県 横浜市	子どもを性被害から守るクローバーキッズ協会	会長・渡辺久子	性暴力を受けた子どもへの対応マニュアルと、医療現場向け検査キットサンプルの製作。
東京都 文京区	社会福祉法人 カリヨン子どもセンター	理事長・坪井節子	暴力を受けた子どものメンタルケアのためのデイサロンを開設。
東京都 渋谷区	特定非営利活動法人 RRP研究会	理事長・澤部さよ子	DVの被害を受けた母子への総合的な介入教育プログラムの作成。
東京都 清瀬市	日本社会事業大学専門職大学院宮島ゼミナール	准教授・宮島 清	全国の里親支援機関の職員などを対象にした学習会や講演会の開催と啓発事業。
新潟県 長岡市	特定非営利活動法人 女のスペース・ながおか	代表理事・荻野茂子	子どもへの性暴力予防を担う支援者養成のための啓発と研修事業。
石川県 金沢市	子ども夢フォーラム	代表・高木真理子	大人を対象にした子どもへの暴力防止のための面接、電話による相談事業と相談員の養成。
愛知県 名古屋市	社会的養護の当事者推進団体なごやかサポートみらい	会長・清水真一	児童福祉施設などの社会的養護で育った子どもたちの当事者による活動拠点づくり。
愛知県 名古屋市	全国自立援助ホーム連絡協議会	代表・遠藤 浩	自立援助ホーム利用者の家族的背景や入所経過、退所までのケアなどの実態を全国で調査。
大阪府 大阪市	社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会大阪YWCA大宮保育園	理事長・都木恵子	地域の子どもへの暴力予防のための援助者養成研修と子ども向けプログラムの実施。
大阪府 大阪市	Children's Views and Voices (CVV)	代表・中村みどり	日本の社会的養護で育った若者とカナダの当事者団体PARCのメンバーとの交流事業。
大阪府	社団法人 大阪府助産師会	会長・山口福美	助産師による24時間の無料電話相談。
兵庫県 西宮市	MY TREE ペアレンツ・プログラム事務局	代表・森田ゆり	虐待する親の回復プログラム(MY TREE ペアレンツ・プログラム) 広報のためのDVDなどの製作。
兵庫県 神戸市	NPO法人女性と子ども支援センター・ウィメンズネット・こうべ	代表理事・正井禮子	中・高校生のためのデートDV防止のための出張授業(50校)。
香川県 高松市	NPO法人 子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ	理事長・中添和代	子どもへの暴力予防のための育児不安・困難を持つ母親のピアカウンセリング支援事業。
福岡県 福岡市	社団法人 福岡県助産師会	会長・平田伸子	子どもへの暴力予防のための周産期医療従事者看護職への啓発と研修。
福岡県 大刀洗町	社会福祉法人慈愛会 清心慈愛園	施設長・平田牧男	児童養護施設で子どもへの暴力防止のためのCAPプログラムを開催。
宮崎県 宮崎市	ライツ オブ チャイルド みやざき	代表・西川かおり	虐待する親の回復プログラム(MY TREE ペアレンツ・プログラム) の実施とスタッフ養成研修。
20件			助成総額 59,600,000円

この「子どもへの暴力防止プロジェクト助成」は09年度も継続して実施する予定です。

最終選考委員は、杉上春彦さん（厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課、虐待防止対策室長）、丸山浩一さん（全国児童相談所長会会長、東京都児童相談センター所長）、佐方紀子さん（テレビ朝日福祉文化事業団常務理事）、中島泰（朝日新聞東京本社生活エディター）、山本義博（当事業団理事長）、関戸衛（同常務理事）、山田雄一（同事務局長）。

80周年記念事業 児童養護施設・里親家庭の高校生進学応援金

朝日新聞社と共同主催

児童養護施設や里親家庭で生活し、経済的に恵まれない中で大学などへの進学を希望する高校生に、入学時に必要な入学金、施設設備費と支度金10万円（合計100万円を限度）を贈る事業です。18歳で児童養護施設や里親家庭から自立を余儀なくされる子どもたちの進学にかかる経済的負担を少しでも軽くし、進学への思いを応援することで、一般家庭に比べ著しく低い児童養護施設・里親家庭の子どもたちへの進学率を高め、将来への希望につなげたいと考えています。



5月から募集を開始、8月中に締め切り、74人の応募があり、応募書類と作文による選考を経て、9月末に大学や短大、専門学校への進学希望者24人が内定。最終的に辞退者を除いた20人に応援金が贈られました。

また、3月22日には、贈呈を受けた高校生たちの集いを、東京・築地の朝日新聞東京本社で開きました。20人のうち、15人が参加し、当事業団の山田雄一事務局長から「新たな生活の中では、いろいろな問題にぶつかることもあると思いますが、一人残らず卒業できるように頑張ってください」とエールが贈られました＝写真。翌23日は全員で東京ディズニーシーを訪れ、同期生としての交流を深めました。

なお、この事業は、「子どもへの暴力防止プロジェクト助成」とともに「子どもたちのこころに安心の芽を育てる」キャンペーン事業として当事業団に寄せられた遺贈寄付を財源として実施されました。09年度も8月20日締め切りで募集の予定です。

20人の進学先は以下の通りです。（順不同）

九州保健福祉大学、日本工業大学、恵泉女学園大学、明星大学、関西大学（2人）、東京工芸大学、中央大学、梅花女子大学、九州大学、広島国際大学、神奈川大学、大阪千代田短期大学、中央学院短期大学部、青森明の星短期大学、町田美容専門学校、近畿大学附属看護学校、武雄看護学校、新潟病院附属看護学校、姫路赤十字看護専門学校

里親家庭で生活する「子どもの権利ノート」

朝日新聞厚生文化事業団編集・発行

日本全国の里親家庭では、様々な理由で実の親と暮らすことができない約3,400人（06年度末）の子どもが生活しています。こうした子どもたちの豊かな生活のために里親家庭で生活する「子どもの権利ノート」を作成し、(財)全国里親会を通じて配布しました。作成に当たっては青山学院大学教授の庄司順一さんを委員長に、里親家庭で育った若者や弁護士、里親、都児童相談センター所長、ソーシャルワーカーらによる作成委員会を結成しました。

里親と生活する多くの子どもは、気持ちを表現して周囲に働きかける、人を信じて支え合うといった力を奪われた経験を持っています。こうした力はすべての人に大切なものであり、まさに権利や人権と言えるでしょう。里親家庭の子どもが豊かに生きるためには、これらを子どものうちに取り戻さなければなりません。そのためには安心できる環境の中で、その力が子どもにあること、だれにも奪われてはいけないこと、安心して使っていいことを繰り返し伝えることが欠かせません。この「子どもの権利ノート」は、そのツールとして里親家庭で使っていただきたいと考えて作ったもので、子どもと里親が読みやすいようにイラストを多く入れ、一緒に考えながら書き込めるページなども盛り込みました。

子ども用のノートと合わせて里親を対象にしたガイドブックも作成。里親制度は子どもの権利を大切にするための公的な仕組みが十分ではなく、多くの里親は悩みや苦勞を抱えていると言われます。ガイドブックはそうした養育上の困難などを子どもの権利擁護の視点から解説し、日々の養育に役立てることを目的としました。

これまで施設で暮らす子どもの権利ノートは、全国各地の自治体などで作られていましたが、里親に委託された子ども向けは神奈川県、大阪府、沖縄県などでしか作られていませんでした。今回制作した「子どもの権利ノート」がきっかけとなり、多くの自治体などで権利ノートや子どもの権利擁護の仕組みが作られることも本事業の目指すものです。

発行（10月）から3月までに、里親になりたいという人や行政関係、議員など様々な立場の人から当事業団へ150件を超える送付の申し込みがありました（子どもを受託している里親を除く）。

- 「知ってほしい、あなたのこと～子どもの権利ノート～」(幼児・小学生用と中学・高校生用の2種類)
 - 「子どもの権利ノートガイドブック～子どもと里親養育の未来のために～」(受託里親用)
- すべてA5サイズ小冊子。冊子無料、発行部数 合計3万部



朝日夏季保育大学（長野）

朝日新聞社と共同主催。長野県、諏訪市、全国社会福祉協議会、
長野県社会福祉協議会、長野朝日放送後援。大同生命厚生事業団協賛

第55回の朝日夏季保育大学は、8月1日、2日、諏訪市で開催しました＝写真。地元長野県や遠くは福岡県から、保育士や幼稚園教諭など子どもと関わる全国の様々な立場の約500人が受講しました。

1日の講座で絵本作家のいわむらかずおさんは、絵本を描くときのエピソードなどを通して自然や生き物の魅力や家族とのつながりについて話しました。

パネルシアター創始者の古宇田亮順さんによる講座では、会場は歌と笑いに包まれ、華麗な演出に大きな拍手が送られました。

2日は同朋大学の白石淑江教授をコーディネーターに、保育園や行政の実践発表を行いました。白石さんは虐待が子どもに与える影響や虐待件数の推移などについて説明し、子どもへの虐待について保育園や自治体の役割などの視点から解説しました。

テーマと講師は次のとおりです（敬称略）。



8月1日（金）	
「絵本と自然と子ども」	絵本作家／いわむらかずお
「事例から学ぶ保育のリスクマネジメント」	大阪府立大学／関川芳孝
「パネルシアターで遊ぼう」	パネルシアター創始者／古宇田亮順
8月2日（土）	
実践発表 「STOP！子ども虐待 ～地域における保育園の役割～」	コーディネーター 同朋大学／白石淑江 発表者 社会福祉法人いぶき保育園 豊田市役所子ども部子ども家庭課
「これからの保育者に求められる専門性」	立教女学院短期大学／今井和子
「心がつながるリズムあそび」	ガムランプレーヤー／櫻田素子

シンポジウム「子どもたちの居場所を考える」（名古屋）

NPO法人アサヒキャンプ名古屋と共同主催。愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、愛知県自閉症協会、あいちLD親の会かたつむり後援

4月29日、名古屋市中区の朝日ホールで、シンポジウム「子どもたちの居場所を考える～不登校の今日的意義と子どもたちへの支援～」を開催し、臨床心理士、学校関係者、保護者、一般市民ら147人が参加しました＝写真。



豊田市こども発達センター・のぞみ診療所の若子理恵さん、木村登校拒否相談室の木村茂司さん、愛知学院大学心身科学部教授で臨

床心理士の江口昇勇さんらが、社会の中には不登校の子の中卒後の支援はほとんどないことを指摘、保護者は親の会をはじめ、子どもに必要な居場所などを求めていく覚悟があると話しました。

「前向き子育てプログラム」の連続講座を開催（大阪、和歌山）

ペアレンティングを支援する会と共同主催。大同生命厚生事業団後援

2歳児から就学前までの子どもの親を対象に、自信を持って明るく楽しく子育てができるオーストラリアの実用的な技術「前向き子育てプログラム（トリプルP）」の連続講座を和歌山、大阪の計4カ所で開催しました。

保育士や保健師、家庭児童相談員ら子育て支援現場の専門職らでつくる「ペアレンティングを支援する会」、当事業団、それに地元の子育てグループの主催。経験豊かなファシリテーターが、少人数（定員10人）の母親らに週1回2時間のプログラムを計5回指導するシステム。母親らは「トリプルP」を紹介するDVDを見たり、ロールプレイやグループワークを体験したりして、育児技術を学びました。

街の学校（大阪）

土佐堀 YMCA 主催。当事業団後援

7月27日、親子で学ぶ街の学校「とさぼりサマーセミナー」を、大阪市西区の土佐堀YMCA会館で開催しました。「学び」をキーワードに地域との交流、活性化を目指します。「チラシでロボット」「アイスクリームづくり」「光の万華鏡」「カブト虫の育て方」など17講座で、500人の親子が参加しました。特にカブト虫講座には100人が殺到する人気ぶりでした。

第25回福祉施設絵画展 (名古屋)

名古屋市児童養護連絡協議会、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会主催、後援

名古屋市児童養護連絡協議会、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会に加入する施設に入所または通所する人たちの作品を展示する絵画展を7月中旬より、市内の児童福祉センター、福祉会館などで開きました。32施設639点の応募があり、特賞6点、入選34点、佳作60点が表彰され、厚生文化事業団理事長賞は「夢もよう」を描いた、桜木授産所の北瀬真紀さんが受賞しました。

第2回演劇ワークショップ「Remix」(山梨)

テレビ朝日福祉文化事業団と共同主催。東京都社会福祉協議会、神奈川県社会福祉協議会、千葉県社会福祉協議会、埼玉県社会福祉協議会、茨城県社会福祉協議会、栃木県社会福祉協議会、群馬県社会福祉協議会后援

関東の児童養護施設で生活する中学生と高校生を対象に、演劇やダンスを通じて表現力やコミュニケーション能力を伸ばし、自己評価を高めてもらうことを目的に12月26日から28日の2泊3日、16人が参加してビレッヂ・サンレーク(山梨県河口湖町)で演劇ワークショップを開催しました。

ショートストーリーを創作して演じたり、ダンスや紙芝居など個性あふれる作品を観た後、コラボレーションしたいと思った参加者同志でグループを作り、新たな作品を創作、最終日に発表しました。

講師は俳優でNPO法人演劇百貨店代表の柏木陽さんとダンサーの森下真紀さん。コーディネーターはアートマネージャーの吉野さつきさん。

その他のキャンプ事業

東京(群馬県ほか)

NPO法人朝日キャンプが実施するキャンプが、当事業団の後援で開催されました。

08年度は群馬県片品村で開催している夏の3キャンプのほか、千葉県鋸南町の元名ビーチホテルを利用し、3回目となる臨海キャンプを実施するなどしました。

大阪(大阪府、滋賀県)

06年9月特定非営利活動法人を取得した大阪・アサヒキャンプが実施した今夏のキャンプ(3つの主催を含む8キャンプ)を後援、助成しました。

主催の一つ、障害児者家族キャンプ(8月15日～16日、大阪府立総合青少年野外活動センター)には、当事業団がかつて主管していた滋賀県朽木村(現高島市朽木麻生)のキャンプ場から引

き続いて参加している家族も多く、今回新たに車いすで参加した人は、久しぶりに仲間と再会を喜び合い、ともにキャンプファイアーなどを楽しみました。

名古屋（岐阜県）

07年3月に特定非営利活動法人を取得したアサヒキャンプ名古屋が開催した今夏の3キャンプと春のキャンプを後援、助成しました。

「アサヒ川のほとりキャンプ」「アサヒ合同キャンプ」は8月に岐阜県中津川市・乙女溪谷キャンプ場で行われました。不登校の経験のある子ども対象の「アサヒ仲間キャンプ」は9月から2月にかけて3回実施しました。3月には「アサヒ春休み川のほとりキャンプ」を春日井市少年自然の森で行われ、保護者交流会も3回実施されました。

障 害 者 の 福 祉

自閉症カンファレンスNIPPON～TEACCHモデルに学ぶ実践研究会（東京）

国内最大級の自閉症専門会議、大妻女子大学に会場を移して開催

自閉症カンファレンスNIPPON実行委員会と共同主催。厚生労働省、文部科学省、日本自閉症協会、
テレビ朝日福祉文化事業団、全日本手をつなぐ育成会、日本知的障害者福祉協会後援

国内では自閉症の専門会議として最大級の「自閉症カンファレンスNIPPON2008」を8月23日、24日、全国から約800人の参加者を集めて開催しました＝写真。

会場を昨年（07）度までの早稲田大学から東京都千代田区の大妻女子大学に移し、7回目を迎えた今回も、米国・ノースカロライナ大学TEACCH（ティーチ）部の最高責任者ゲーリー・メジボフ教授が超多忙なスケジュールを調整して駆けつけました。

また、主に幼児期の自閉症の子どもや、その親・家族、それに支援者に対するプログラムを開発し、実施している同TEACCH部のセラピスト、スーザン・ボズウェルさんにも来日していただきました。

この「自閉症カンファレンスNIPPON」は、自閉症の人たちの総合的な支援システムとして世界で最も有効性が認められ、各国で導入されているTEACCHプログラムをモデルにした日本国内での実践の数々を報告・交換するための会議です。その内容（質）の高さと規模の大きさから、今や日本国内の自閉症支援の関係者の間からは「夏のカンファレンス」として知られるところとなっています。

今回のメジボフ教授の講義は、近年、社会的に大きく取り上げられることが多く、社会福祉、教育などさまざまな分野で関心の高い「高機能自閉症／アスペルガー症候群」の子どもや人たちに対するTEACCHプログラムの取り組みを軸に、支援の方法や考え方について紹介、解説するものでした。すべての基本は子ども一人ひとりをしっかり理解することであり、その上で一人ひとりに合わせた支援を考えることが重要であることを具体的に例示しながら解説しました。

また、スーザンさんによる解説は特に幼児期の子どもに合わせた早期の介入（支援）と、家庭での家族に対する支援の考え方や方法について、ノースカロライナでの実践をまじえ、分かりやすく紹介するものでした。また、日本での実践事例を取り上げ、スーザンさんのコメントによって理解を深めました。

そのほか、全国の現場での実践報告で構成する



4つの「分科会」や、地域での実践をポスターで発表する「ポスターセッション」、「コミュニケーション機器展」、医療現場での支援を紹介するコーナーなど、多くのプログラムのバリエーションで自閉症の人たちへの支援についての質の良い情報をより多く伝えられるよう努めました。

自閉症の人たちへの支援に関する国の社会福祉制度として「発達障害者支援センター」が全国各地に整備され、05年4月からは「発達障害者支援法」、また06年4月からは「障害者自立支援法」の施行といった法律が次々と登場しています。その中であって、この「自閉症カンファレンスNIPPON」の果たす役割と期待の大きさは、年々高まっています。

川崎医療福祉大学教授の佐々木正美さんを中心に集まる実行委員会が企画・準備を進め、運営をするこのカンファレンスが「自閉症を正しく理解する」支援者の輪をさらに広げ、社会の移り変わりの中で責任を果たせるよう、これからも向上を目指します。

開催中の2日間は、今回も趣旨に賛同した延べ100人を超える数多くの若いボランティアスタッフによって滞りのない運営が実現されました。次代を担う若い世代を育成することも、このカンファレンスの大きな目的のひとつです。

今年度の開催にあたり、会場をご提供いただいた大妻学院ならびに関係の方々にも多大なるご協力をいただきました。合わせて謝辞申し上げます。

自閉症を正しく理解すること～自閉症の支援で最も大切なこと～（奈良）

ゲーリー・メジボフ教授講演会・約400人が参加

奈良県自閉症協会と共同主催。厚生労働省、文部科学省、奈良県、奈良市、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、奈良県発達障害者支援センター後援

8月23日、24日に開催した「自閉症カンファレンスNIPPON2008」のために来日した米国・ノースカロライナ大学TEACCH部部長のゲーリー・メジボフ教授の講演会を8月26日、奈良市で開催しました。

07年度までに熊本、長野、京都、青森と毎年各地で開催し、それぞれ400人～600人を集めて開催した同講演会。08年度の奈良市でも、すでに夏休みが終わり学校が始まっている平日にもかかわらず400人にのぼる参加があり、メジボフ教授の講義に熱心に耳を傾けました。

講演テーマは「自閉症を正しく理解すること」と「自閉症の支援で最も大切なこと」。教育現場、専門家や親にさえいまだに正しく理解されていないことが多く、そのことが本人たちの生活をするうえでの困難をさらに増やし、複雑にしています。

「自閉症は脳の障害（damage）ではなくて脳の働き方の違い（difference）なのです」と説明するメジボフ教授は「その違いを正しく理解することが大切」と訴えます。今回の講演会はもっとも重要な自閉症の正しい理解と、それをもとにした自閉症の人たちへの支援の具体的な方法の基本の解説でした。

07年度からは、それまで日本自閉症協会との共催で開催してきたこの講演会を、同協会の事情により各地の自閉症協会との共催に切り替えました。今回の奈良での開催に際し、奈良県自閉症協会を始め、同県の関係各位には07年度の青森県同様、多大なご協力をいただきました。この催し

をきっかけに、地元での活動がさらに活発になることが期待されます。地方からの発信が全国へと波及する日がくるよう、今後も各地の関係者と協力しながら、さらにひとつずつ活動を積み重ねていく予定です。

と き 8月26日 10:00～16:00

ところ 帝塚山学園（学園前キャンパス） 学園講堂

参加者 約400人 参加費 3,000円

講 師 ゲーリー・メジボフ（ノースカロライナ大学TEACCH部部長）

内 容 講演「自閉症の人たちを正しく理解すること～TEACCHプログラムの真髄」

講演「構造化された指導」

講演「自閉症の支援で最も大切なこと」

自立課題の作り方講座

大阪

NPO法人BONと共同主催。日本自閉症協会大阪府支部、TEACCHプログラム研究会大阪支部後援

11月30日、大阪市中央区の大阪府社会福祉会館で「自閉症の子どもの自立課題作り方講座」を開催しました。遠く松江市や高岡市からも申し込みがあり施設職員、保護者、教師ら46人が参加しました。

よこはま発達クリニックの村松陽子さん、京都市発達障害者支援センターかがやき・副センター長の中山清司さん、大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさかの高橋亜希子さんを講師に迎え、7グループにわかれ身近な材料を使ってモデルケースの自立課題作りに取り組みました。また作った自立課題でロールプレイを行い実際に使って改良していく過程を学び、明日からでもすぐに役に立つ研修に参加者は熱心に取り組んでいました。

西部（北九州）

当事業団主催。朝日新聞社、北九州市、北九州市教育委員会、福岡県教育委員会、福岡県自閉症協会後援

2月21日、北九州市小倉北区の朝日新聞西部本社会議室で開かれ、福岡県をはじめ九州各県の福祉施設や特別支援学校の関係者、保護者など23人が参加しました。

講師は昨年に引き続き、大阪と同じ村松陽子さん、中山清司さん、高橋亜希子さんの3人をお願いしました。

受講者は6グループに分かれ、自立課題の理論を学んだ後、「機械の組み立てや操作が好き」というモデル少年のケースシナリオをもとに、空き箱やブロックなど身近な材料を使って自立課題作りに取り組みました。午後は、作ったばかりの自立課題でロールプレイを行いました。講師のアドバイスや、グループのメンバーの意見を聞きながら作った自立課題を改良し、再びロールプレイを繰り返しました。

受講者の一人は「既成の課題に取り組んで失敗すると、何もできなくなる子も少なくない。子どもをよく観察して、一人ひとりに合った課題を作りたい」と語っていました。

名古屋

当事業団主催。愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、あいち発達障害者支援センター、名古屋市、愛知県自閉症協会、TEACCHプログラム研究会愛知支部後援

6月8日、名古屋市中区の朝日ホールで開催しました。

同じく村松陽子さん、中山清司さん、高橋亜希子さんが指導しました。昨年に引き続き2回目の開催で、特別支援学校教員や小学校の特別支援学級担当の教員、児童福祉施設や病院の職員など41人が受講しました。全体の4割が教員で学校現場での関心の高さがうかがわれました。

受講者は自立課題の作り方の理論を学習した後、空き箱や容器を使ってグループごとに、モデルケースの小学生の自閉症児の特徴に合わせた自立課題作りに取り組みました。ブロックの組み立て、硬貨の袋詰め、スタンプ押し、油性ペンの片付け、懐中電灯の組立て、電卓計算、フォーク・スプーンの袋入れなどさまざまな自立課題が出来上がり、ロールプレイを行って、その自立課題の問題点を検討し、改良していきました。

最後に全体でグループごとの取り組みを発表し、講師が評価しました。受講者からは「実際に課題を作り、手直しをしていくことで、その子に合った課題作りがいかに大切かを感じた」「講師や他の人の意見がいろいろ聞けてよかった」という感想が寄せられました。



作ったばかりの自立課題でロールプレイ



受講者が作ったサインペンを片付ける自立課題

ジョブコーチ・ネットワーク（JC-NET）

NPO法人「JC-NET（ジョブコーチ・ネットワーク）」と共同主催

障害のある人を就労の現場でどう支えるかという福祉側からの視点に、障害のある人たちを企業活動にどう取り込んでいくかという企業側からの視点でのアプローチが活発になさられるようになってきました。その障害のある人と企業の双方をサポートする役割を担うジョブコーチと呼ばれる支援者のネットワーク「JC-NET」は、当事業団の支援で04年度に創設・スタートし、05年度にNPO法人を取得して厚生労働省指定の「職場適応援助者養成研修」などの事業を積極的に

展開しています。

1. ジョブコーチ・ネットワーク（JC-NET）フォーラム おきなわ

ジョブコーチに関する情報提供による質的な向上と、障害のある人への就労支援の普及のために地方各地で開催する「ジョブコーチ・ネットワークフォーラム」を沖縄県浦添市で開催しました。

と き 08年6月21日（土） 10:00～16:00

ところ 国立劇場おきなわ・小劇場

参加者 約250人 参加費 3,000円

内 容 講演「地域に根ざした就労支援とジョブコーチの役割」小川浩・大妻女子大学、「地域で取り組む就労移行支援事業」志賀利一・電機神奈川福祉センター、「行政の就労支援の取り組み」島村聡・那覇市健康福祉部政策主管、シンポジウム「就労支援 それぞれの機関の役割づくり～出来ることからはじめよう」比嘉あみ子・やんばるライフ、平安名栄樹・泡瀬養護学校、安村勤・精神障害者地域生活支援センターウェブ、喜友名秀樹・自立プラザ希織、吉岡治・職業センター（敬称略）

2. JC-NET（ジョブコーチ・ネットワーク）会議

全国のジョブコーチが集う国内最大の会議で、ジョブコーチが進む方向性を示す講演、ワークショップ、実践発表など内容の充実した熱気あふれる2日間の会議です。

と き 09年3月14日（土）・15日（日）

ところ 大妻女子大学 多摩キャンパス大講義室ほか

参加者 約450人 参加費 10,000円（JC-NET会員は8,000円）

内 容 14日：キーノート・スピーチ「就労支援の流れを読む～制度の動きと現場の課題」小川浩・大妻女子大学、ワークショップ①「就労移行支援事業の明日を考える」濱田和秀・じよぶライフだいせんほか②「企業の創意工夫と支援機関の役割」堀江美里・WEL'S TOKYOほか③「変わり始めた教育現場の就労支援」山本仁・金沢大学附属特別支援学校ほか④「地方の就労支援ネットワーク～障害者就業・生活支援センター」志賀利一・電機神奈川福祉センターほか

15日：実践発表分科会①・②（各分科会5人のスピーカーが発表）、ワークショップ⑤「ジョブコーチのスピリッツが地方を変える」小松邦明・杉並区障害者雇用支援センター、シンポジウム「現場の視点でふりかえる～この5年」四王天正邦・伊勢丹ソレイユ、松本玲子・福岡ジョブサポート、濱田和秀・じよぶライフだいせん、酒井大介・加島友愛会、コーディネーター小川浩・大妻女子大学（敬称略）。

この他、ジョブコーチや障害のある人の就労支援について基礎から学ぶ「入門講座」や、日ごろの実践をポスターで紹介するポスターセッションなどを同時に開催しました。

第25回「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」(東京)

全日本ろうあ連盟、朝日新聞社と共同主催。厚生労働省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団、日本手話通訳士協会、全国聾学校長会後援。NEC協賛。東京都聴覚障害者連盟協力

手話の普及とボランティア活動、福祉教育の推進をはかるため84年から開催している「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」は25回目を迎え、8月30日、東京都千代田区の有楽町朝日ホールで行われた本選で、原稿審査とビデオ審査で選ばれた10人が手話と音声と同時に使ったスピーチを競いました。

開会式では、秋篠宮妃殿下が眞子さまを伴われて出席になり、「聴覚障害者の生活と手話に対する理解をさらに深め、安心して暮らせる社会が築かれるよう希望します」と手話を交えておことばを述べられました。

全国の手話を学ぶ高校生54人の応募者の中で1位に選ばれたのは神奈川県・自修館中等教育学校4年の皆川愛さん＝写真。生まれつき聴覚に障害がある皆川さんは「健聴者と聴覚障害者はコミュニケーション手段が違うからこそ、お互いを知ろうという気持ちが強くなる。通じ合えた時の喜びは大きい」と話し、優勝。2位には室蘭の鳴り砂を例に挙げ、環境保護について話した北海道室蘭栄高校3年の富岡治美さんが選ばれました。また、身体障害者雇用率が全国一高く、大分国際車いすマラソンが開催される地元・大分県を「人に優しい大分」とアピールし、それを全国に広げていきたいと訴えた大分県・楊志館高校3年の野中友貴さんが3位に入賞しました。

そのほか、奨励賞には広島県・広島国際学院高校1年の佐伯乙美さんと愛媛県立松山南高校3年の島袋アミさんが選ばれました。入賞者には賞状とトロフィーが贈られたほか、協賛のNECからパソコンや電子辞書などの賞品と参加者全員に参加賞として手話スピーチの録画DVDと記念品が贈られました。

今年の特別プログラムは落語家の林家正蔵さんと映画監督で学習塾「早瀬道場」塾長の早瀬憲太郎さんによるトークショー「魅力ある手話の世界」で、手話との出会いや聴覚障害の方々と接して感じたことなどをお話いただきました。

審査員は小椋英子・日本手話通訳士協会会長、山田登志夫・厚生労働省障害保健福祉部企画課自立支援振興室長、倉方厚子・東京都聴覚障害者連盟理事長、久松三二・全日本ろうあ連盟本部事務所長、坂上譲二・全日本ろうあ連盟理事、富永格・朝日新聞論説委員のみなさん。



第27回名古屋手話通訳問題研修会（名古屋）

名古屋市聴覚障害者協議会主催。当事業団後援

「よりよい手話通訳制度を目指してパート6」が9月27日、名古屋市中区の朝日ホールで開かれ約70人が参加しました。

「障害者差別禁止条例（障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例）から学ぼう」と題し、千葉県聴覚障害者協会理事長の植野圭哉さんが06年9月に日本で初の差別禁止条例を採択した千葉県の条例策定までのプロセスについて講演しました。パネル討論では「きこえない人の暮らしのバリアフリー私たちの声で変えていこう」のテーマで愛知県における差別禁止条例制定の動きなどを愛知県聴覚障害者協会副会長の岩田章照さんが話されました。

高次脳機能障害講演会（大阪）

堺脳損傷協会と共同主催

堺脳損傷協会（納谷保子代表）は、6月15日堺市民会館小ホールで、東京都世田谷区のケアセンターふらっと・施設長和田敏子さんと桜新町リハビリテーションクリニック院長長谷川幹さんを招き、講演会を開催しました。200人参加。世田谷区は、いち早く「世田谷障害者福祉計画」（06年3月）に初めて高次脳機能障害者支援を取り入れ、ケアセンターふらっとに相談窓口を設置。区の施策の重要な役割を担う「ふらっと」の和田さんは「高次脳機能障害者とデイサービス～地域で進める諦めない回復支援」と題し、同施設が本人の意思を尊重したりハビリプログラムを実践していることや、地域生活を支援する訪問介護員の研修を独自に行っている様子を語ってくれました。また、クリニック院長長谷川さんは「脳損傷・高次脳機能障害と地域リハビリテーション」と題し、医学的見地から高次脳を分かりやすく説明してくれました。

高次脳機能障害支援セミナー（名古屋）

厚生労働科学研究「高次脳機能障害者に対する地域支援ネットワークの構築に関する研究」
東海ブロック連絡協議会と共同主催。愛知県、朝日新聞社など後援

6月28日、名古屋市中区の朝日ホールで、高次脳機能障害の正しい理解と支援を広めるセミナーを開催、医療、リハビリ、当事者の家族の話に医療、福祉、教育関係者ら256人が参加しました。

名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院副院長の蒲澤秀洋さんは、高次脳機能障害の診断と支援に長年取り組んできた立場から、脳の損傷と



酸素消費量の変化について画像を用いて説明し、受傷後の早期診断とリハビリの重要性について話しました＝写真。

広島県立保健福祉大学名誉教授で言語聴覚士の綿森淑子さんは、記憶障害のメカニズムについて詳しく説明、効果的な支援について話しました。

NPO法人脳外傷友の会みずほ理事長の尾山芳子さんは、息子が交通事故で高次脳機能障害になってからの16年の苦悩を、記憶保持ができない息子さんのビデオを映して説明、日常生活が今も困難であることを訴えました。今回は3週間前に申し込みを締め切るほど盛況で、参加者からは講師の先生方に質問が相次ぎました。

脳損傷・高次脳機能障害オーストラリア研修ツアー

クインズランド脳損傷・高次脳機能障害研修実行委員会主催。当事業団後援

早くから「脳損傷の地域リハビリテーション」に取り組んできたオーストラリアでは、行政と医療、当事者、関連機関が組織化され、高次脳機能障害者の生活・社会支援に大きな成果をあげています。その実情を視察しようと、国内の関係者でつくる同実行委員会（納谷敦夫実行委員長）が5月17日から24日まで、オーストラリアのクインズランド州を訪れました。参加者は全国から集まった当事者の家族や医療・福祉従事者、学識者ら18人。研修は、クインズランド脳損傷協会の組織に始まり、病院内のリハビリ、同州の福祉行政、公的権利擁護についての講義や、郊外のリハビリ施設、デイケア施設の見学など、同州の取り組みが大筋理解できるというもの。日本では今なお家族が中心に動かざるを得ない状況にあるなか、同国では第三者により行政や民間が機能的に運営しており、その施策は包括的で、日本のあるべき姿、ゴールに大きな示唆を与えるものでした。

80周年記念講演「団塊世代の福祉とボランティアのゆくえ」（名古屋）

当事業団主催。朝日新聞社、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会、トヨタ自動車株式会社後援

福祉やボランティア活動の参加を通じて、高齢者や障害者と共に「安心して暮らしやすい地域社会」を目指すために、定年期を迎えた団塊世代の人たちに活動の現状や将来の展望を紹介する「団塊世代の福祉とボランティアのゆくえ」講演会が6月1日、名古屋市中区の朝日会館朝日ホールで開催、約250人が参加しました。

第一部は、大阪ボランティア協会事務局長の早瀬昇さんが「団塊世代とボランティア活動」のテーマで基調講演を行いました。全参加者に「市民活動観」6項目の答えを求め、責任感の強い人は、義務的になり過ぎる傾向にある。活動に参加するにはマイペースで「好きに」なることが大切と助言。

第二部は、コーディネーターとして「1・17希望の灯り」代表で俳優の堀内正美さん、パネリストに愛知淑徳大学教授の榎田勝利さん、元愛知県社会福祉協議会施設福祉部長の熊谷美恵子さん、

トヨタボランティアセンター担当課長の鈴木盈宏さんと早瀬昇さんも加わり、「福祉とボランティア活動のゆくえ」のテーマでシンポジウムが行われました。各専門的分野から「諸外国の体験と学生ボランティア」、「行政から見た福祉」、「企業の役割と活動」と今までの経験談と課題点を交えながら話されました。

第46回心身障害問題を考える集い（名古屋）

社会福祉法人あさみどりの会と共同主催

6月21日、名古屋市中区の朝日ホールで、第46回「心身障害問題を考える集い」を開催し、映画「ありがとう」の上映と、伊勢真一監督の講演「奈緒ちゃんとのヨカッタサガシの日々」が行われ、福祉施設職員、一般市民ら約100人が参加しました。

てんかんと知的な障害のある西村奈緒ちゃんが8歳の時から、グループホームに入所するまでの25年間の家族のドキュメンタリー映画に、感情移入している参加者の姿が多く見られました。上映後の講演で伊勢監督は、グループホーム職員として働く奈緒ちゃんの弟のこと、母親、父親のことなど、撮影時のエピソードを紹介し、今後も撮影を続けていきたいと話しました＝写真。



1/43 この数字は何でしょう（大阪）

精神障害者と社会を考える啓発の会と共同主催。大同生命厚生事業団、大阪府、大阪市ほか後援

11月1日吹田市の万博記念公園で精神障害を正しく理解し、偏見をなくそうと啓発のイベントを開催しました＝写真。

現在43人に1人が精神科や心療内科を受診しており、精神疾患は誰にも可能性があることをテーマに、ステージではダンスやレゲエなどの音楽、劇団による紙芝居でにぎやかな雰囲気を演出し、一方で幻覚や幻聴を疑似体験できるコーナー、精神障害ミニ講座、相談事業を展開しました。また、作業所による喫茶コーナーや焼きそば、カレーの屋台、ボランティア大学生による精神障害関連のゲーム、ストレッチ体操など多彩な催しに、公園に遊びに来た家族連れや若者、大人から子どもまで540人が参加しました。



精神障害者ホームヘルプガイドブック（大阪）

朝日新聞厚生文化事業団編集・発行

障害者自立支援法の施行によって「精神障害者ホームヘルパー」への上乗せ研修が不要になり、ヘルパーなら誰でも精神障害がある人の生活を支援できるようになりました。その一方で、精神障害についての正しい知識や理解がないまま支援するため、現場で混乱が起きているのも事実です。精神障害のある人が自分の住みたい街で生活するためには、ホームヘルパーへの支援が欠かせません。

多くのヘルパーが精神障害を正しく理解し、当事者の立場にたった支援ができるよう、経験豊かなヘルパー、当事者や関係者の多くのみなさんの協力を得て、いろいろな角度から実際の事例や体験談をまとめ精神障害者ホームヘルプガイドのためのブックを作成しました。

精神障害があっても毎日の生活がしづらくても、ヘルパーの支援を受け、好きな街で暮らしたい。ガイドブックがその喜びを一人でも多くの方に体験していただく一助になればとの思いを込めています。

視力障害の大学生のための「聖明・朝日盲大学生奨学金」（東京）

聖明福祉協会と共同主催

視力障害者向けの奨学金がなかった1969年に聖明福祉協会と朝日新聞厚生文化事業団の協力で発足した奨学金制度で、奨学生には毎月3万円の奨学金が渡されます。視力に障害がありながら音楽や福祉など様々な分野で学問を究めたいと大学へ進学する学生のために設立されたこの制度は、これまでの40年間に延べ185人の奨学生が選ばれています。

新奨学生には7月5日、新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷で行われた貸与式で目録が渡されました＝写真。

進学先は以下の通りです。

筑波大学、龍谷大学短期大学部、洗足学園音楽大学



第27回肢体不自由児・者の美術展（東京）

日本肢体不自由児協会主催、厚生労働省、文部科学省、当事業団など後援

肢体不自由児・者の生きがいつくりと障害のある人に対する理解を深めることを目的に、全国の肢体不自由児・者から絵画や書、コンピューターアートなどを公募し、入賞作品を展示する「第27回肢体不自由児・者の美術展」が、12月4日から7日まで豊島区の東京芸術劇場展示ギャラリーで開催されました。

表彰式には常陸宮殿下が出席され、受賞者にお祝いのおことばを述べられました。また、障害のある子どもの自立支援のための「手足の不自由な子どもを育てる運動」に歌手の加山雄三さんが協力、愛の絵はがき用に原画を提供しました。



今年は全国から755点の応募があり、その中から障害の種類や程度、年齢などを考慮して入賞作品120点（特賞、優秀賞、佳作、努力賞）が選ばれました。

主な入賞者は次の通りです。（敬称略）

厚生労働大臣賞 = 藤本幸一（千葉県市原市）

本田広子（福岡県みやま市・慈久園）

文部科学大臣奨励賞 = 久富芳樹（鹿児島県立鹿児島養護学校小学部6年）

伊地知愛（和歌山県・湯浅中学校2年）

朝日新聞厚生文化事業団賞 = 徳永侑士（鹿児島県立桜丘養護学校小学部2年） = 写真

国松和子（東京都葛飾区）

「心の輪を広げる体験作文」「障害者の日のポスター」（東京）

内閣府主催。当事業団など後援

障害者週間の集いが12月3日、東京都内で開かれ、「心の輪を広げる体験作文」「障害者週間のポスター」の最優秀賞、計5人に野田内閣府特命担当相から表彰状が贈られ、作文の受賞者3人は自作を朗読しました。

作文の高校生・一般部門受賞者は、生まれつき重度の運動障害（脳性マヒ）がある松山市の野口理絵さんの「ありのままに受け止め、受け入れてくれた子どもたち」。野口さんは暗唱で20分かけて発表し、大きな拍手を浴びました。

主な受賞は以下の通りです（敬称略）。

【作 文】新潟市立早通南小学校 6 年・長濱愛香（新潟市）、鹿児島市立星峯中学校 1 年・馬場園怜央（鹿児島県）、愛媛県・野口理絵

【ポスター】雲仙市立南串第二小学校 5 年・村上董（長崎県）、鹿沼市立西中学校 3 年・山中香里（栃木県）

第 37 回聴美会 （名古屋）

中部聴力障害者美術同好会主催。当事業団後援

聴覚障害のある美術愛好家らが自主運営する美術展が、7 月 29 日から 8 月 3 日まで、名古屋市民ギャラリーで開催されました。

25 人の出品者から、日本画、洋画、彫刻、工芸、写真、書道など 81 点が展示され、朝日新聞厚生文化事業団最優秀賞には「激闘」で写真の中野正和さんが受賞されました。

第 29 回障害者歩くスキーの集い（札幌）

朝日新聞北海道支社と共同主催。三菱電機株式会社協賛

「第 29 回障害者歩くスキーの集い」を 1 月 18 日、札幌市南区の滝野すずらん丘陵公園で開催しました＝写真。この大会は 1、3、5、7 キロの 4 種目に、参加者がそれぞれのペースで参加できる歩くスキーの大会で、子どもから高齢者まで約 160 人が参加しました。毎年参加しているベテランのほか多数のボランティアが参加し、大会を盛り上げました。



第 29 回朝日九州車いすバスケットボール選手権大会（大分）

九州車椅子バスケットボール連盟と共同主催

第 29 回朝日九州車いすバスケットボール選手権大会が 2 月 14 日、15 日、大分市の県立総合体育館をメイン会場に開かれました＝写真。大会には九州・沖縄の各県から 16 チームが参加しました。

準決勝では、昨年優勝の「太陽の家スパーズ」（大分）が「HAGAKURE・Dangers」（佐賀）を 55-40 で下し、同じく準優勝の「SEASIRS」（沖縄）は「福岡 Limit z」（福岡）を 73-45 で下し、4 度目の同カードでの優勝戦となりました。

雪辱を期す「SEASIRS」との試合は、激しいぶつかり合いに観客席からは悲鳴が上がるほどの好ゲームでしたが、僅か3ポイント差の53-50の大接戦で末「太陽の家スパーズ」が逃げ切り、4連覇を果たしました。

両チームは09年5月、東京で開催される内閣総理大臣杯争奪第38回日本車いすバスケットボール選手権大会に九州代表として出場します。また、3位決定戦で勝ち残った「HAGAKURE・Dangers」は09年9月に群馬県で開かれる全国選抜大会に出場します。



第20回九州車いすツインバスケットボール選手権大会（佐賀）

九州車椅子バスケットボール連盟などと共同主催

九州、沖縄から12チームが参加して第20回九州車いすツインバスケットボール選手権大会が、6月28日、29日、佐賀市の諸富文化体育館で開かれました。=写真。ツインバスケットボールは、日本で考案された競技で、下肢だけでなく、上肢にも障害を持つ重度障害の人も参加できるのが特徴です。

フリースローサークルの中にもう一つ低いゴールがあり、選手は障害の程度に

よってシュートの方法が違います。高いゴールをねらえる選手もいますが、障害のため高いゴールをねらえなくとも、低いゴールのシュートを決めることやブロックをすることで、選手一人ひとりが存在感を発揮でき、達成感を感じることができます。この競技では、選手間のパスワークが最も重要です。そのためには、日頃の練習時から、お互いの障害の程度を把握し、意志を通じあわせて培った正確なパスが必要です。試合に出ていない選手たちも、コート上の仲間に応援と拍手を送っていました。

決勝戦で「沖縄フェニックス」（沖縄）は、9点差まで追いつけたものの、雪辱はならず60対69で「太陽の家ブレイカーズ」（大分）が、7年連続14回目の優勝を果たしました。



東海北陸車いす市民・交流集会 | N岐阜 (岐阜)

東海北陸車いす市民・交流集会 | N岐阜実行委員会と共同主催

「もっと自由にしたい」をテーマに「東海北陸車いす市民・交流集会」が11月15日、16日、岐阜市民会館で開かれ、2日間で約150人が参加しました。1973年に仙台で全国車いす・市民交流会がスタートし、その翌年に第1回東海北陸車いす・市民交流集会が開催されました。それ以降2年に1度開催され現在に至っています。

1日目はぼてとフォーム事業団理事の佐野武和さんの「権利ってなに？」と題した基調講演をはじめ、シンポジウムでは「地域で生きる」をテーマに、19年間の入院生活から退院して在宅生活を始めた体験談や、知人、家族の協力などの話が紹介されました。

2日目は「生活する」「移動する」「働く」の3部科会に、それぞれのテーマに応じて代表者の討論会がありました。

高 齢 者 の 福 祉

朝日福祉ふれあいサロン「親の介護・自分の老後」(大阪)

当事業団主催。大同生命厚生事業団後援

年長いた親や伴侶の介護、核家族化が進むなかで、自らの老後をどうすればいいのか。専門家による知識や情報を身につけ、健康、医療、介護などいろいろな問題を考える講座で約100人が参加して、大阪市北区の朝日カルチャーで開かれました=写真。94年に開催して以来15年目を迎え、当初から人気のある講座シリーズです。

テーマ、講師は次の通り。参加費6,000円(6回分)。

- 4月 6日 和尚さんの「健康と長寿の秘訣」
薬師禅寺住職、花園大学・東洋医学講師 権島 勝徳さん
- 5月 11日 元気が出る「生きがいのこれから」
雑誌「上方芸能」代表、和歌山大学客員教授 木津川 計さん
- 6月 1日 寝たきりにならない「すこやかな老後を過ごすために」
神戸大学名誉教授、行岡リハビリテーション専門学校校長 武富 由雄さん
- 7月 6日 認知症「本人と家族～老いを生きる」
北山通ソウクリニック院長 宋 仁浩さん
- 8月 3日 メタボリックシンドローム「生活習慣からの予防について」
大阪市立大学大学院代謝内分泌病態内科学講師 絵本 正憲さん
- 9月 7日 薬膳食「季節の野菜で美しく健康に」
神戸東洋医療学院講師 邵 輝さん



朝日福祉講演会「高齢者虐待を未然に防ぐために」（広島）

当事業団主催。大同生命厚生事業団など後援

9月30日、広島市の県社会福祉会館会議室で開催しました＝写真。広島県内から介護ヘルパーやケアマネジャーなど介護に携わる66人が参加しました。甲南女子大看護リハビリテーション学部長の津村智恵子さんは虐待の状況と原因を説明、虐待を防ぐには地域や行政の支援が必要だと訴えました。社団法人大阪介護支援専門員協会研修センター部長の福田弘子さんは、実際に起きた虐待事例から具体的な地域支援策などをアドバイスしました。



朝日高齢者福祉セミナー（名古屋）

愛知県高齢者福祉研究会と共同主催

「21世紀の高齢者福祉を考える～在宅を支える医療と福祉の連携～」テーマに6月15日、名古屋市中区の朝日ホールで開催し、医療関係者、学生、一般市民ら221人が参加しました。

今回は「高齢者の在宅医療・ケア」の問題に焦点を当て、その現状と課題について学ぶ講演会です。基調講演で医療法人あいち診療会あざいリハビリテーションクリニック院長の畑恒土さんが「在宅医療における24時間体制を考える」と題し、国の施策が在宅重視の流れにある中、あいち診療会における在宅医療の24時間体制の実践から、在宅医療を継続していく上での課題などを話しました。

シンポジウム「患者・家族の思いを大切に～在宅を支えるチーム医療～」は訪問看護師、急性期病院の医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、実際に介護している家族がパネリストとして、それぞれの立場から高齢者の在宅医療・ケアを支える取り組みと課題について発表しました。

座長 三つ葉在宅クリニック院長・舟木良真さん

パネリスト 愛知県看護協会立訪問看護ステーション「たかつじ」所長・真下美枝子さん

名古屋赤十字病院医療社会事業課MSW・森健さん

めいきん生協在宅福祉センター ケアマネジャー・加納緑さん

利用者家族・飯田輝子さん

第8回「懐かしの童謡・唱歌を歌いましょう」(大阪)

大阪ガス、高齢者外出介助の会と共同主催

子どもの時代を思い出させ、元気と勇気を与えてくれる童謡・唱歌。毎年、定員300人のところ、500人近い申し込みがあり、会場を大阪ガスから500人が収容できるドーンセンターホール(大阪府女性総合センター)に移して、10月8日に開催しました。日本童謡・唱歌響会会長の麻生夏代さんの歌唱指導で「手のひらに太陽を」「ペチカ」などを全員で合唱。また、男性陣が演壇に上がり、「にわか」男性合唱団」を披露しました=写真。

2部ではマリimba演奏家の北口桂さんらによる「イキイキコンサート」もあり、盛り上がった一日でした。入場者からは333,910円の社会福祉事業への募金がありました。



福 祉 教 育 ・ 福 祉 啓 発 推 進

第4回自殺防止事業（福岡）

「自殺!? ちょっと待って!」-思いとどまってもらうために

福岡いのちの電話と共同主催。厚生労働省、朝日新聞社、福岡県、福岡市、九州朝日放送後援。
大同生命厚生事業団、(株)九州エース電研、南蔵院協賛

07年6月、政府が推進すべき自殺対策の指針を定めた「自殺総合対策大綱」は閣議決定されましたが、自殺者は、10年連続して3万人を超えています。自殺者が3万人を超えた98年から累積すると約30万人が亡くなっています。30万の人口といえば、ほぼ北海道・函館市の人口に匹敵します。働き盛りの30歳から40歳台が30%を占め、うつ病、生活苦、多重債務も原因として増えてきています。また、セーフティーネットが機能しない「すべり台社会」といわれるなかでの閉塞感と焦燥感からの逃避、また、近隣の住民を巻き込んでの硫化水素自殺なども起きました。

いま、自殺という危機に直面している人たちに、私たちは何ができるのかを考える講演会を昨年に引き続き、8月30日に福岡市博多区の明治安田生命ホールで開催しました。福岡県内をはじめ、九州各県から約200人が参加しました。

第1部は、作家の佐木隆三さんの講演「野菜づくりで生命を考える」。佐木さんは、東京から北九州に居を移した99年9月におきた「下関通り魔殺人事件＝一流大学を卒業したが社会に対応できず、山口県下関駅構内に車で突っ込み、包丁を振り回して、死者5人、重軽傷者10人を出したとされる事件」から、話を起こしました。途中、福岡少年院での、妊婦の人形を使って命の大切さを学んでいる取り組みを紹介し、関門海峡が見える畑での野菜づくりでの命を育む喜びを語りました。また自殺しようとする人は、何か問題に直面した時に対応できないから死を選んでしまうのではないかと。「対応しきれない状況で、いのちの電話の活動は非常に大切だと話を結びました。

第2部は、いのちの電話の活動を紹介した「いのちの電話の実際」として、人生の危機に直面した人に、どのように対応すればいいのかを身近にありそうなストレスを基に台本を作成し、寸劇で紹介しました。

講演会「子どもの関係づくりを考える」（大阪）

大阪府青少年活動財団、大阪少年補導協会、関西テレビ青少年育成事業団と共同主催

97年から、継続して行っている青少年問題シリーズの講演。

子どもたちの対人コミュニケーション力が低下しているといわれるなか、08年度は、「子どもの関係づくり」に焦点を当て大阪府立青少年会館で、第1回は「ケータイ社会を生きる」（10月11日、参加者40人）と題してプロエントコミュニケーションズ代表取締役の柴山順子さん、第2回は「自分も人も大切に作る人間関係力アップ」（12月14日、参加者69人）と題しホリスティッ

ク教育実践研究所長の金香百合さんを招き開催しました。金さんはケータイが生まれたこの10年間、人間関係力の低下が著しいと嘆き、自他ともに互いの自尊感情を高め合うことが必要と説きました。一方、柴山さんは、97年以降は生まれた時からモバイルメディア世代、ケータイの活用方法を大人が子どもにどう伝えるかが大事だと語りました。

全国グループホームスタッフ・ネットワーク「京都会議」(京都)

京都会議実行委員会、全国グループホームスタッフ・ネットワーク主催。大同生命厚生事業団などと後援

3月14日、京都市中京区の京都アスニーで、第4回全国グループホームスタッフ・ネットワーク「京都会議」を開催しました。

全国からグループホームの世話人や施設職員、学生ら約100人が参加。東京大学社会科学研究所特任准教授の堀田聰子さんによる基調講演「働きつづけられる職場作りと人づくり」、立命館大学大学院教授後藤玲子さんや、のまネット西宮センター長の清水明彦さんらによるシンポジウム「くらしの正義と障害者自立支援法」のほか、コミュニケーションスキルアップ講座も開催されました。

近畿グループホームスタッフ研修会(大阪)

近畿グループホームスタッフ研修会主催。当事業団後援

近畿地域のグループホームのスタッフの交流と情報交換を目的に98年から続いています。会員は40人。大阪市内で開く毎月1回の例会では、ホームでの「ひやり」や「はっと」を考える「世話人・利用者110番」をはじめ、公開講座の開催、触法障害者の支援のため、播磨社会復帰促進センターの見学も行いました。

東海グループホームスタッフ研修会(名古屋)

東海グループホームスタッフ研修会主催。当事業団後援

東海地域のグループホームスタッフの交流と情報交換を目的に年間を通じて勉強会を行いました。「グループホーム・ケアホームの防災対策」、「契約社会と成年後見制度」など、各回ごとに様々なテーマについて、グループホームスタッフ、世話人が理解を深めました。

医療と公衆衛生

第60回「保健文化賞」(東京)

第一生命保険相互会社主催。厚生労働省などと後援

保健衛生の向上や福祉分野に貢献した団体、個人に贈られる第60回「保健文化賞」の贈呈式が10月8日、港区のホテルで行われました。

体が不自由な高齢者に「葛飾方式」といわれる診療所と訪問診療を組み合わせた歯科診療体制で取り組んできた社団法人・葛飾区歯科医師会(根岸哲夫会長)、認知症高齢者など判断能力が不十分な人の権利擁護のため成年後見制度の普及に尽くした大阪府の大國美智子さんら10団体と6個人に賞金(団体各300万円、個人各150万円)と朝日新聞厚生文化事業団賞などが贈られました。

この賞は1949年に制定されて以来、民間の表彰事業として最も定評のあるものです。

小児がん街頭キャンペーン(名古屋)

がんの子どもを守る会東海支部主催。当事業団後援

小児がんの早期発見を訴える街頭キャンペーンが9月7日、名古屋市中区の松坂屋本店北館前で開かれ「小児がんの子どもを守る会」会員が、街頭で早期発見を促すチラシを配布し一般市民の理解を求めました。

生活習慣病市民公開講座(北九州)

北九州市、平成紫川会と共同主催

公衆衛生活動を実施し地域住民の福祉の向上に寄与するため、最新の医療技術や健康情報を提供するために「生活習慣病市民公開講座」を開催しました。

第1回は4月の「ウイルス肝炎と肝臓の治療」でスタート、09年3月の「お薬と上手につきあう方法」まで計7回の講座を開きました。最新の医療情報が聞けるため、延べ1,381人の市民が参加し熱心に耳を傾けました。

【講座の紹介】

- 4月19日 「ウイルス肝炎と肝臓」
小倉記念病院 田中明外科部長 (北九州芸術劇場 小劇場)
- 5月17日 「大切な人が突然倒れた時、あなたは何ができますか？」
同病院 中島研救急部長 (アジア太平洋インポートマート)
- 7月12日 「頭痛の治療－くすりで治す頭痛と手術で治す頭痛」

- 同病院 中原一郎脳神経外科部長 (北九州芸術劇場 中劇場)
 8月2日 「血管の病気のお話—動脈瘤、静脈瘤、閉鎖性動脈硬化症など—」
 同病院 三井信介血管外科部長 (北九州国際会議場 メインホール)
 11月29日 「大切な人が突然倒れた時、あなたは何ができますか？」
 同病院 中島研救急部長 (アジア太平洋インポートマート)
 1月24日 「狭心症と心筋梗塞の最新治療と予防」
 同病院 延吉正清院長 (北九州国際会議場 メインホール)
 3月7日 「お薬と上手につきあう方法」
 同病院 増田和久薬剤部部長 (アジア太平洋インポートマート)

のびのびくらぶ (名古屋)

当事業団主催。松坂屋本店協賛

0～3歳までの乳幼児をもつお母さんと子どもが参加して、子どもを元気にのびのび育てるために、お母さんの子育ての悩みや不安をお互いに話し合い、さらに専門家や小児科医の講義を聞きました。中区の松坂屋北館7階友の会文化教室・リトミック室で5回(昨年6回)連続開催しました。

担当は、4月6日(水)「ペープサート、親子手遊び」メロンパン元稲沢親子劇場のお母さん、5月21日(水)「知っておきたい子どもの病気」長坂こどもクリニック院長の長坂正人さん、6月18日(水)「絵本の読み聞かせ」メルヘンハウス代表の三輪哲さん、7月16日、「子どもの事故予防と応急手当」あいち小児保健医療総合センター保健師、8月20日、「安心して子育てをするために」安城学園大学保育学部教授の神田英雄さん。

01年に開設した「のびのびくらぶ」は今回で終了することになりました。各関係者の長年のご協力、ご支援に深く感謝申し上げます。

アサヒベビー相談室 (大阪・高槻・大津)

当事業団主催

「アサヒベビー相談室」は、大阪市、高槻市、大津市の3カ所の百貨店で開催、買い物がてら気軽に利用できる無料相談室としてお母さんたちに親しまれています。

一番歴史のある近鉄百貨店阿倍野店(57年開設)では、大阪市立大学の小児科医師をはじめ、歯科医師や保育士たちが、それぞれの専門の立場から育児に悩む親の相談にのっています。広い休憩コーナーもあり、憩いの場として賑わっています。今年度も4月と9月に親子参加のイベントを開催。絵本の読み聞かせや、パネルシアター、歌遊びなどで楽しい時間を過ごしました=写真。

西武百貨店高槻店（74年開設）は毎週木曜日、小児科医師が交代で相談にあたり、常連のお母さんに頼りにされ、すっかり地元には溶け込んでいます。

西武百貨店大津店（04年開設）は、第1・第3日曜に専門相談員が、子育ての先輩の立場からアドバイスし、親しみやすいと好評です。

各相談室の利用者数は次の通り。

近鉄阿倍野店	436人（一回平均6人）
西武高槻店	379人（一回平均8人）
西武大津店	100人（一回平均4人）
ミニ講演会	98人



アサヒベビー相談室（名古屋）

当事業団主催。松坂屋本店、明治乳業協賛

名古屋地区の「アサヒベビー相談室」は、年間を通して奇数週の土曜日に午後1時30分から3時まで中区の松坂屋本店ベビー休憩室で開催しました。

済衆館病院小児科医長の有吉允子さんと三菱名古屋病院小児科の岩間正文さんが面談形式で相談にあたりました。体重の増減、便秘や下痢、夜泣き、アレルギー、卒乳の時期など乳幼児の発育やしつけまで、さまざまな育児相談が寄せられました。

【秋と春の特別シリーズ】として9月と3月に専門医師による「目、歯、やけどやあざの相談」や栄養士による栄養相談も加わりました。午後1時30分から3時まで中区の松坂屋本店ベビー休憩室で5日間連続開催しました。

相談内容と担当者

「育児なんでも相談」岩間正文・三菱名古屋病院小児科医師、有吉允子・済衆館病院小児科医長

「目についての相談」平田国夫・平田眼科医院長

「歯についての相談」長坂法子・長坂小児歯科院長

「あざについての相談」横尾和久・愛知医科大学形成外科教授

明治乳業の栄養士による離乳食や栄養相談も好評で、身長体重測定も含めて年間900件の利用がありました。

1958年12月17日に、名古屋大学小児科医の協力で「第1回ベビー相談室」、73年に「秋・春のシリーズ」がスタートしましたが、今年度で終了することになりました。各関係者の長年のご協力、ご支援に深く感謝申し上げます。

マタニティスクール（名古屋）

当事業団主催。松坂屋本店協賛

産前産後の健康管理や心構えなどを学ぶ「マタニティスクール」を日曜日の午後1時30分から3時、参加費は無料で名古屋市中区の松坂屋北館7階友の会文化教室・リトミック室で開催しました。

初めての出産を安心して迎えるために、笠岡母乳育児相談所長の笠岡直子さんが出産までの呼吸法をはじめ、体重管理や運動不足を解消するためのヨガを取り入れた妊婦体操、実物大の人形を使いお風呂の入れ方を練習する沐浴（もくよく）体験などを実技指導。妊娠中の体調の不安や産後の生活など、夫との理解を深めようと最近では夫婦の参加が増えました。赤ちゃんの抱き方、産着の着せ方、おむつ換えなども実践されました。

「体の準備～マタニティヨガ」「心の準備～出産の経過と呼吸法」「育児の準備～お風呂の入れ方など」を1シリーズとして、年間3シリーズ開催。

[4月13日・5月11日・6月8日] [9月21日・10月19日・11月16日]

[1月18日・2月22日・3月22日]

1981年から開催してきましたが、今年度をもって終了することになりました。各関係者の長年のご協力、ご支援に深く感謝申し上げます。

チャリティー事業

朝日チャリティー美術展

朝日新聞社と共同主催



北島康介さんから北京五輪・パラリンピックのメダリストをはじめ、高橋尚子さんら、3会場で52人の著名スポーツ人による色紙コーナーも併設しました。

3つの「チャリティー美術展」の幕開けとなった名古屋展（第55回）は、12月11日から13日まで、名古屋市中区のスカイル丸栄で開催し、約1,000人から寄贈された約1,200点を即売しました。世界同時不況の中、来場者数の落ち込みが心配されましたが、初日は約120人、二日目は約150人の美術愛好家らが、朝早くから整理券を手に入れようと長蛇の列を作るほどの盛況でした。また、日本画家の浜田泰介さんの「新雪の夜」（10号）を用いたポスターが好評を博しました。



大阪展は、12月26日から28日まで、大阪市中中央区のなんば高島屋で開催しました。前年より17%多い、4,670人が来場。約1,000人からいただいた1,300点を入札と即売で販売し、大いに賑わいました。

84回目となる東京展は09年3月6日から9日まで東京都中央区の松屋銀座で開催し、入札と即売で、約1,200人から寄贈された約1,400点を販売しました。即売コーナーは前日の終電で家を出て一晩会場前に並んだという人や、遠くは秋田県から来場したという人もいて、多くの来場者の熱気に包まれました＝写真下。

日本画家の平山郁夫さん、洋画家の絹谷幸二さん、陶芸家の徳田八十吉さんらの作品、約80点が展示された入札コーナーでは、来場者が次々に足を止めて、

作品に見入っていました。

(作品を寄贈してくださった方々のお名前は55ページから掲載しました)

第58回「メサイア演奏会」(東京)

朝日新聞社と共同主催。東京藝術大学音楽学部協力

「これを聴かないと年を越せない」という熱烈なファンも少なくない、第58回「メサイア演奏会」が12月18日、上野の東京文化会館大ホールで開かれました=写真。折からの不況の逆風にもかかわらず、前売り券約2,300枚は早々と完売しました。

メサイアはキリストの生涯と復活、栄光を題材にしたオラトリオで、作曲者ヘンデルの「社会福祉の目的以外に演奏を認めない」という遺志でチャリティーコンサートとして受け継がれています。別名「藝大メサイア」として親しまれているこのコンサートは日本での草分け的存在で、その陣容と出演者の豪華さでは他の追随を許さない権威を誇っています。

この演奏会が1951年から連続して開催できているのは、東京藝術大学の全面的な協力と教員・学生のみなさんの有形、無形の志に負うところが多大です。毎年9月に行われるソリストの学内オーディションは、プロへの登竜門と言われており、選ばれたソリストは、その後も日本のクラシック音楽界の中核として活躍されています。厳しいオーディションを経て選ばれたソリストの独唱、約160人の声楽科学生のみなさんによる壮大なハレルヤコーラスは世界的にも数少ないものと言われています。また、同大学では、このコンサートを福祉教育の一環ととらえ、コラボレーションは音楽学部だけにとどまらず、今回のポスターやチラシ製作に美術学部彫刻科の林武史先生などにもご協力をいただきました。

08年度は、指揮・小泉ひろしさん、ソリスト・小林沙羅さん(ソプラノ)、宮内朋子さん(アルト)、伊藤達人さん(テノール)、加来徹さん(バス)。演奏は藝大フィルハーモニアのみなさんです。



親子で楽しむクリスマスコンサート（東京）

当事業団主催



クリスマスのひと時を親子で一緒に楽しむ「親子で楽しむクリスマスコンサート」を開催しました。

08年は朝日新聞厚生文化事業団の創設80周年を記念して、「ミュージカル・みんなともだち」と題して東京都千代田区の有楽町朝日ホールで12月23日に午後1時からと午後5時からの2回公演で開催しました＝写真。

「みんなともだち」はシンガーソングライターで絵本作家の中川ひろたかさんと絵本作家村上康成さんの絵本シリーズ『ピーマン村の絵本たち』（童心社）を初めてミュージカル化したもので、中川さんが主宰する「劇団おともだち」の豪華メンバーが出演しました。

ピーマン村幼稚園を舞台に園長先生とひろみ先生、子どもたちが繰り広げる笑いと涙のミュージカルに、舞台と客席が一体になって楽しみました。

このクリスマスコンサートは、毎年発売のお知らせから1週間でチケットが売り切れ、歳末恒例の催しとして定着しています。今回もチケットは完売し、合わせて約1,200人が参加しました。出演者は次の方々です。（敬称略）

中川ひろたか（シンガーソング絵本ライター）、平田明子（ケロポンズ・シンガーソングライター）、増田裕子（ケロポンズ・シンガーソングライター）、藤本ともひこ（絵本作家）、谷口國博（創作遊び作家）、村上康成（絵本作家）、長谷川義史（絵本作家）、大友剛（ミュージシャン、マジシャン）ほか

第45回宇井あきらとレ・ザマン・ド・ラ・シャンソンコンサート（東京）

宇井あきらとレ・ザマン・ド・ラ・シャンソン主催。当事業団後援

12月5日、港区のヤクルトホールで、作曲家で歌手の宇井あきらさんが主宰するシャンソン演奏グループ「レ・ザマン・ド・ラ・シャンソン」（シャンソンの恋人たち）によるコンサートが開かれ、メンバーの上田仲子さんらが、往年のシャンソンのヒット曲を唄い、会場につめかけたファンを魅了しました。

今年もコンサートの構成は宇井あきらさん。演奏は森若三栄子グループが担当しました。また、本年もコンサートの収益を当事業団が推進する福祉事業へ、寄託されました。

杵勝会歳末チャリティー長唄演奏会（東京）

財団法人杵勝会主催。当事業団後援

12月19日に東京都千代田区の有楽町朝日ホールで杵勝会所属の演奏家、約80人が出演。「都風流」「軒端の松」「安宅の松」など長唄古典10数曲が演奏されました。収益の一部は福祉寄金として寄託されました。

協賛能（大阪）

当事業団主催

12月23日、大阪市中央区の大槻能楽堂に関西の能楽師らが一堂に会し、共演しました。歳末助け合いの「協賛能」で、観世、宝生、金剛、金春の4流と、狂言の大蔵流が出演しました。この「協賛能」の収益金54万8924円が事業団に寄付されました。

第54回朝日推薦演奏会（大阪）

当事業団主催

12月20日、大阪市北区のザ・シンフォニーホールで第54回朝日推薦演奏会を開きました＝**写真**。出演したのは、関西を中心に活躍する演奏家が推薦する新進・中堅の演奏家たちで、今回は高校生、大学生、一般の14人が、熱のこもった演奏を繰り広げました。約640人の聴衆からは温かい拍手が送られました。出演者は次の通りです。

ピアノ＝井手智佳子、飯盛康史、越山沙璃、佐竹恵理、須山由梨、田中朋子

声楽＝大崎友美、大谷淑子、笠井真由美、鬼一薫

フルート＝喜多村加代子

マリンバ＝井関里恵、岡田昌子

オーボエ＝中山房子

【推薦委員】

赤松二郎、池田洋子、井上圭子、岩崎勇（※故人）、岡田晴美、片岡みどり、金澤和孝、児嶋一江、酒井睦雄、芝令子、瀬野光子、曾根亮一、田原祥一郎、辻久子、土田晴子、永井和子、服部久美子、深美裕子、宮本慶子、山上明美（いずれも敬称略、50音順）

※83年から推薦委員としてご協力していただいた岩崎勇先生が08年10月に急逝されました。心からご冥福をお祈りします。



第50回「各派合同三曲演奏会」(大阪)

当事業団主催



11月23日、新ビル建設のため今回で最後となった大阪市北区のフェスティバルホールで50回記念の演奏会を開催しました=写真。箏、三絃、尺八の第一線で活躍中の各派の協力で20社中、約700人が出演しました。出演社中と曲目は次の通り(敬称略、出演順)。

須山知行・中島警子社中「さらし風手事」▽菊塚春秋会「狐会」▽箏曲栄琴会「琴の栄」▽博箇民恵社中「肥後の夜祭り」▽中村双葉社中「雲井調子を主題とする合奏曲」▽菊扇弘子と琴栄会「四重華一番」▽雅声会「紅百合」▽遊琴会「追い弾き八千代獅子」▽菊田歌雄社中「吉野天人の曲」▽菊武潔社中「楫枕」▽大阪正絃社「ふるさと民謡浪漫」▽菊原光治社中「最仲の月」▽月清古曲保存会「菊の舞」▽中扇喜琇鳳社中「三の景色」▽酒井典彦社中「『四季』より『春』」▽箏曲和光会・琴古流玉川社「峠」▽八千代会「千鳥変奏曲」▽菊井礼子と菊井箏楽社「さくら変奏曲」▽中野幹子(歌幹)としづれ会「八千代獅子」▽都山流尺八楽会大阪府支部「紅葉(もみじ)」

第56回 洋舞合同祭(大阪)

当事業団主催

12月23日、24日、大阪市北区のフェスティバルホールで、「第56回洋舞合同祭」を開催しました。関西洋舞界を代表する16団体が出演し、日頃の練習の成果を披露。江口舞踊研究所が最後のステージを飾り、第1回から舞台に立つ主宰者の江口須美子さんがお別れのスピーチをし、観客ともどもこれまでの長い歳月に思いをはせ、名残を惜しまました=写真。

出演団体は次の通り(出演順)

【23日】波多野澄子バレエ研究所、江川バレエスクール、貝谷バレエ團関西研究所、畑節子バレエ学院、法村友井バレエ学校、西野バレエ学園、宝塚音楽学校附属宝塚コドモアテ



ネ、渡バレエ学校

【24日】大阪バレエアカデミー、佐々木美智子バレエ団、岡本バレエスクール、谷桃子バレエ団関西研究所、エコール・ド・ダンス・オオサワ、山本小糸バレエスクール、本田道子バレエ団、江口乙矢・須美子・満典舞踊研究所

朝日新聞チャリティーコンサート（大阪・西宮）

当事業団主催。アサヒ・ファミリー・ニュース社後援

今年度は、5コンサートを開催しました。総入場者数は4,045人。募金箱を5会場に設置し、入場料とは別に皆様からいただいた募金は総額833,087円になりました。

アサヒ・ファミリー・ニュース社と08年4月、朝日新聞チャリティー実行委員会を結成し、近藤嘉宏さんのコンサートなど5公演を開催しました。

第55回各流合同茶会（大阪）

当事業団主催



茶道3千家の宗匠をはじめ、各流の宗匠の協力で行われる「各流合同茶会」(主催)を3月28日、29日、大阪市中心部の大阪美術倶楽部で開催しました=写真。

関西一円から、2日間にわたり延べ5千人の来場者があり、自流はもとより他流の席で作法やお茶を堪能しました。

以下は懸釜担当の宗匠。〔 〕内は流派。敬称略・順不同

【28日】〔表千家〕=表千家同門会大阪支部〔裏千家〕=八木宗俊〔藪内流〕=随竹会〔宗徧流〕=佐々木宗節〔庸軒流〕=柿本梅軒〔一茶菴流〕=佃一輝

【29日】〔表千家〕=靱よし子〔裏千家〕=矢野宗菁〔武者小路千家〕=芳野宗春、三宅守真〔松尾流〕=上西宗慶〔松風清社〕=泉谷光峰

〈協賛宗匠〉〔表千家〕=木村哲郎、森泰輔〔裏千家〕=杉本宗璋、杉本宗鴻、中尾宗勢〔武者小路千家〕=木津宗詮、佐伯江南斎〔藪内流〕=藪内流大阪支部五葉会〔古石州流〕=本庄扇宗〔遠州流茶道〕=筍新会〔花月菴流〕=花月菴流大阪支部〔習軒流〕=坂田柏苑

第54回歳末チャリティー朝日茶会（名古屋）

当事業団主催。名古屋美術倶楽部協賛

地元8流派の家元、社中の協力で、12月14日、名古屋市中区の名古屋美術倶楽部で開催しました。

第一席（残月の間）と第二席（葵の間）の茶室で、各4流派が交代でお手前を披露しました。気軽な雰囲気一枚の茶券で、二席分の茶の湯を楽しむことができ、和服姿の女性ら約1,000人が堪能しました。

第一席 茶 極昔（一香園） 菓子 暮雪（松華堂）

第二席 茶 上別儀（升半） 菓子 ろう梅（美濃忠）

諸材料の高騰により、茶券の料金を改定しました。

前売り券1,500円を1,800円 当日券1,600円を2,000円

<協力宗匠>（敬称略）

第一席 [松尾流]=松尾宗典、尾関宗般 [志野流]=蜂谷宗玄、綱島章、福島和志

[久田流]=加藤久岳

[表千家]=谷口宗清、柴田紹和、棚橋昭雄

第二席 [尾州久田流]=下村瑞晃

[宗徧流]=寺尾宗康

[遠州流]=丸山宗翠

[裏千家]=庄司宗文、牧野宗悦

第38回チャリティー朝日邦楽会（名古屋）

当事業団主催

11月24日、名古屋市中区の中電ホールで開かれました。今年は現代箏曲の梶田昌艶さんはじめ11社中55人が競演しました。

<主な演目と出演者>

端唄「嘘と誠」華房小真▽小唄「一夜流れ」錦文喜央▽新内「恋娘昔八丈」森田たか▽端唄「秋の夜」華房真子▽長唄「島の千歳」杵屋勝哉▽三曲合奏「玉くしげ」今井勉▽現代箏曲「寂光（平家物語より）」梶田昌艶▽小唄「お蔦」橘津多▽小唄「浮舟」稲舟妙寿▽小唄「牡丹刷毛」春日とよ恵▽長唄「時雨西行」杵屋勝四郎

スリーデーマーチ（東松山・小金井）

日本ウォーキング協会、県、東松山市、朝日新聞社など主催。当事業団後援

日本スリーデーマーチ第31回記念大会が11月2日から4日まで東松山市周辺で開かれ、参加者たちは和気あいあいと秋晴れの中、比企丘陵の自然を楽しみながら歩きました。

当事業団は、中央会場の朝日新聞ブースに特別コーナーを出展。現在推進している福祉事業の紹介や、朝日福祉寄金の募金を行いました。地元ASAの協力もあり、78,252円の温かいご支援

が集まりました。

また、5月3日から5日、小金井市の都立小金井公園のいこいの広場を中央会場に開かれた「第13回東京国際スリーデーマーチ」(小金井市、日本ウォーキング協会、朝日新聞社など主催)にも出展し、記念品の配布と募金の窓口を開き、24,057円が集まりました。

彩季会チャリティーバザー(東京)

彩季会主催。当事業団後援

12月5日、6日、皮革工芸の指導、研究を行っている杉並区の彩季会(八尾緑代表)でチャリティーバザーが開かれました。会場では、会員の手作りの小物やアクセサリー、バッグなどが多数展示即売され、多くの来場者でにぎわいました。今年も売上の一部が同会より当事業団へ寄付されました。

百貨店協賛チャリティー

主催

大阪、京都、和歌山の3府県内の百貨店が朝日新聞歳末チャリティーに協賛、年末に「チャリティーデー」を設け、当日の売り上げの一部が寄せられました。参加店は次の通り。

【大阪】高島屋大阪店、近鉄百貨店阿倍野店、京阪百貨店守口店、大丸心齋橋店、そごう心齋橋本店【京都】京都百貨店協会【和歌山】和歌山近鉄百貨店

また、近鉄百貨店からは別に、「クリスマスチャリティーベア」の売り上げの中から20万円が寄せられました。

そ の 他 の 事 業

朝日社会福祉賞（東京）

08年度の朝日社会福祉賞の贈呈式が2月6日、中央区の朝日新聞東京本社であり、1氏1団体に、秋山耿太郎・朝日新聞社長から正賞のブロンズ像と副賞200万円の目録が贈られました＝写真。

受賞したのは、アジア、アフリカなどの農村指導者の養成を続けてきた「アジア学院」（栃木県那須塩原市）と、子どもの虐待防止に取り組んできた大阪府立母子保健総合医療センターの医師小林美智子さん。



アジア学院は48年に設立された神学校が前身で、73年に独立しました。これまでに51カ国からの1,130人が、母国で農村の指導者となるために、農業技術やリーダーシップを学びました。丹羽章理事長はあいさつで、「卒業生の働きが認められ、受賞に至ったと思う」と述べた。

小林さんは、日本での虐待防止の取り組みについて、「この20年で大きく発展したように見えるが、まだこれから」と指摘。「虐待を受けた子どもの人生が幸せになれる。虐待せざるを得なかった親の人生も豊かになれる。そのような社会にすることが目標です」と語りました。

西部朝日福祉助成金（九州・沖縄・山口）

当事業団主催

地域の福祉向上に取り組んでいる小規模福祉作業所やボランティアグループなどの活動を支援するため、夏季に九州、山口、沖縄の14団体に498万円を、冬季には福岡県内の4団体に60万円を贈りました。毎年、年末・年始に実施している「朝日ふれあい募金」を財源にしています。

夏季の助成金の申込団体募集は2月26日付の本紙朝刊の「お知らせ」でスタートし、4月10日の締め切りまでに101団体から応募がありました。2次にわたる社内選考と各県の社会福祉協議会や朝日新聞西部本社の総・支局の協力で調査を実施し、14団体を選考しました。6月21日付朝刊特集面で、その活動を紹介しました。贈呈式は福岡県分を6月26日に西部本社で、その他は各県庁所在地の朝日新聞総局などで行いました。

贈呈の14団体と主な購入機器は次の通りです。

【山口】音訳「いさりび」（大島郡周防大島町・視覚障害者用ポータブルレコーダー）▽フリースペース「和の家」（山口市・チッパシュレッタ）▽NPO灯親会 法光苑（下関市・カーテン）▽山口

県アスペの会 下関支部(下関市・講演会費用)【福岡】NPO大牟田知的障害者育成会(大牟田市・給食用流し台)▽NPO青少年の自立を支える福岡の会(福岡市・軽自動車)▽なおみの会第2作業所(宮若市・飲料缶圧縮機)▽あかつき会コラボ北九州 城野(北九州市・竹炭加工機具ほか)
 【佐賀】「元気塾」親の会(佐賀市・オープンレンジなど)【長崎】NPOポニーランド長崎(長崎市・厩舎建設と流砂の補充)【熊本】山鹿きぼうの家(山鹿市・作業台2台と室内改修)【大分】NPOさいき未来21(佐伯市・居室改修費)【宮崎】NPOチームさどわら(宮崎市・業務用テーブルと椅子)【鹿児島】NPO「きぼう館種子島」(西之表市・耕運機)

春季は地域で、社会福祉活動を継続的に続けている団体を支援するための助成で、運営費として活用できます。福岡いのちの電話(福岡市)▽北九州いのちの電話(北九州市)▽福岡県交通遺児を支える会北九州総支部(同)▽福岡県交通遺児母の会(同)の計4団体に贈られ、3月19日、朝日新聞西部本社で贈呈式を行いました。

西部朝日福祉助成金の財源である「朝日ふれあい募金」は12月1日から09年1月31日まで受け付けました。郵便振替や朝日新聞西部本社、福岡本部、総局・支局、朝日新聞販売所(ASA)への持参など、期間中、九州・山口の皆さまから寄せられた募金は609件、総額4,652,184円に達しました(お名前は69ページに掲載)。

朝日福祉ガイドDVD新シリーズ第2弾 「親と教師のための 自閉症の子どもの評価」全4巻

07年1月に頒布を始め、親や教師などから「具体的で分かりやすい」と評価の高い「親と教師のための 自閉症の子どもの自立課題」(全3巻)に続くDVD新シリーズ「親と教師のための 自閉症の子どもの評価」(全4巻) =写真=の頒布を08年6月に開始しました。

自閉症の人たちを支援する上で、すべての基礎となる評価について、実際に自閉症のお子さんやご家族の協力をいただきながら撮影、制作されたもので、文字情報では伝えられにくかった内容について、詳しく、具体的に映像化されたものです。

「評価のしかた」、「評価のポイント」、「評価と課題設定」、「自立のための評価」と第1巻から分

かりやすい構成で、画面を見ながら一緒に子どもの評価ができるように工夫されています。

監修は前作同様、米国ノースカロライナ大学医学部TEACCH部部長のゲーリー・メジボフさんで、監修・指導として大妻女子大学教授の内山登紀夫さん、横浜市東部地域療育センター通園部園長の幸田栄さん、



同センター臨床心理士の安倍陽子さん、よこはま発達クリニック児童精神科医の村松陽子さん、京都市発達障害者支援センター副センター長の中山清司さん。

朝日新聞厚生文化事業団は、このDVDの企画・立案と制作への協力を行いました。なお、前作の「自立課題」は、1年間に約1,650セットの申し込みがあり、この種のDVDセットとしては異例の頒布数で、その後も引き続き頒布の申し込みが絶えません。今年度頒布開始の「自閉症の子どもの評価」も合わせて、家庭や学校などの現場で役立てられることと思われます。

「自閉症の子どもの評価」(全4巻)セット頒布18,000円(送料別)。

ミャンマー・サイクロン救援募金、中国四川大地震救援募金

5月2日にミャンマーを襲ったサイクロン被害と12日に中国・四川省で発生した地震の被災者救援のため、当事業団は、5月14日から6月末までの1か月半にわたり朝日新聞社と協力して募金の呼びかけを行いました。朝日新聞の読者の皆様をはじめ、全国各地から支援が寄せられ、締め切り後到着分も含め、ミャンマー・サイクロンは856件、9,714,966円、中国・四川大地震は、1,299件、21,873,769円になりました。集まった募金はすべて日本赤十字社を通じて被災者救援にあてさせていただきました。皆様の温かいご協力に厚くお礼申し上げます。

おもな後援・協賛・協力事業一覧表

日程	催事名		主催者名	会場
東京事務所				
通年	第8回全国障害者芸術・文化祭滋賀大会	後援	厚生労働省、滋賀県	滋賀県全域
3/23～8/31	第2回全東京ろう社会人軟式野球TDリーグ大会	後援	全東京ろう社会人軟式野球連盟	北区新荒川大橋球場ほか
4/17・18	横浜開港150周年記念 国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」	後援	同実行委員会	みなとみらいホール
4/23～5/7	第26回記念FAA展(富士展)	後援	富士美術協会	東京都美術館
5/2～5/4	「第37回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会」	後援	日本車椅子バスケットボール連盟ほか	東京体育館
5/5～5/11	平成20年度第62回「児童福祉週間」	協力	厚生労働省ほか	
5/10	MOMO東京パイロットクラブ18周年記念チャリティーセミナー	後援	MOMO東京パイロットクラブ	なかのZEROホール
5/17	日本リウマチ友の会第48回全国大会	後援	日本リウマチ友の会	ホテルメトロポリタン山形
5/27	「若さの栄養学」春の講演会	後援	若さの栄養学協会	きゅりあん(東京・品川区)
6/4～8	第23回全国聴覚障害者写真コンテスト	後援	全日本ろうあ連盟	AOSSA、福井県立美術館
6/9～10	第24回DPI日本会議全国集会 in 岩手大会	後援	DPI日本会議ほか	いわて県民情報交流センター
6/9～11	第61回全国盲人福祉大会	協賛	日本盲人会連盟	東京体育館他
6/14	第20回クウォーターズクラブチャリティーコンサート	後援	クウォーターズクラブ	紀尾井ホール
6/27	日本聾話学校チャリティー映画会	後援	日本聾話学校	日比谷公会堂
6/22～29	第21回「福祉MY HEART美術展」	助成	マイハート・インターナショナル	上海市障害者芸術センター(中国)
7/8～13	第50回「慈彩会展」	後援	慈彩会	日本橋三越本店
7/11・12 7/28・29	第57回「関東聾学校陸上競技大会」および「バレーボール大会」	後援	関東聾学校体育連盟	横浜市三ツ沢公園、横須賀アリーナ
8/19～21	第59回全日本少年野球大会	後援	厚生労働省ほか	山口市スポーツの森
8/30	夏休みスペシャル かがり火の中の和太鼓コンサート in 築田寺	後援	OHANAプロジェクト	町田市梁田寺
9/6	第12回「電動車椅子サッカー関東大会」	後援	関東ブロック電動車椅子サッカー協会	八千代市市民体育館
9/7	平成20年度 全国社会福祉大会	協賛	厚生労働省ほか	日比谷公会堂
9/17	「日本点字図書館 秋のチャリティー映画会」	後援	日本点字図書館	なかのZEROホール
9/18	第45回「東京都老人クラブ芸能大会」	後援	東京都老人クラブ連合会	東京厚生年金会館大ホール
9/20・21	「第17回全国ボランティアフェスティバルにいがた」	協賛	全国ボランティアフェスティバル推進協議会	新潟県朱鷺メッセ他
9/24～26	「第35回国際福祉機器展 H. C. R. 2008」	協賛	保健福祉広報協会ほか	東京ビッグサイト
9/26	第38回「朗読録音奉仕者感謝の集い」	後援	鉄道弘済会ほか	弘済会館

日程	催事名		主催者名	会場
9/28・29	第34回みんなの音楽会と 認知病高齢者講演会	後援	東京ミュージック・ボランティア協会	浴風会大ホール
10/4・5	「きょうされん第31回全国大会 in ひろしま」	後援	きょうされん	広島県立総合体育館ほか
10/11	第6回本間一夫記念「日本点字図書館チャリティーコンサート」	後援	日本点字図書館	東京文化会館小ホール
10/19	第21回「全国障害者将棋大会」	後援	全国障害者将棋大会実行委員会	北とぴあ
10/19	第7回ピポ・ユニバーサル駅伝大会	後援	コミュニケーションスクエア21	明治神宮外苑聖徳記念絵画館広場ほか
10/24～26	「第38回関東ろうあ婦人集会」	後援	全日本ろうあ連盟女性部	青少年総合センター
10/25	第40回愛隣会チャリティバザー	後援	愛隣会	愛隣会構内
10/29・30	第1回全国精神保健福祉家族大会	後援	全国精神保健福祉会連合会	東京厚生年金会館
10/28～11/3	日本手芸作家クラブ 第52回新作・チャリティー展	後援	日本手芸作家クラブ	池袋三越
11/1	正秋バンドチャリティーコンサート 愛のサウンドフェスティバル	後援	東京光の家	日野市民ホール
11/2～4	「サイトワールド2008」	後援	日本盲人福祉委員会	すみだ産業会館
11/9	「第55回東京都聴覚障害者大会」	後援	東京都聴覚障害者連盟	豊島区公会堂
11/14	第20回「国民の健康会議」	協賛	全国公私病院連盟	港区・ヤクルトホール
11/15	「第5回本間一夫文化賞」	後援	日本点字図書館	ビッグボックス
11/22	第29回全国歯科保健大会	後援	厚生労働省ほか	山口市民会館
12/1～5	弘済学園「わたしたちが創る展」	後援	鉄道弘済会 東京都社会福祉協議会	
12/6～12	「第12回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会」	後援	京都聴覚言語障害者福祉協会ほか	埼玉県民活動総合センター
12/19	杵勝会・歳末チャリティー長唄演奏会	後援	杵勝会	有楽町朝日ホール
12/19	「第57回東京都社会福祉大会」	協賛	東京都ほか	東京都庁大会議場
12/18～25	青少年と共に歩む会「憩いの家」資金バザー	後援	青少年と共に歩む会	日本橋高島屋
1/29～30	第10回日本手をつなぐ育成会 地域活動・就労支援事業所協議会全国大会（東京大会）	後援	全日本手をつなぐ育成会	青少年総合センター
3/3	第54回「耳の日」記念行事	後援	日本耳鼻咽喉科学会	有楽町朝日スクエア
3/7	「メンタルヘルスの集い」（第23回日本精神保健会議）	後援	日本精神衛生会	有楽町朝日ホール
3/28	全日本ろうあ連盟創立60周年記念映画「ゆずり葉」完成披露試写会	後援	全日本ろうあ連盟創立60周年記念映画製作委員会	有楽町朝日ホール
3/28	MOMO東京パイロットクラブ19周年記念チャリティーセミナー	後援	MOMO東京パイロットクラブ	なかのZEROホール
4/12	第2回ウエルビーイングクラブ	後援	同実行委員会	千葉県・房総のむら
大 阪 事 務 所				
4/1～	第44期電話相談ボランティア養成講座	後援	関西いのちの電話	博愛社
4/16～11/30	第18回自然観察インストラクター養成講座	後援	大阪自然環境保全協会	服部緑地公園ほか

日程	催事名		主催者名	会場
4/20	第26回日本ライトハウスチャリティコンサート	後援	日本ライトハウス	ザ・シンフォニーホール
4/25~27	バリアフリー2008	後援	府社会福祉協議会ほか	インテックス大阪
4/1~5/31	大同生命助成金事業(3件)	後援	大同生命厚生事業団	
4/1~5/31	家庭看護実習教室/短期集中看護実習教室	後援	大同生命厚生事業団	
4/27	旧西尾家住宅・春期大茶会	後援	吹田市教育委員会	旧西尾家住宅
5/15	空堀暮らしサポートボランティア養成講座	後援	NPO 高齢者外出介助の会	大阪・ドーンセンター
5/25	第15回共生・共走リレーマラソン	後援	共生・共走リレーマラソン実行委員会	花博記念公園鶴見緑地
5/25	能楽「~笑 WARA I~」	後援	なにわ文化芸術芸能推進協議会	大阪市住吉区東粉浜・ささら屋住吉店
5/1~3/31	ソーシャルワーカー養成課程	後援	京都国際社会福祉協力会	京都国際社会福祉センター
5/31・6/1	第3回堺国際ソーデーマーチ	後援	堺市・日本ウォーキング協会・朝日新聞社ほか	堺市大仙公園
6/6	「若さの栄養学」春の講演会	後援	財団法人若さの栄養学協会	大阪産業創造館 6階会議室E
6/7	福祉の就職総合フェア2008 in Osaka	後援	大阪府社協・大阪府・全国社協ほか	大阪府立体育会館
6/8	第15回マインドエアロビクス	後援	マインドエアロビクス実行委員会	大阪市長居障害者スポーツセンター
6/12	「奈良サマーセミナー2008」	後援	特定非営利活動法人 奈良 NPOセンター	奈良市内
6/12	第58回施設従事者激励会	後援	大阪民間社会福祉事業従事者共済会	大阪「新歌舞伎座」
6/14	「共に生きる12」	後援	「共に生きるコンサート」実行委員会	箕面市立メイプルホール
6/28	自閉症の子どもたちの「遊びの広場」と「ママ・パパミーティング」	後援	NPO法人 BON	大阪府立少年自然の家
6/28	第8回大阪精神障害者連絡会大会	後援	大阪精神障害者連絡会(ぼちぼちクラブ)	芦原橋・ヒューマインド
7/1~9/30	2008体験COMVO-夏のボランティア活動	後援	大阪市社会福祉協議会	大阪市内ほか
7/5	第43回近畿肢体不自由児者福祉大会	後援	近畿2府4県肢体不自由児者父母の会連合会・協議会	大阪府立青少年会館
7/6	NPO公開講座08「本当の、親と専門家の協力関係」	後援	NPO法人 BON	大阪・ドーンセンター
7/7~8	第58回近畿児童自立支援施設野球大会	後援	兵庫県・近畿児童自立支援施設協議会	三木総合防災公園野球場
7/11~13	2008ナイスハートバザールINイトーヨーカドー	後援	大阪府授産事業振興センター	イトーヨーカドー東大阪店
7/20	中高年のための「第3回いきいきアロハ・フラ・フェスティバル」	後援	同実行委員会	門真市民文化会館ルミエールホール
7/20~25	2008年度 子供の城・障害児教育夏期連続講座	後援	財団法人子供の城協会	公文教育会館地下ホール

日程	催事名		主催者名	会場
7/21~26	第29回子どもたちの讃歌展	後援	大阪養護教育諸学校造形教育研究会	大阪府立現代美術センター
7/27	「街の学校」(とさぼりサマーセミナー)	後援	大阪 YMCA ほか	大阪 YMCA 会館ほか
7/28~29	老人介護セミナー	後援	大阪府医師会	大阪府医師会看護専門学校
8/7~12	第25回土と水と緑の学校	後援	社団法人 アジア協会アジア友の会	新宮市高田公民館ほか
8/9	第14回すいた共生・平和のつどい	後援	すいた共生・平和のつどい実行委員会 社会福祉法人ぶくぶく福祉会	メインシアター集会所(吹田市泉町)
8/17~19	「自閉症児のためののびのびキャンプ」	後援	大阪府青少年活動財団	大阪府立総合青少年野外活動センター
8/18~19	第57回近畿児童福祉施設スポーツ大会	後援	近畿児童養護施設協議会ほか	城陽市民余暇活動センター
8/29~31	2008年度・吃音親子サマーキャンプ	後援	サマーキャンプ実行委員会ほか	滋賀県立荒神山少年自然の家
8/29~31	「ナイスハートバザール」	後援	大阪府授産事業振興センター	イオンモール堺北花田ほか
9/20・21	ファインふれあいマリンキャンプ	後援	財団法人 大阪府地域福祉推進財団	大阪府立青少年海洋センター
9/21	第49回大阪手をつなぐ育成会大会	後援	大阪知的障がい者育成会ほか	守口市市民会館
10/18・19	第27回スポーツフェスタ2008大阪	後援	大阪知的障害者スポーツ協会	大阪市長居競技場ほか
10/26	ファインエリアフェスティバル2008	後援	実行委員会・大阪府立障がい者交流促進センター・堺市城山台校区連合自治会ほか	大阪府立障がい者交流促進センターほか
10/26	第36回全大阪ろうあ者文化祭	後援	社団法人大阪聴力障害者協会 大阪市聴言障害者協会	大阪市長居障害者スポーツセンター
10/26	第9回誕生日フェスタ	後援	誕生日ありがとう運動本部	神戸市生涯学習支援センター
11/8	大西ユカリ・チャリティライブ	後援	病気や事故などによる中途障害者を支援する・らしんばん友の会	豊中市市民会館大ホール
11/8	第44回肢体不自由児者を支援するチャリティーバザー	後援	大阪府肢体不自由児者父母の会連合会	大阪府八尾市内
11/9	第32回「福祉まつり」	後援	第32回福祉まつり実行委員会	総合福祉施設「関目学園」と周辺
11/9	舞洲わくわくカーニバル	後援	舞洲わくわくカーニバル実行委員会	アミティ舞洲
11/14・15	平成20年度 医療社会事業従事者講習会	後援	NPO法人 大阪医療ソーシャルワーカー協会	大阪府社会福祉会館
11/15	第44回肢体不自由児者を支援するチャリティーバザー	後援	大阪市肢体不自由児者父母の会連合会	京橋駅前広場
11/17	平成20年度大阪府社会福祉大会	後援	大阪府社会福祉協議会	大阪交流センター・大ホール
11/17	「若さの栄養学」秋の講演会	後援	財団法人若さの栄養学協会	大阪産業創造館6階会議室

日程	催事名		主催者名	会場
11/18	第9回大阪救護施設合同文化事業	後援	大阪救護施設合同文化事業運営委員会	太閤園（大阪市都島区）
11/24	大阪YMCA第14回チャリティーラン2008	後援	大阪YMCAほか	万博公園（吹田市）
12/3～6	第15回ノーマライゼーション「絵画・創作展」	後援	ノーマライゼーションクラブ	大阪市立総合生涯学習センター
12/3	2008年大阪ふれあいキャンペーン	後援	大阪ふれあいキャンペーン実行委員会	JR大阪駅・南海難波駅ほか
12/4～10	チャリティー作品展（ニットファッション）	後援	ファッショングループSUMIRE	近鉄百貨店上本町店
12/4～6	第32回チャリティー画展（日曜画家）	後援	日曜画家協会	マイシティ・オアシス（大阪駅前第2ビル）
12/23	「若駒となかま達のコンサート」	後援	民族芸能アンサンブル若駒	クレオ大阪西
1/14～20	第26回ふれあいの街・チャリティーバザール	後援	大阪府社会福祉協議会・成人施設部会・セルブ部会	高島屋堺店（9階催事場）
1/22～27	第28回「障害のある子どもに学ぶ」図工展	後援	大阪市小学校教育研究会特別支援教育部・同養護教育担任者会	大阪市長居障害者スポーツセンター
1/23～25	平成20年度「大阪府障がい者スキー講習会」	後援	大阪府障がい者スポーツ振興協会	八チ高原スキー場
1/23～25	平成20年度「ファインふれあい障がい者スキー教室」	後援	財）大阪府地域福祉推進財団	八チ高原スキー場
2/14	素のままフェスタ2009	後援	素のままフェスタ2009実行委員会	豊中市立市民会館ホール
2/12	第47回衛生教育大阪大会・第51回公衆衛生大阪大会	後援	大阪府・市・堺市・大阪公衆衛生協会	大阪府病院年金会館
2/18～21	第24回肢体不自由児者の作品展	後援	大阪府肢体不自由者協会ほか	大阪・ドーンセンター
2/20～22	「ナイスハートバザール Nイオン大日ショッピングセンター」	後援	大阪府授産事業振興センター	イオン大日ショッピングセンター
2/15・21・24	福祉の就職フェア2008	後援	大阪府・全国社会福祉協議会・大阪府社会福祉協議会ほか	大阪市立北区民センターほか
2/22	難病対策の新たな発展を考える府民のつどい	後援	大阪府・NPO大阪難病連ほか	エル・おおさか南館
2/22	劇団「ひっぽ」自主公演VOL. 8	後援	劇団「ひっぽ」	神戸市立須磨区民センター
2/27～28	第13回全国地域福祉施設研修会	後援	日本地域福祉施設協議会、大阪市地域福祉施設協議会	大阪キャッスルホテル
2/28	第19回「春をよぶみんなのコンサート」	後援	春をよぶみんなのコンサート実行委員会	守口市市民文化会館さつきホール
3/1	認知症講演会「認知症の正しい理解とその対応」	後援	財団法人大阪認知症研究会	千里ライフサイエンスセンター
3/14	第21回こんにちはまつり	後援	こんにちはまつり実行委員会	兵庫県中央労働センター
西 部 事 務 所				
4/19～	08年度生活習慣病市民公開講座	共催	平成紫川会	北九州芸術劇場ほか
5/27	第43回西部伝統工芸展	協力	日本工芸会西部支部	西鉄グランドビル

日程	催事名		主催者名	会場
6/1	第46回北九州市障害者スポーツ大会	後援	北九州市障害者スポーツ協会ほか	鞆ヶ谷陸上競技場
6/7	第26回北九州精神障害者家族会連合会総会	後援	北九州精神障害者家族会連合会	ウエルとばた
6/28~29	第20回九州車いすツインバスケットボール選手権大会	共催	九州車椅子バスケットボール連盟ほか	諸富文化体育館
6/29	第1回小学生ふうせんバレーボール大会	後援	北九州市障害者スポーツセンターほか	北九州市立若松体育館
7/19~22	第29回脳性マヒ児のための母親研修キャンプ	後援	福岡あゆみの会	やすらぎ荘
8/12~14	第53回在宅肢体不自由児海の療育キャンプ	共催	福岡県肢体不自由児協会ほか	福岡県立少年自然の家「玄海の家」
8/30	自殺防止公開講座	共催	福岡いのちの電話	明治生命ホール
8/31	若松競艇 MB 記念チャリティーイベント「フリーマーケット」	後援	北九州市経済文化局事業部競艇事務所	若松競艇場
9/6~7	第46回チャリティー大茶会	後援	茶道裏千家淡交会北九州支部	小倉井筒屋パステルホール
9/13~14	第8回交流キャンプ	協力	ごろりんハウスキャンプ実行委員会	みんなの館
9/22~23	「第28回福岡県障害者自動車連合会総会」並びに「第25回記念福岡県障害者自動車安全運転競技大会」	後援	福岡県障害者自動車連合会	おんが自動車学校、北九州八幡ロイヤルホテル
10/12・19	第45回福岡県ろうあ者体育大会	後援	福岡県聴覚障害者協会	北九州市立生涯学習総合センターほか
11/10 ~ 12/10	第56回手足の不自由な子どもを育てる運動	後援	福岡県肢体不自由児協会ほか	福岡市など福岡県内主要都市にて
11/13~14	全国脊髄損傷者連合会 第32回九州ブロック会議熊本大会	後援	全国脊髄損傷者連合会	ホテル熊本テルサほか
11/15	平成20年度 母子・父子家庭、寡婦ふれあい体育祭	協力	北九州市母子寡婦福祉会ほか	北九州市立総合体育館
11/16	第19回全国ふうせんバレーボール大会	後援	ふうせんバレーボール振興委員会	北九州市立総合体育館
12/7	第11回北九州市手話フェスティバル	後援	NPO北九州市聴覚障害者協会ほか	北九州芸術劇場
1/11~12	第21回BOSSチャリティーテニストーナメント	後援	国際スポーツ振興	九州国際テニスクラブ
1/22~26	第27回肢体不自由児・者の美術展	後援	福岡県肢体不自由児協会ほか	小倉井筒屋本館8階
2/14~15	第29回朝日九州車いすバスケットボール選手権大会	共催	九州車椅子バスケットボール連盟ほか	大分県立総合体育館
名古屋事務所				
4/26~5/25	平成20年度愛知県障害者スポーツ大会	後援	愛知県・県社会福祉協議会	星が丘ボウル（名古屋市）ほか
4/27	第19回ナゴヤチャリティーマラソンフェスティバル	後援	名城オールランナーズクラブほか	庄内緑地公園（名古屋市）
5/4	「障害のある人のコミュニケーション支援」講演会	後援	TEACCHプログラム研究会愛知支部	鯉城ホール（名古屋市）
5/18	第5回名古屋障害者スポーツ大会	後援	名古屋市・市身体障害者福祉連合会	瑞穂陸上競技場・公園（名古屋市）ほか

日程	催事名		主催者名	会場
6/6～8	第11回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2008～	後援	名古屋国際見本市委員会	ポートメッセなごや(名古屋市)
6/中旬～10/下旬	第60回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール	後援	愛知県共同募金会ほか	愛知県庁本庁舎ほか
6/24～26	第37回全国児童養護問題研究会全国大会	後援	全国児童養護問題研究会	愛知県産業貿易館ほか
7/6	第25回愛知県聴覚障害者大会	後援	愛知県聴覚障害者協会	稲沢市民会館(愛知県)
7/13	平成20年度自閉症児・者のための支援セミナーⅠ	後援	愛知県自閉症協会	愛知県社会福祉会館
8/15～20	第25回岐阜心理リハビリテーション療育キャンプ	後援	岐阜県肢体不自由児・者父母の会ほか	長良川スポーツプラザ(岐阜県)
8/20～25	第36回愛知心理療育キャンプ	後援	愛知心理療育親の会	愛知老人保養ホーム永和荘
8/23～29	第23回三重県心理リハビリテーション連合キャンプ	後援	三重県心理リハビリテーション連合会	三重県立鈴鹿青少年センター
9/10～12/10	第56回「手足の不自由な子どもを育てる運動」	後援	愛知県肢体不自由児協会	愛知県青い鳥医療福祉センターほか
9/22	ドキュメンタリー映画「サラリーマンライフ」	後援	サラリーマンライフ制作委員会スタジオアヤ	DVD制作
10/4	生き生き長寿フェア2008「はつらつ健康プラザ」	後援	愛知県・県社会福祉協議会	あいち健康の森公園(大府市)
10/5	第32回 08愛のフェスティバル	後援	名古屋手をつなぐ育成会	名古屋手をつなぐ育成会福祉会館・ひろば
10/25	平成20年度自閉症児・者のための支援セミナーⅡ	後援	日本自閉症協会・愛知県自閉症協会	名古屋市中小企業振興会館
10/25～26	第41回手をつなぐ育成会東海北陸大会	後援	東海北陸手をつなぐ育成会協議会ほか	岡崎市民会館(愛知県)ほか
10/26	第36回医療講演会	共催	三重県重症心身障害児(者)を守る会	三重県伊勢総合庁舎
11/1～2	第14回地域療育講演会	後援	社会福祉法人美谷会ほか	大垣市情報工房(岐阜県)
11/5	第56回愛知県社会福祉大会	協賛	愛知県・名古屋市・県社会福祉協議会ほか	愛知県体育館
11/9	第53回名古屋市身体障害者福祉大会	後援	名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市公会堂
11/25～12/7	第43回名古屋市障害者作品展覧会	後援	名古屋市・市身体障害者福祉連合会	名古屋市博物館
11/29	名古屋いのちの電話チャリティーコンサート「歌は私の祈り」	後援	名古屋いのちの電話チャリティーコンサート実行委員会	名古屋中央教会
12/7	第48回愛知県身体障害者福祉大会	後援	愛知県身体障害者福祉団体連合会ほか	犬山市民文化会館(愛知県)
2/1～	第19期電話相談ボランティア養成講座	後援	愛知いのちの電話協会ほか	東桜会館(名古屋市)ほか
2/8・14	平成20年度知的障害者支援者養成講座	後援	名古屋手をつなぐ育成会	名古屋手をつなぐ育成会福祉会館ほか
2/22	第31回「名古屋手話祭」及び第7回「聴覚障害者の集い」	後援	名古屋市聴覚障害者協議会	ウィルあいち(名古屋市)

54 おもな後援・協賛・協力事業一覧表

日程	催事名		主催者名	会場
3/1	第27回「耳の日記念」聴覚障害者と県民のつどい	後援	愛知県聴覚障害者協会ほか	知立市文化会館（愛知県）
3/1	平成20年度自閉症児・者のための支援セミナーⅢ	後援	愛知県自閉症協会	名古屋市高齢者就業支援センター

チャリティー美術展に出展いただいた皆様

(50音順、敬称は略させていただきました)

【日本画】

(あ行)

相嶋崇人	相羽ユキ	青田賢蔵	青沼朱美	青野健	赤井春水	赤沢嘉則	赤羽根一司
秋本幸一	浅野忠	浅野ヒデ	足利満雄	小豆澤禮	小豆島良耳	安達英志郎	阿部一雅
阿部哲也	天野耕造	荒井孝	荒井美智	新井陽子	荒木孤人	荒木靖子	有賀明文
安斎義郎	安藤心象	安藤徹	飯尾剛史	飯田小夜子	池田薙仔	池田夏乎	池田正明
石踊紘一	石踊達哉	石川節人	石崎昭三	石田幸誠	石塚青篁	石永皓一郎	石原正人
伊勢巧	板垣青仁	板谷澄子	市川保道	市野鷹生	市野晴美	市橋豊美	伊藤香城
伊藤紫虹	伊藤タカ子	伊藤獨	伊藤はるみ	伊藤正男	伊東美巳	伊藤由純	稲熊万栄
犬飼恵美子	井上明敏	井上耐子	井上北斗	猪熊佳子	今井武久	磐城佳子	岩崎巴人
岩崎美代子	岩田三枝	岩波昭彦	岩本富雄	岩本峯斉	上原桂子	上村淳之	上村典子
鶴飼千佐子	臼井治	薄波靖子	内田広己	内田政美	内山尚己	烏頭尾精	宇野正二
梅岡徳子	梅津道雄	梅原幸雄	浦上義昭	江川敦志	江川照美	江口佳寿子	江尻治泰
蝦名芳枝	遠藤隆稔	大河内久男	大嶋英子	太田圭	大竹紫水	太田小晴	大月紅石
大野廣子	大野幹彦	大森運夫	大矢時保	大矢十四彦	大矢紀	大山鎮	大矢眞弓
岡田郁子	岡田有功	岡田繁憲	岡信孝	岡本彩湖	小川国亜起	奥村千鶴	小倉理山
小山硬	折式田生子						

(か行)

春日あけみ	片柳勁	加知満	勝田幸男	加藤哲男	加藤眞恵	加藤美恵子	加藤美代三
加藤佳子	角田梅光	鎌田紀子	上岡奈苗	嘉門町子	川合和子	河合重政	川北一雄
川越篁治	川崎マリ子	川島睦郎	川嶋渉	河津胖子	河部樹誠	川辺隆啓	河村沙希
河本正	神林久子	菊川三織子	菊池治子	岸野圭作	北原雅眉瑠	北原龍太郎	北村一二三
北山義浩	木村友彦	木村光宏	金原保則	楠暁子	工藤甲人	久芳道信	久保吉郎
久保見幸夫	久保嶺爾	倉田立美	倉田富美	倉地千枝子	黒澤正治	黒光茂明	小泉淳作
小泉智英	郷倉和子	香西坦子	神門やす子	香野ルミ子	小島光径	児玉邦子	後藤紳也
後藤純男	後藤芳世	粉川洛木	小林嶽雄	小林済	小林六博	小林裕子	小谷津雅美
近藤ミヤ							

(さ行)

齋藤陽	斉藤和	斎藤宗	坂倉由一	坂本綾子	坂元洋介	佐久間頭一	櫻井基晴
佐々木経二	佐々木裕而	笹本正明	佐治満澄	佐田実	佐藤晨	佐藤継雄	佐藤直子
佐藤啓美	佐藤叔	里見穎伸	猿橋幸治	澤田季未子	澤山輝彦	重岡良子	品川成明
篠崎美保子	澁澤卿	島田隆司	清水史郎	清水達三	下川辰彦	下川立夏	下島洋貫
下田義寛	霜鳥忍	白井久義	菅谷伏瑳子	杉谷彩光	杉山華仙	杉山博子	杉山律夫
鈴木彰	鈴木至夫	鈴木美津子	鈴木喜家	須田絢子	関根将雄	千住博	染谷聡之
楚里清							

(た行)

田井久江	高岡秀造	高木白雲	高木元子	高頭信子	高橋新三郎	高畑郁子	瀧沢巨森
田口愛子	武田州左	武田三義	田島奈須美	田島初男	多治見早苗	田代邦子	辰巳寛田
中重造	田中竣	田中瑞芳	田中照子	田中基美	棚橋文子	田辺ノブ子	谷井恵紅
谷口蕙香	田宮栄子	田村仁美	多和田清美	千村俊二	月居和子	月村恵紅	津田勉

土長けい 土屋雅裕 筒井耀也美 角田範子 露木恵子 寺田正 樋田洋子 東条光顯
堂本元次 遠山幸男 徳川和美 戸田英二 戸田みどり 殿南直也 富田俊成 鳥山武弘

(な行)

永井正御 中岡友子 中川脩 長崎莫人 中澤静 中島潔 中島千波 永田耕治
永田実子 中谷温男 中庭隆晴 中野美於 中野嘉之 仲林敏次 中村壽 中村宗弘
永森一郎 那波多目功一 成田環 新美葉子 仁木寿美子 西澤知江子 西前佑一
西村勝廣 西村光人 西村真紀 西山英子 西脇繁華 沼本三郎 野原真澄

(は行)

長谷川郁子 服部倫子 服部誠子 浜上俊和 濱田昇児 浜田泰介 早川裕子 林孝彦 林
田啓江 林千代子 林芳辰 林正明 林美枝子 原武子 原田巧 稗田一穂
日置宏輔 日景博 日比野光雄 平岩洋彦 平尾秀明 平田春潮 平山郁夫 廣岡通正
福井時子 福王寺一彦 福本達雄 藤井康夫 藤谷和春 藤本久美 藤原重夫 藤原志保
藤原早子 二川和之 太尾芳生 紅山幸水 堀川えい子 堀越保二 本間正英

(ま行)

前田暉 前本利彦 梶田靖夫 馬瀬里子 間瀬静江 町田泰宣 松生歩 松尾敏男
松尾浩子 松木秋佳 松倉茂比古 松崎良太 松下勝正 松下宣廉 松下園江 松田知子
松永明雄 松原秀伸 松室加世子 松本進 松本哲男 松本実 的場弘司 真野尚文
丸尾玉琳 丸尾久子 三浦絵衣子 三上俊樹 三沢英伍 水江東穹 水谷勝子 水野收水
野本光 三谷青子 三井桜秀 皆川千恵子 箕輪翠香 三村伸絵 三宅美代子 三宅和光
宮崎観峰 宮本脩子 宮本和胡 三輪晃久 三輪昭 村井玉峰 村井葉子 村田晴彦
村田林藏 村中秀男 本橋富夫 森島扶美子 森英明

(や行)

矢澤貞子 安川眞慈 安田育代 安田外喜子 谷中武彦 柳績 山木戸采香 山口溪華
山口豊泉 山口義明 山崎弘芳 山下まゆみ 山平貞信 山本恭子 山本静香 山本しず子
山本真一 山本真也 油野由美子 横山萬里 吉岡三樹子 吉田祥子 吉田多最 吉永さと子
吉村年代 依田有立 四田淳三

(わ行)

和田洗珀 渡辺章雄 渡邊英子 渡邊幸子 渡辺富栄 渡邊美喜

【洋画】

(あ行)

相川昭二 饗庭昌貞 相原吉夫 青江健二 秋田谷愛子 阿久津正志 明吉美智子 浅井欣哉
浅井義弘 麻田博子 浅野昇三 浅野由紀子 安食慎太郎 芦田芳生 遊馬賢一 東直樹
東弘孝 足立一夫 安達康夫 渥美静子 阿部盛有 阿部信行 阿部晴美 安部英夫
天津恵 天野吉則 新井康須雄 安藤公一 家田聖子 家田非左子 五百住乙人 猪飼淳
池田くみ子 池田清明 池田洋子 池山阿有 惠俊彦 井阪仁 井澤幸三 石井敏之
石川幸子 石川すみ 石川世始子 石川ヨシ子 石倉豊 石阪春生 石澤久夫 石田聖子
石根三千代 石野紀美子 石野容三 石橋武夫 石原章吾 石原ミチオ 泉地靖雄 泉富美
伊勢谷圭 磯部徹男 板垣千鶴子 板倉美智子 井田繁 伊丹重男 市川光雄 市古肅亮
市村一 井手典子 出村幸代 伊藤郁 伊藤岳 伊藤和義 伊藤清和 伊藤修一
伊藤順子 伊藤純子 伊藤昭蔵 伊藤隆 伊藤高義 伊藤直 伊藤秀男 伊東博子
伊藤弘之 伊藤文男 伊藤万几子 井藤雅博 伊藤康夫 稲垣龍雄 稲垣敏彦 井上圭史
井上憲一 井上慎介 井上利哉 猪口公子 井口由多可 伊庭新太郎 今永安雄 今村市久
今村昭寛 入江観 岩池和代 岩切岑泰 岩崎雄造 岩瀬郁夫 岩田視司 岩田茂
岩田哲夫 岩田知幸 岩谷康世 岩渕晃三 岩本かずえ イ・ワヤン・シーラ 上木伸之

植木美代子	上嶋スミコ	上島秀明	上尚司	植田彰子	上田彩加	上田毅八郎	上田敏和
上田春雄	上田ますみ	植月正紀	上野憲一	上野千代子	上野理男	上橋薫	鶴沢敏子
臼井恵之輔	碓井たか子	薄久保友司	宇高龍	宇田川宣人	宇田喜久子	打田幸男	宇野亜喜良
宇野孝之	宇野義行	生方純一	梅村徹	浦川彰子	栄永大治良	江上寿夫	江添栄一郎
榎本多恵子	江本繪門	江本佳寿子	遠藤晴夫	王前一馬	大石つね子	大江孝	大岡立
大柿了一	大川浩市	大口邦子	大熊峻	大澤一佐志	大島辰子	大島幸夫	大谷哲生
大津英敏	大附晋	大西生余子	大西弘之	大野孝泰	大橋光夫	大淵繁樹	大松峯雄
大森良三	大山富夫	大矢良治	岡貞徳	岡田俊一	岡田全良	岡千秋	岡宏
岡村敦子	岡本正尹	岡本尚子	小川清子	小川幸紅	小川周二	雄川ちづ子	小川博史
沖田廉平	沖中勝則	奥田喜一	奥谷博	奥村聰臣	奥山普	尾崎功	尾崎ゆき子
尾崎良二	長田昇	納健	小澤一正	尾澤達也	小澤摩純	小沢眞弓	小関通
小田島えい子		織田廣喜	織田義郎	越智節昇	越智雄二	乙丸哲延	小野仁良
小原キク	小原稔	尾松直	面矢元子	折本美祢子			

(か行)

加古千恵子	笠井誠一	梶浦寿布	梶田達二	梶原章	春日井正	糟谷清子	粕谷良雄
片山治之	片山弘明	勝呂隆光	加藤勲	加藤助八	加藤精子	加藤千太郎	加藤大博
加藤哲英	加藤トオル	加藤信子	加藤日出男	加藤正明	加藤茂外次	加藤吉春	門脇正弘
金井順子	金子貞子	壁下孝	上所幹彦	神谷正海	辛島一誓	加覧裕子	河井一郎
川井一義	河井達海	川口輝夫	川島かつ子	川島幸子	川澄正一	河西昭治	河野宗之蒸
川原比瑛子	川辺忠孝	河村伴世子	川村浩章	河村雅文	神戸文子	木浦寛治	菊池郁子
菊地洋二	喜澤のり子	岸田淳平	岸田夏子	岸野昭	北口嘉亮	木谷利江	北野隆祥
北原悌二郎	北見隆	北村尚久	北村美枝	北山茂	北山達哉	橋田政明	木寺淳二
鬼頭恭子	鬼頭輝三	城戸幸子	城戸義郎	絹谷幸二	木下實之	木下広唯	樹林雅生
木原寿夫	木原晴夫	木村信之	木村正	木村正志	木村優博	清永弥生	木脇康一
日下直樹	日下部寛	草壁隆	草野直己	楠崇子	久世瑠璃	杳間宏	久保輝秋
倉田和夫	倉田政子	蔵野美佐子	倉持正	倉本勝博	栗田政勝	栗原喜依子	栗牧慶次
栗山直子	栗山ナカノ	車戸美智子	黒川彰夫	黒木郁朝	黒木邦彦	黒木トシ子	黒木宏 黒
木雅彦	黒沢信男	黒田秀方	黒田富紀子	黒田勝	黒田保臣	黒柳弘行	桑島春彦
小池かよ	小石豊蔵	小泉喜代次	小泉正彦	小泉元生	小泉守邦	甲谷武	河野穰而
河野由起子	河本和子	郡桂子	古賀猛	小阪謙造	小阪弘子	小島武	五島まさを
小杉小二郎	小瀬垣宏郎	後藤昭夫	小浪春枝	小早川協右	小林昭子	小林千枝	小林雅英
小林八重子	小林義司	小柳吉次	小柳幸代	小山成	近藤昭彦	近藤幸	

(さ行)

斎藤吾朗	斎藤孝弘	斎藤千川予	斎藤秀夫	斎藤光子	斎藤由比	佐伯浩	酒井英利
坂口寛夫	坂口文夫	坂谷和夫	坂中功一郎	坂本直	坂本よしこ	佐久間捷人	佐久間努
桜井陽彦	桜川洋子	佐光亜紀子	佐々木馨	佐崎紘一	佐々木貞夫	佐々木澄江	佐々木友幸
佐々謙二	佐竹稔	佐藤一成	佐藤勝信	佐藤カツヤ	佐藤潤	佐藤忠彦	佐藤富美子
佐藤義光	佐野千津子	佐野比呂志	佐野稔	佐伯喜三郎	猿渡士郎	澤辺茂男	塩川佑子
志賀源吾	四方道夫	鹿野富子	七里和子	篠崎和子	芝田キク	柴田賢治郎	芝田耕
柴田美智子	柴田祐司	柴山静穂	芝芳雄	嶋谷卓之	嶋谷美鈴	志摩じゅん	島田鮎子
島田加寿子	島田安雄	嶋津俊則	嶋貫佑一	島橋宗文	清水亟悞	清水鉄彌	清水佳子
下川とよ子	下園由莉	下田悌三郎	城康夫	白井史朗	白川順子	白坂介明	白崎明
白鳥三郎	白山扶士子	新宅光男	水藤澄子	菅沼正則	菅谷光洋	杉浦温子	杉浦鐸夫
杉浦晴美	杉浦ふみ	杉浦充	杉田明維子	杉村美文	杉本澄男	杉山重雄	杉山英子
鈴江章郎	鈴木貞子	鈴木隆俊	鈴木田俊二	鈴木奈緒	鈴木延雄	鈴木福男	鈴木政輝

鈴木益躬	鈴木睦美	鷺見康夫	角谷清和	瀬尾一嘉	関綾子	関口貴美	関口静子
関戸伸	銭谷誠	世利徹郎	添田定夫	園山幹生	祖父江弘幸		

(た行)

太佐寿一郎	大門正忠	高木政彦	高沢正利	高田洋右	高梨潔	高橋一正	高橋一善
高羽清司	高松政子	高森明	多賀谷無人	高山晃	田川知子	滝沢直次	滝滋
瀧田依子	宅田忠正	田口貴久	田口正子	竹内重行	竹内靖夫	竹内雍子	竹生節男
竹下功	竹中稔量	竹原邦樹	竹村和夫	竹村忠一郎	田坂ゆたか	田澤茂	多田すみえ
多田晴義	たちようこ	辰将成	館内美智子	楯岡和子	田所満雄	田所義信	田中眞固
田中敏夫	田中ひとえ	田中仁士	田中宗雄	田中良	田辺新吾	谷川泰宏	谷口和正
谷田穎郎	谷本暁雄	谷本ためひろ		田伏勉	玉有万範	玉井久美子	
タマカワ千恵		玉木英治	玉谷明美	玉谷優	田村正幸	田屋幸男	知念正文
千原稔	通天	櫻井洋美	塚田清	塚原ヨリ子	塚本英一	塚本吉廣	津川純子
月館れい	辻親造	辻司	津田勝利	都築顕	堤慶	壺井進二	津留崎晴男
鶴房健蔵	鶴見雅夫	鶴山好一	出口修	寺井徹	寺沢清司	寺沢順子	寺西進三郎
土井邦晃	東方達志	遠山源吾	戸狩公久	外川攻	徳永考衝	戸高明義	外処旭
土味川楡奈	富澤尚美	富田利雄	友成晴雄				

(な行)

長井功	中井一誠	中井史郎	永井忠雄	永井ひろし	長井宏之	中桐康夫	長澤すみ江
長澤卓重	中島勇 (故人)		中嶋国博	中島大三	中島千恵	中島裕司	中嶋美瑛子
永澄幸子	中谷健三	長富博子	中西文彦	中西良招	中野治朗	長濱伶子	永見明良
中村郁夫	中村英	中村一雄	中村一人	中村啓子	中村晃子	中村輝行	中村光幸
中村百合	仲安銀蔵	中山三郎	中山忠彦	那須野栄	那須日都夫	名取二郎	七原正勝
生井京子	榑崎重視	成瀬光男	難波忍	西井義晃	西嶋俊親	西田藤三郎	西塚芳子
西埜幸治郎	西部弘子	西村壽郎	西山徹	新田由紀子	抜井亀良	塗師祥一郎	沼尾雅代
根萩斎門	野久保由美子		野田富三郎	野辺田紀子	野間傳治	野村亜紀子	野村京子
乃村豊和	野村正美						

(は行)

萩原和子	萩原栄文	橋本忠夫	長谷岩友	長谷川和子	長谷川正義	長谷川仵	長谷川正子
長谷謙三	浜口大蔵	浜口美和	濱田進	濱田弘康	濱哲郎	濱本恵一	早川義孝
早川勝	林孝三	林茂樹	林正己	原省象	原田たかし	原田幸夫	原田嘉徳
半澤満	日賀野兼一	樋口貞男	兵藤寛司	平井誠一	平井智子	平岩郁郎	平尾倫子
平川富貴子	平沢文一	平野昭子	平野哲夫	平野洋吉	廣岡清武	広瀬範	広田和典
廣津龍伍	深川和久	深津静男	福岡幸子	福岡通男	福田兼松	福田陽子	福永紀子
福原満江	福満よさ美	福本まさ子	藤井和亮	藤井多鶴子	藤井勉	藤崎恒頼	藤浪成喜
藤村サツ子	藤本正男	藤森悠二	藤原慶子	船本清司	ブライアン・ウィリアムズ		
古川恂	古野紀征	別府忠雄	帆足ゆり	星功	細川進	細谷久美子	堀江史郎
堀江優	堀尾一郎	堀太郎	本多しづ子				

(ま行)

前川雅幸	前島隆宇	楨利光	牧野美代子	卷山昌宏	正木茂	柁木高	真砂貞二
マサルW	松井茂樹	松井敏郎	松井三希央	松浦正博	松浦安弘	松尾隆司	松樹路人
松澤茂雄	松田貴美子	松田澄夫	松谷慶子	松永諄子	松永知久	松原政祐	松原美代子
松村和紀	松村光秀	松室重親	松本遥江	マツモトヨーコ		間中敏子	真野岩夫
馬淵鈴美	間宮末子	丸畑豊	丸山勝三	三浦勝治	三浦敏和	三浦勉	三木義尚
三雲希志子	三塩清巳	水野伊津子	水野照子	水野尚	水野一	溝渕泰史	三谷祐幸
南幸男	源尊磨	三柘明子	宮木薫	三宅四郎	宮崎進	宮崎浩行	宮下直子

宮下実	宮下由夫	宮田翁輔	宮平勉	宮本裕之	宮山博司	三好準治	三輪吉三郎
向井梅逸	村井成好	村井洋子	村岡顕美	村上秀樹	村田伊佐夫	村山孝夫	村山容子
村山陽	元永定正	百瀬貞子	森勇	森一郎	森康次	森茂子	森下ヒロ子
森真吾	森田眞	森田幸宏	森長武雄	森文男	森本計一	森本有一	

(や行)

八木時子	八島正明	安井啓二	安井正子	安居素子	保田治	安富信也	安福葉子
弥富節子	柳瀬俊泰	矢野喜久男	矢萩武三志	八尋隆徳	藪野健	矢部聡	山尾才
山形佳代子	山岸用之介	山口剛生	山口幸平	山口静治	山口精之助	山口隆夫	山口美佐子
山崎昭男	山崎清子	山下恒子	山下毅	山下弘喜	山下幸夫	山田嘉一郎	山田正二
山田精一	山田典男	山田嘉彦	山寺重子	山根須磨子	山之内弘	山本亞稀	
やまもと悦子		山本悦子	山本虎雄	横井三郎	横山申生	横山了平	吉井爽子
吉岡耕二	吉岡一	吉川サキ子	吉城弘	吉田清光	吉田淳一	吉田敏男	吉田緑
吉野清	吉松八重樹	吉村美令由	吉村安子	吉本満雄	米倉正弘	米満大九郎	李景朝
了正聖宝							

(わ行)

若尾真一郎	若杉不死身	脇幹夫	わたせせいぞう		渡辺明	渡辺一夫	渡辺卓美
渡辺とめ	渡辺豊重	渡邊弘	渡辺正夫	渡邊妙法	渡辺幸男	渡辺良雄	渡辺良一
和田行雄	渡紀美子						

【工芸】

(あ行)

相羽鴻一郎	青木九仁博	青木挙	粟生屋東洸	青山鉄郎	青山禮三	赤沢露石	赤毛敏男
秋野宏和	秋山一夫	浅蔵五十吉	浅野勝	浅原千代治	東正之	東好昭	与勇輝
安達章	安達雅一	新歓嗣	天野達夫	雨宮彌太郎	荒川達	荒木広	嵐一夫
有田俊明	有松進	安藤和久	安藤光一	安藤敏彦	安藤則義	安藤日出武	安藤博允
安藤百利行	井尾建二	猪飼祐一	池上栄一	池島玲子	池田珪子	石井視子	石川満
石崎光四郎	石田武至	石野泰造	石橋裕史	石山静男	伊豆蔵幸治	井関和代	伊勢崎淳
伊勢崎創	伊勢崎満	磯谷晴弘	磯部晃	市川想人	市川博一	市野悦夫	市野元祥
市野元和	市野茂良	市野信水	市野哲次	市野年成	市野英一	市野弘之	市野雅彦
市野正大	市野勝	一瓢斎	糸井康博	伊藤彰	伊藤敦子	伊藤憲一	伊藤公洋
伊藤美月	伊藤優	伊東祐一	伊藤良典	伊藤渡	井戸川豊	稲垣天津男	稲垣幹夫
稲嶺盛吉	稲荷作	井上浩一	井上萬二	井上康德	井上楊彩	今井清秀	
今泉今右衛門		今井紀昭	今井博子	今井政之	今西方哉	今村博	伊村彰介
伊村徳子	井村まゆみ	岩井香楠子	岩瀬健一	岩田健	岩本孝志	岩本哲也	上田直方
上田菊明	上田寿方	上田哲也	浮田武司	後田和孝	宇田川溪山	宇田川玄翁 (故人)	
内堀敏房	内村幹雄	内村由紀	内山政義	浦上光弘	浦林章雄	漆畑登	永楽善五郎
江口勝美	江口康成	大泉讚	大上巧	大河内泰弘	大川正洋	大国丈夫	大久保友博
大倉貞義	大倉真汝	大塩玉泉 (故人)		大塩昭山	大塩正義	大嶋久興	大須賀選
太田和明	太田公典	大谷昌拡	太田貢	大槻昌子	大根草路	大野晃幹	大野耕太郎
大野昭和斎	大野誠二	大橋聡子	大橋裕	大場匠	大樋勘兵衛	大樋朔芳	
大樋長左衛門		大樋年雄	大平和正	大平孝昭	大村禎一	岡澤伸之	岡田崇人
岡田謙三	緒方修一	岡田親彦	岡田裕	岡田龍吉	岡本篤	岡本作礼	岡本信也
岡本白水	岡本碧山 (故人)		岡安宮山人	小川健次郎	小川興	小川武雄	小川長楽
小川二楽	小川文齋	荻内善晴	荻原守彦	奥田浩堂	奥村公規	奥村繁豊	奥山峰石
小倉健	小椋範彦	桶谷洋	尾西楽斎	小野次雄	小野寺玄	小畑裕司	

(か行)

加賀瑞山	角谷英明	各見政峯	各見飛出記	隠崎隆一	加古勝己	鹿兒島成恵	梶原茂正
片岡宏幹	片山晴比古	片山雅博	勝尾青龍洞	勝尾龍彦	勝田友康	勝田文博	勝田保子
桂寛	桂盛仁	加藤永司	加藤錦雄	加藤清之	加藤錦三	加藤溪山	加藤敬也
加藤孝造	加藤幸兵衛	加藤晃楽	加藤作助	加藤惇	加藤春鼎	加藤宣	加藤隆彦
加藤嵩	加藤尊也	加藤忠雄	加藤天平	加藤唐三郎	加藤土史路	加藤土代久	加藤仁香
加藤博一	加藤允	加藤正也	加藤美土里	加藤康景	加藤陽児	加藤嘉明	加藤令吉
加藤廉平	金森伸郎	可児一広	金子信彦	金子認	金重晃介	金重利右衛門	
兼田昌尚	加納義光	樺澤健治	可部美智子	鎌田幸二	神谷英介	亀井幸一	亀井勝加
守田太郎	栢野紀文	川井明子	川井明美	河井喜代子	河合誓徳	河合竹彦	河井透河
井敏孝	川合正樹	河上恭一郎	川上清美	川上力三	川北浩彦	川北良造	河口純一
川口保規	川崎鳳嶽	川崎靖英	川尻浩史	川尻一寛 (故人)		河内國平	川手敏雄
河野榮一	川野恭和	河端一海	川端近左	川端文男	川淵直樹	神崎継春	神崎正英
神戸保明	神戸義憲	菊池昭	菊池挙子	菊地弘	岸園山	岸本久泉	北大路泰嗣
北岡秀雄	北口夢石	北出不二雄	北野勝彦	北村堅治	北村英昭	吉向孝造 (九世松月)	
吉向孫斎 (八世松月)		吉向蕃斎 (七世松月)		衣川俊仁	金憲鎬	木村芳之助	木村玉舟
木村宏造	木村素静	木村展之	木村宜正	木村雅子	木村充良	木村盛和	木村盛伸
木村盛康	木村好博	喜代志松治	清水六兵衛	吉良博	草場勇次	工藤茂道	久野勝生
久保修	熊谷保興	栗林一夫	黒井慶雲	黒井千左	黒岩卓實	黒木国昭	黒田正玄
黒田暢	黒田儀男	黒野丈治	桑原みさ雄	桑山圭洋	ゲルト・クナッパ		鯉江廣
小出甚吉	幸崎達彦	厚東建信	厚東孝明	河野玄容	神山清子	神山直彦	神山易久
國領東斎	小嶋克山	小島憲二	小嶋太郎	小島弘	小谷多美子	小峠葛芳	小西陶蔵
小西朋子	小西博雄	小橋川清次	小林一雄	小林一富美	小林潤呼	小林東洋	小林浩
小林弘幸	小林文一	小林貢	小林理恵	小松克丸	小松幸代	小南吉彦	小室幸雄
小谷内和央	小柳種園	小山喜平	小山貴由	近藤しゅうじ		近藤精宏	近藤知子
近藤潤	今野春雄						

(さ行)

斎木勲	齋藤明	齋藤修	齋藤鷹郎	斉藤則行	斉藤裕子	西念秋夫	坂井修
酒井甲夫	阪井舜	酒井田柿右衛門		坂井貂聖	坂井教人	酒井博司	酒井芳樹
榊原啓司	榊原勇一	坂田甚内	坂本俊人	笹岡基三	佐々木厚	佐々木省庵	佐々木二郎
佐々木強	佐々木雅浩	佐々木悠紀子		笹山芳人	佐藤和彦	佐藤恵吉	佐藤走波
佐藤苔助	佐藤喬	佐藤巧	佐藤二三子	佐藤泰子	佐藤亮	佐土浩一	佐野寛寒
川栖豊	鮫島豊	皿谷緋佐子	皿谷実	澤清嗣	沢田嘉子子	沢田重雄	沢田豊山
篠田義一	篠田武雄	柴岡紘一	柴岡信義	柴垣六蔵	柴田厚志	柴田育彦	柴田好明
芝山吉邦	島岡桂	島田敏男	島田緋陶志	島田文雄	島本悠次	清水潮	清水潤
清水醉月	清水千代市	清水俊彦	志村ふくみ	庄村健	白幡明	城間栄順	新庄貞嗣
神農巖	末次観節	杉浦文泰	杉江明美	杉江善次	杉本貞光	鈴木藏	鈴木環 鈴
木健司	鈴木五郎	鈴木三成	鈴木茂至	鈴木爽司	鈴木貴詞	薄田浩司	鈴木量
鈴木富雄	鈴木直喜	鈴木美貴子	砂田正博	角田新蔵	諏訪蘇山	瀬津義雄	曾我阿嬭子
十河慶子	曾根芳之						

(た行)

平良敏子	高明	高岡久美子	高権成	高取忍	高取八仙	高橋彰	高橋佐門
高橋春斎	高橋新六	高橋政男	高橋光三	高橋楽斎	高橋和三郎	高原邦彦	高原卓史
高見勝代	滝川幸志	滝口和男	瀧口喜兵衛	瀧下幸悦	瀧田項一	武石和春	竹内眞三郎
武腰潤	竹田忠生	武田敏男	竹中敏恵	竹之内彬裕	炬口佳枝	武村豊徳	竹村繁男

田島明	多田光宏	伊達陽一	田中員之	田中忍	田中美奈子	田中悠子	田中良昭
田中源彦	田邊小竹	田邊竹雲齋	谷川省三	谷川菁山	谷川峰雄	谷口玄	谷口祥八
谷口正典	谷清右エ門	谷野明夫	谷本あけみ	谷本洋	田沼春二	田畑陽右	田畑博民
田原陶兵衛	玉置保夫	玉村松月	玉村登陽	田村幸夫	田山精一	力石俊二	中条照子
沈壽官	塚原三千勝	塚村剛	塚本司郎	塚本治彦	塚本満	辻勘之	辻常陸
土田育弘	土谷道仙	土田友湖	土屋典康	筒井修	筒井辰也	都築青峰	堤圭一
恒岡光興	壺井義統	坪島土平	出口清廣	出口直美	手塚隆	手塚央	寺井恭
寺池静人	寺田みのる	寺本守	照井一玄	天坊昌彦	土居恭司	十多茶留侯	徳澤守俊
徳田明美	徳田八十吉	戸田守宣	戸津圭之介	豊住和廣	豊場惺也	豊本善隆	
(な行)							
永井恒夫	長江哲男	中尾彰秀	中尾英純	中尾恭純	中川進	中里太郎右衛門	
中里壽	中沢洋子	中島翁助	中嶋喬	中島卓	中嶋虎男	中島保美	中島悠紀夫
中田一於	中田呂尚	中塚佐一	中根秀介	中野一政	長野恵之輔	中野亘	中村眞一
中村信喬	中村清六	中村文夫	中村雅明	中村實	中村豊	中本輝朋	中山亮
成良仁	名和章	難波好陽	難波誠治	新野素子	新美吉昭	二貝清一	西浦武
西悦子	西岡良弘	西尾茂	西尾瑞舟	西川勝	西川實	西田真也	西村源治
西村松逸 (優)		四代西村徳泉		西村直城	西山宗元	二十歩文雄	根崎隆博
納富晋	野口籃鳳齋	野坂和左	野坂康起	野崎恒伸	野嶋峰男	野田東山	延原勝志
(は行)							
萩井一丘	萩井一司	迫二郎	橋爪靖雄	羽柴良一	橋本昇三	蓮田修吾郎	蓮善隆
長谷川勇	長谷川文陽	長谷川豊	秦蔵六	波多野善蔵	波多野英生	羽田登	波多野正典
服部峻昇	花田和彦	花輪滋實	羽石修二	馬場弘吉	馬場九洲夫	羽原一陽	浜田英峰
濱中月村	早川収	林恭助	林慶六	林寧彦	林亮次	速水史朗	原清
原田一步	原田拾六	原田隆峰	ピーター・ハーモン		稗田寿炎	東田茂正	東直人
樋口雅之	久田邦男	日野田崇	日比野正明	平沢登	平野豊成	平野祐一	廣澤益次郎
広沢葉子	広瀬さちよ	広田優美子	深石美穂	深川巖	福井由美	福岡琢也	福郷徹
福島寛子	福田喜重	福田参平	藤井敬之	藤田潤	藤塚松星	藤村州二	藤原和
藤原敬介	藤原均	藤原史暁	藤原楽山	船生宗暘	冬柴文廣	古居美智子	古瀬堯三
古谷徹	紅里桃江	帆足まおり	細見華岳	堀俊郎	堀野証嗣	堀菱子	本郷大田子
本江敏彦							
(ま行)							
前田篤志	前田泰昭	前端雅峯	前端春斉	前史雄	正宗千春	味舌隆司	眞清水蔵六
増田昌弘	松井康陽	松尾潤	松崎健	松嶋弘	松平順彦	松野汀留子	松林正人
松村徳四郎	松本為佐視	松本勝哉	松本幹治郎	松本佐一	マツモトタカシ		松本達弥
松本政昭	松本正雄	松本良夫	丸田延親	丸田宣政	三浦硯鈴	三木表悦	水上隆志
水野敬子	水野古麦	水野静仙	水野鉦一	水野澤三	水野教雄	水野真澄	溝上藻風
三田村有純	美藤康夫	宮川香雲	宮川香齋	宮川弘尚	宮木敬子	宮沢章	宮澤正弘
宮田亮平	宮地生成	宮地陶博	宮部友宏	宮本直樹	三輪雅章	美和隆治	椋原佳俊
向山文也	武藤信吾	夢童由里子	村井一郎	村上東市	村瀬寛	村田肇一	村山明
室瀬和美	室町勝廣	室山治郎	モーガン・ルイス		百田暁生	森一蔵	森陶岳
森一洋	森勝資	森克徳	森川賢道	森里秀夫	守繁徹	森下育郎	森準一
森大雅	森田芳伯	森陶山	森本英助	森泰司	森脇文直		
(や行)							
屋我平尋	安田佳代	安田龍彦	安田如雲	安田全宏	安田道雄	矢内齊	柳澤保範
柳橋修二	矢部篤郎	山内厚可	山内一生	山口堅造	山口重信	山口宏夢	山崎昭

山崎豊	山路和夫	山城建司	山田和	山田和俊	山田耕作	山田孝藏	山田進二
山田勢児	山田正博	山田みどり	山田義明	山近剛	山出勝治	山出守二	大和努
大和保男	大和祐二	大和吉孝	大和義昌	山中辰次	山本出	山本修	山本象成
山本雄一	山本義博	山本竜一	弓戸好孝	湯村京子	横石臥牛	横山直樹	横山尚人
吉賀将夫	吉川修身	吉川千香子	吉川博治	吉川正道	吉川水城	吉川幸寿	吉末都子
吉田きみ子	吉竹広子	吉田純子	吉田隆	吉田美統	吉田幸央	吉田喜彦	吉富文代
吉本正	米沢久	米田万太郎					

(わ行)

若尾経	若尾利貞	若尾誠	脇田宗孝	脇本定三	和田桐山	渡辺朝子	渡辺勝竹斎
渡辺聡	渡辺琢哉	渡辺溥子	渡辺松華	和田一人			

【版画】

(あ行)

鬚嘔	相田一夫	秋元幸茂	天野和夫	あまのしげ	有田暁子	安東菜々	井川鉞之介
池上壮豊	池間英治	井堂雅夫	井上勝江	梅木英治	浦田周社	えもときよひこ	
尾崎淳子	尾崎斎晃	尾山章	園城寺建治				

(か行)

河内成幸	川西祐三郎	木嶋ちさ加	木田安彦	木村茂	木村秀樹	清田雄司	日下賢二
日下里美	國安珣子	熊谷吾良	黒木良典	黒崎彰	古賀章	小崎侃	

(さ行)

サイトウ良	佐久間嘉明	桜井貞夫	佐々木多美枝		塩田みはる	史煌	志野和男
白木俊之	杉山元次	鈴木廣	須田敏夫	関野洋作	世古剛		

(た行)

高部多恵子	高柳裕	瀧秀水	田口雅巳	竹山敏子	田中令子	田中喜一	田中良平
丹阿弥丹波子		地井紅雲	茶畑和也	辻憲	角田元美	坪井孟幸	鶴岡さゆり
寺司勝次郎	富田文雄	富張広司					

(な行)

なかのよういち		中山正	西貝和子	二村裕子	野田哲也	乗兼広人	
---------	--	-----	------	------	------	------	--

(は行)

長谷川安信	馬場重臣	浜田浄	浜本幸男	林保次郎	原三佳恵	平井弘之	広田雅久
福田繁雄 (故人)		藤田慶次	二見彰一	船坂芳助	堀内幸豊	堀江良一	

(ま行)

増田陽一	松田昭八	松本旻	宮田三郎	宮田昌則	本橋雅美	森岡完介	森島勇
------	------	-----	------	------	------	------	-----

(や行)

山本桂右	山本光生	矢柳剛	行元昭子	横山皓一	吉池弘安	吉田正樹	吉原美枝子
代情房子	米倉泰民						

(わ行)

渡会純价

【書】

(あ行)

秋田素鳳	浅井機山	綾村捷子	新井光風	新屋敷春雷	飯高和子	飯沼天光	池田桂鳳
石飛博光	石本法子	泉雪華	稲垣崧圃	内山玉延	梅原清山	江口大象	榎倉香邨
大石三世子	大河内暁水	大河内仙嶽	太田義久	岡美知子	小川東洲	尾崎邑鵬	恩地春洋

(か行)

榎本桑牛 加藤泰子 加藤裕 北大象 (故人) 北村秋香 杭迫柏樹 栗原蘆水
 黒田賢一 黒野清宇 小島寿 小島碧雲 後藤秀園 後藤汀鶯 小伏竹村 小山素洞

(さ行)

坂本柳波 佐々木可翠 座馬井邨 師村妙石 杉岡華邨 鈴木春朝 須藤松閑

(た行)

高木聖鶴 高木大宇 田口尹基子 竹中青琥 田中光穂 田中蘆雪 種村山童 樽本樹邨
 土屋陽山 鼓芳石

(な行)

中川裕皓 中島宗皓 中野南風 中林露風 中村秀峰 西迫翠峰

(は行)

半田一真 東山一郎 秀島踏波 福田芳園 福羽節子 藤岡都逕 藤野北辰 星弘道
 甫田鴉川 堀場凶南 本間正雲

(ま行)

牧野鳳仙 増永広春 水嶋山耀 宮崎葵光

(や行)

山中秋邦 横山登士子

(わ行)

渡邊笙鶴

【著名人】

(あ行)

藍弥生 赤江瀑 赤川次郎 網代智等 足立大進 有馬頼底 石田隆 市田ひろみ
 稲畑廣太郎 稲畑汀子 植田豊一 上野道善 上村貞郎 江上泰山 榎木孝明 遠藤実
 大野玄妙 奥田みえこ 小澤一雄 小沢昭一

(か行)

片岡省念 加藤一二三 金子兜太 川津祐介 河村立司 岸徹心 喜田川昌之 黒柳徹子
 児玉清 小林太玄 小堀光詮 小堀卓巖 小山幸容

(さ行)

さいとう・たかを 酒井雄哉 坂田藤十郎 狭川宗玄 三遊亭圓歌 三遊亭金馬
 ジェームス三木 塩川正十郎 下村瑞晃 笑福亭仁鶴 新川和江 千玄室 千宗左
 千宗室 千宗守

(た行)

高田明浦 高田良信 多川俊映 田中恭一 谷川浩司 ちばてつや 趙治勲 辻和雲
 寺沢拓也 東條仁哲 常盤勝範 戸部けいこ

(な行)

中村梅之助 野々村玄龍

(は行)

萩尾望都 長谷川大眞 蜂谷宗玄 羽生善治 ヒサクニヒコ 久田宗也 日野西光尊
 藤子不二雄[Ⓐ] 伏見誓寛 藤本義一 古川薫 堀内宗心

(ま行)

前田昌道 松岡悠風 松久保秀胤 松長剛山 松本壽郎 水谷八重子 光本幸子 嶺興嶽
 宮城泰年 森清範 森光子 守屋弘斎

(や行)

八代亜紀 やなせたかし 山藤章二 やよいとしん 米長邦雄

(わ行)

渡邊恵進

【著名スポーツ人】

(あ行)

朝原宣治 東関親方 (元高見山) 猪谷千春 伊調千春 伊調馨 井上康生 上田桃子
上野由岐子 上村愛子 内村航平 遠藤保仁 王貞治 太田雄貴 荻原次晴 小椋久美子

(か行)

川相昌弘 北島康介 衣笠祥雄 国枝慎吾 小谷実可子

(さ行)

潮田玲子 鋳山親方 (元寺尾) 末続慎吾 杉山愛

(た行)

高橋尚子 谷川真理 田臥勇太 塚田真希 土田和歌子 勅使川原郁恵
ドアラ・マスコット

(な行)

中島裕之 中村礼子 成田真由美 野口みずき 野口健

(は行)

橋本英郎 原辰徳 福原愛

(ま行)

増田明美 松井秀喜 真弓明信 三浦皇成 三浦雄一郎 ミルコ・デムーロ 森島寛晃

(や行)

八木沼純子 山口智 山下泰裕 吉田沙保里 吉田秀彦

(わ行)

和田毅

ご寄付をいただいた皆様

寄せられた08年度の寄付は、総額346,193,715円にのびりました。寄付金は、朝日新聞の読者をはじめ、学校、企業、医療機関、各種団体、グループなどからお届けいただいたほか、作家で元女優の高森和子さんから2億円のご寄付など個人からも多額のご寄付をお寄せいただきました。また、複数回寄付いただいた個人、企業もあります。

現在、寄金には、時期に関係なく、ご支援いただける通常の寄付のほか、年末にダイレクトメールを通じてお願いしている「ふれあい募金（一般の方が対象）」「朝日福祉募金（朝日新聞社員OB・OG対象）」などがあります。

寄付金は本書でご報告させていただきましたように、幅広い福祉事業に役立たせていただいております。

皆様の温かい志に深く感謝を申し上げます。

なお、ご寄付をいただいた皆様は次のとおりです。（順不同、敬称は省略させていただきました）

【一般寄付】

- ▼北海道：宇山智美，寺田恭一，細川忍，匿名2件
- ▼青森県：田中誠治
- ▼宮城県：清水正生，仙台医療福祉専門学校，日野洋子，匿名
- ▼秋田県：斉藤信幸
- ▼山形県：(有)朝日新聞新庄販売朝日ふれんど会，斉藤万一郎
- ▼福島県：阿部勇，星熊雄，矢口洋子
- ▼茨城県：辻葉子，寺田達
- ▼栃木県：石川輝雄税理士事務所，中村武弘，(有)野田新聞店
- ▼群馬県：(株)関東朝日広告社群馬支店，静雅彦，鈴木憲一，田中嘉親，(有)矢作新聞舗
- ▼埼玉県：石川全代，遠藤靖夫，蚊の涙二世志願者，河内利雄，川口マンドリンアンサンブル，鯨井誠，久保田徳子，小室保尚，NPO埼玉県ウオーキング協会，埼玉立草加西高校生徒会，坂本金市，東海林英二，西武台高校保護者会・後援会，堂下亨，第31回日本スリーデーマーチ会場募金，日本生命労働組合川越支部，(株)東リース，本庄東高校生徒会，緑川豪男，宮地健次郎，宮本正，村岡美佐男，山田渚，山根克己，吉川和楽路会，渡瀬英夫，渡辺茂樹，匿名8件
- ▼千葉県：(株)朝日カルチャーセンター千葉，ASA八千代村上，天野高男，天野昌紀，五十嵐謙一，石地辰興，石原正太郎，植草光春，小川みつ，梶原敬，喜多義雄，久保進，今裕之・久子，佐々木裕，佐藤道雄，柴田眞樹，白濱雄三，千野輝雄，千葉銀行「小さな親切」運動ちばぎん支部，津田四郎，羽染忠良，林常蔵，坂東愛彦，藤木武夫，森下昇，楽天地天然温泉法典

の湯, 匿名13件

- ▼東京都：青木ユキミ, 朝日新聞恋ヶ窪, 朝日新聞新館9階自販機募金, 朝日新聞東京本社販売局, 朝日新聞販売サービス販売もしもしセンター, 朝日新聞夕刊be編集部, 朝日新聞東京本社もちつき大会会場募金, 朝日トップス(株)社員会, 浅見薫子, 天野徹, 安室礼三, アラスカ朝日新聞社新館ラウンジ, 有田尚樹, 飯田正衛, 石川医院, 石橋英太郎, 石村孝子・希與子, 宇井あきら, (学)上野学園, 内山鶴雄, 宇野勝己, 江川礼子, 大内尉義, 大多和彦一, 大塚修, 大洞正一, 岡澤礼子, 故・小形登喜子, 押田佐知子, 小野恵夫, 小野いずみ・めぐみ, 香川杏二, 勝田明子, 加藤幸雄, 角田邦明, 鎌田直子, 菅野憲治, 吉祥女子中学・高校淑美会, 菊地貞三, (財)杵勝会, 木野村幸彦, クォーターズ・クラブ, 栗原娑哉, クロネコファミリーコンサート事務局, 国府田七郎, 江東観光(株), 小島正治, 小島靖, 小林康夫, 駒澤大学山口ゼミ, 彩季会, 酒井寛, 酒枝康郎, 佐々木胤郎, 佐藤静夫, サン・マルコ, 質屋21協同組合, 実践桜会家政科会福祉部, 清水太一, 白井貞子, 新日本石油労働組合東京支部, 新日本石油労働組合本社支部, 新日本石油労働組合本部, 杉山正男, 鈴木幸子, 鈴木弘, 鈴木靖明, 関戸雅之, 専修大学附属高校ゴルフ部, 高尾知道, 高橋由紀, 高橋勤, 武井桂子, 橘ダンススクール, 田中喜久子, 棚橋美喜子, 田辺歌子, 谷本英次, 種山恵也, 田村清明, 反保康子, 小さなかけ橋合唱団, 筒井清, 椿弥一, T・T, 寺田眞文, 第13回東京国際スリーデーマーチ会場募金, 徳安良治, (株)内藤一水社, 中村斐子, 中村義則, 西松建設(株)本社施工本部, 日本楽器フェア協会, (社)日本コントラクトブリッジ連盟, 日本手芸作家クラブ, 伴亘, 日上操, 疋田妙子, 平出真一, 福井一彦, 星野富榮, 本浄寺, 本多武, 町田寛子, (株)まるやま, 三浦昭彦, 水上篤, 水野園, 三角偉友, 光藤政雄, 南栄之助, 三輪登士夫, 村上吉男, 毛利康夫, 望月紘一, MOMO東京パイロットクラブ, 山住美津子, ヤマトホールディングス(株), 山脇学園, 湯島針灸院, 横山憲子, 吉橋市太郎, わせがく高校東京キャンパス, 渡辺伎美, 渡部利雄, 渡部通英, 匿名62件
- ▼神奈川県：ASA上大岡社員一同, 新井敏文, 家本誠一, 磯山浩, 井上周一, 今津弘, (株)エイワ, m・m, 大場義雄, 奥村莊哉, 桶本正夫, 小澤太郎, 小沢直幸, 小沢初江, 笠本洋一, 片野實, 神奈川県少林寺武道競技連盟, 川辺和夫, 瓦田信彦, 木村成一, 桑原季六, K・S, 高口湧太郎・颯太郎, 光明幼稚園PTA, 小宮末雄, 近藤玲司, 桜井祐二, 佐藤光秀, (有)三和看護婦家政婦紹介所, S i n - H a i さぼーと倶楽部(株)エコプラネット, 相州海老名東柏太鼓, 竹腰みどり, たまなわ新聞・ミニたま新聞, 戸田繁雄, 長島チャリティ会, 西野幸英, (株)日産テクノ, 野村英明, (有)パナケーア刃持正子, 早川薫, 細谷正二・洋子, 松本好生, ミキプルーン刃持グループ有志一同, 三島牧夫, 光峰陶遊会, 山田昌生, 横浜混声合声団, 吉岡祥二, 米川武夫, 渡辺克己, 渡部みゆき・渡部あゆみ, 匿名32件
- ▼新潟県：(株)関東朝日広告社新潟支店
- ▼富山県：匿名
- ▼石川県：匿名2件
- ▼山梨県：嶋崎紀代子, 横沢重雄
- ▼長野県：金井勝代, 斎藤幸洋

- ▼岐阜県：寺崎啓一，蜂須賀喜多男，美術の森偕拓堂ギャラリー
- ▼静岡県：岩本和雄，片山偉三男，(財)静岡県高等学校野球連盟，船越澄枝，渡辺幸一郎，匿名11件
- ▼愛知県：青島鍵一，伊藤健，伊藤隆之，稲垣脩世，内海紀章，H・C，大園徹，奥田邦子，春日井正，加藤肇，兼松榮子，神谷一嘉，河合甲子，小坂郁子，小林昌雄，齋木清治，在日米国商工会議所，杉本宗孝，高橋昭彦，高柳泰世，竹中辰夫，橘捨治，田村潔，中山チヨ子，名古屋ABCダンスの会，名古屋美術倶楽部青年会，名古屋文理大学短期大学部ボランティアサークル，名古屋文理大学短期大学部名栄祭実行委員会バザー収益金，丹羽正子，野瀬彩稀子，野武二郎，波多野敬子，原口愛子，堀場英也，本間栄，松川静雄，松野辰弥，三浦豊，(株)メニコン，森淳二，矢吹蓉子，ローソン平針西店従業員一同，匿名27件
- ▼三重県：(株)エテック従業員一同，坂井邦子，津豊ヶ丘キリスト教会，萩原豊子，盆栽友人趣味の会，水谷鎮至
- ▼滋賀県：植村良雄，宇野紘子，清水龍雄，辻寅建設(株)，比叡山延暦寺，匿名2件
- ▼京都府：石川喜一郎，石川喜美子，内田愛子，大隈靖彦，京都百貨店協会，古玉宏，聖母学院中高等学校生徒会執行部，高山和子，日笠博之，日比野光鳳，森下ヒサ子，山田健一，匿名6件
- ▼大阪府：(有)アイデアルアート，朝日新聞大阪中央販売(株)，第35回朝日民踊大会実行委員会，朝日推薦演奏会会場募金箱，朝日ビル警備センター，アサヒタロウ，朝日新聞チャリティーコンサート実行委員会，アナスタシア・バイオリンコンサート入場者募金，尼崎久栄，網島郁子，荒川房江，石脇コミュニティクラブ，泉谷治正，井戸正夫，揖藤美津子，井上正子，岩崎テル，岩間真由美，上田孝之，梅田くにひろ，梅田幸代，江口利子，NTT西日本大阪支店，M・N，M・Y，(社)大阪スポーツマンクラブ，大川哲次，大阪市信用金庫，岡本安季人・正恵，O・Z，加龍宗智，河内啓三，河村良太郎，金洪仙，京セラコミュニケーションシステム(株)大阪事業所，吉良茂子，切通良昭，近鉄タクシー(株)，近鉄百貨店阿倍野店，近鉄百貨店，久保心子，クラウンタクシー(株)鶴見本社営業所，クラウンタクシー(株)東住吉本社営業所，グレース幼稚園，桑田明，桑田洋太郎，京阪百貨店守口店，月輪寺・榎本智照，第3回堺国際ツーデーマーチ募金，小熊坂悦子，小峰聖子，小山大亮，近藤嘉弘オールリスト入場者募金，近藤嘉宏オールベーターベン入場者募金，近藤嘉宏オールショパン入場者募金，佐々木綾子，(株)サンディ，塩井康徳，品田典二，島田照子，清水勇，下出喜久子，常翔学園高校，人生道場，新日本石油労働組合関西支部，聖愛幼稚園，星翔高校生徒会，總田賢治・純次・剛志，そごう心齋橋本店，大朝アド，大丸心齋橋店，高島屋大阪店，田口鐵男，武林明，「団塊娘の戦争記」発行祝賀会参加者一同，(医)辻外科リハビリテーション病院，辻野美治，寺岡修，土居利夫，百目鬼主計，飛塚，戸室常一，中島正幸，中尾菊子，永田美知子，懐かしの童謡・唱歌を歌いましょう・入場者募金，西村友紀子，ニシカワ朝日新聞販売・ASA岡町，日曜画家協会，(社)能楽協会大阪支部，野下之男，萩原永美子，服部八重子，浜田節子，平佐国武，福山章紀，伏谷魁，藤田一，藤本壽，細田泰嗣，堀昭一，槇尾賢一，増田武司，松原美佐男，松本忠和・高崎妙子，松井繁，三浦茂子，水谷泰子，水野診療所患者・職員一同，峰大介，大阪深雪会，民族芸能アンサンブル若駒，邑上利世，木金館木工いろは塾，八木黎子，矢田中七夕まつり実行委員会，山岡頼子，大和梱包・中山，弓

場慈子，四方朋子，Y・M，脇田武利，脇昭成・淑子，和田信矢，渡辺勝彦，渡里洋亮，W・N，匿名29件

- ▼兵庫県：青木治郎，伊藤通，稲庭達バイオリン名曲集入場者募金，岩根良三，上野弘子，大江良一，笠原千義，河鹿庵，甘露寺，日下宏昭，グループつくしんぼ，黒住聡子，黒住晶子，K・N，小西孝彦，小林亜矢乃コンサート入場者募金，小山静男，坂元紀子，佐野信三，司馬妙子，柴田寛，真生園有志一同，鈴木敏男，高路瑞穂，瀧谷泰博，田中名曲プロムナード入場者募金，田中誠一朗，出口美保チャリティーコンサート，D・Y，新妻義輔，野村真治，H・K，弘山タケ子，廣村進，廣辻逸郎，佛立寺婦人会代表・天王寺谷一子，古川清，本田路津子コンサート入場者募金，升川博司，山下元公，匿名15件
- ▼奈良県：荻田富美子，荻田好男，川畑宗一，岸田米夫，東大寺，中尾晃一，奈良文化高校，南都華香会，野村進，日根文男，八木一夫，安井良道住職と檀信徒有志，匿名7件
- ▼和歌山県：竹中信夫，光定内科待合室一同，和歌山近鉄百貨店，市立和歌山商業高校，匿名
- ▼鳥取県：川口昭二，匿名
- ▼岡山県：今村郁夫，上杉富美江，大阪市大新聞会OB，馬越悟士，匿名2件
- ▼広島県：石井美智子，柿本正廣，栗田康雄，後藤惠津子，谷口順子，坪本俊勝，中村耕也，古本和枝，三木功，村上益夫，匿名3件
- ▼山口県：上田通，岡原壽典，幸本勝子，原田巖・初称，平田金属，深本良一，福本吾一，福山道義，宮川祥一，村岡純子，森永美智子，吉広嘉市，匿名5件
- ▼香川県：S・K，匿名2件
- ▼愛媛県：合田治二，砥部焼陶芸館，真鍋新
- ▼福岡県：浅原進午，朝日広告社，朝日新聞総合住宅展示場ハウジングプラザ片江，朝日メディアテック(株)，安西アイ，石川唯史，(学)いづみ学園，井上敦子，(株)井上商会，井上継郎，梅津法，大石雅史，大西克巳，大野清，(医)沖永歯科医院，O・Z，梯保雄，栴島一郎，河村寅明，岸川祥子，喜島卓己，北福朝日会，久野達明，小住和徳，後藤忠雄先生を偲ぶコンサート実行委員会，佐伯医院，坂本嘉之，佐田正武，茶道裏千家淡交会北九州支部，澁江有恒，進貞人，未安巧児，第一警備保障・第一防災システム，高砂熱学工業九州支店，谷口幸子，田畑親，玉谷省三，玉谷誠一，(株)坪井商店，豊田幸子，中尾研輔，中村忍，波止君美，藤由会，西日本カラオケ連合，日本モーターボート選手会福岡支部，畠田一，畑邊正治，原田ヨシ子，原田素行，樋口佐和子，日高義之，日野喜美男，平野敏弘，福岡トヨペット曾根店，福嶋一雄，福田礼子，福智山登，藤巻義範，藤好三千代，(宗)法泉寺，本田俊励，松本富士夫，松本健，松本久，宮本産商(株)，山下春子，横田チヨ子，渡辺一敏，匿名14件
- ▼佐賀県：(株)佐賀朝日広告社
- ▼長崎県：匿名2件
- ▼熊本県：岡山洋二，鈴木一臣，匿名3件
- ▼大分県：朝日新聞大分販売，岩崎修二，大分こども病院，加藤典男，野上和恵，吉松忠徳，匿名2件
- ▼宮崎県：アーチ学習館
- ▼鹿児島県：田原睦郎，村中健藏，匿名

【ふれあい募金】

- ▼北海道：桜井智康，匿名
- ▼青森県：田中誠治
- ▼秋田県：ASA鷹巣・早口，斉藤信幸
- ▼山形県：斎藤万一郎
- ▼福島県：桑名医院
- ▼茨城県：ASA牛久西部専売所，ASA水戸笠原，金正出，辻葉子，中村潔，縦山診療所，渡辺和彦，匿名3件
- ▼栃木県：(有)木村新聞店，滝童内のり子，手塚正志，野田励司，福田仁
- ▼群馬県：ASA前橋西部，静雅彦，鈴木憲一，矢作正夫，匿名2件
- ▼埼玉県：猪俣俊晴，岩田豊司郎，大東外科医院，金子千侍，木下智治，坂本金市，島田クリニック，田代稔，田林晃，名越啓史，馬場道忠，古谷信雄，宮本正，山田久美子，山根克己，渡辺洋治，匿名3件
- ▼千葉県：ASA松戸八ヶ崎，石井従道，梶本伸一，川合勝義，越口栄信，三枝清純，佐藤信二，佐藤道雄，千葉北部朝日会，根本医院，野村清治，古川喜一郎，平成会，匿名2件
- ▼東京都：浅野明子，浅見薫子，有田孝久，飯田正衛，家光茂，五十嵐篤男，猪忠彦，宇野昭二，遠藤朝彦，大澤金政，大村俊雄，小川康吉，小田原耕三，金子初枝，鎌田昭次，菊田國彦，北村満子，黒須誠，小島靖，佐々英一，佐々木胤郎，佐藤重光，佐藤静夫，清水歯科医院，下山田和裕，白井貞子，瀬木邦久，仙頭邦子，曾野維喜，高橋勤，竹内一夫，谷本英次，多比良勉，田宮貞和，張明哲，筒井清，堤次雄，椿弥一，戸澤鉄男，富村憲一，中尾聡子，中村邦彦，中山良英，沼沢良樹，野口律子，羽立賢二，深田馨子，福井敬治，福澤真也，藤田千尋，牧野憲聖，宮村正廣，村井丕子，持田政彦，望月紘一，山口英男，山下秀光，山住美津子，若菜惠一，匿名11件
- ▼神奈川県：ASA上大岡社員一同，ASA瀬谷南部，ASA田園田奈社員会，ASA三ツ境南部，朝日新聞販売(有)，浅場馨，飯塚義朗，家本誠一，石井功二，磯野喜美子，岡村雅生，小沢太郎，桜井祐二，佐野豊，清水夏江，湘南鎌倉総合病院，鈴木孝行，武田淳一，田中博，手島温子，中野正則，新関寛二，(株)野村新聞店，平田キヨ，松田久美子，松本隆美，宮島真次，八十田敏男，山田昌生，吉田美枝，代田治彦，匿名
- ▼新潟県：尾崎良順，匿名2件
- ▼富山県：匿名
- ▼石川県：朝日新聞金沢販売(株)
- ▼長野県：笠原忠夫，塚田修，洞澤茂，水上淳子，匿名3件
- ▼岐阜県：岩佐清，林優，水口和子
- ▼静岡県：稀代幸雄，佐野勉，菅ヶ谷純弘，寺田鼎，富山文男，星野光正，星野茂，松下道雄，吉田三毅夫，渡辺幸一郎，匿名3件
- ▼愛知県：浅野哲治，安藤政男，小川麻子，上條俊之，熊谷明男，幸谷和典，小久保茂樹，志賀捷浩，

鈴木好彦, 田中温, 照井通夫, 早川祥子, 早川常彦, 平塚久男, 深見利子, 堀場英也, 眞野清子, 安間哲史, 安間正子, 山中寛紀, 吉野学, 匿名 3 件

▼三重県: 伊藤敬治

▼滋賀県: 朝日新聞滋賀販売(株), 植村良雄, 小西眞, 匿名

▼京都府: 浅田照夫, 足立雄一, 岡田安弘, 高橋成吉, 瀧本百合子, 土井潔, 中谷儀弘, 中村恭和, 畑一, 匿名 3 件

▼大阪府: 朝日新聞河南販売(株), 石塚達, 大里収, 岡本シモ, 亀田英明, 切通良昭, T・K, 杉田勝洋, 高橋仁子, 永井正志, 中島チエ子, 西村徹, 塙平五郎, 福田治男, 円尾クリニック, 水野滋, 南諭, 安岡邦昭, 山本哲夫, 弓場勉, 渡辺良子, 匿名 8 件

▼兵庫県: 植田和彦, 梅田和子, 数田稔, 神澤正三, 澤田和久, 福田田鶴子, 三宅潤, 宮本宜典, 和田産婦人科医院, 匿名 4 件

▼奈良県: 石崎直司, 大西利明, 宮崎新嗣

▼和歌山県: 井畑洋子, (医)青松会職員一同, 畑木完一, 森庸亮

▼岡山県: 青木和巳, 匿名

▼広島県: 朝日新聞広島西部朝日会, 河野仁士, 三坂晃次郎

▼山口県: 赤川悦夫, 秋田香栄子, 市川敢一, 伊藤光夫, 伊藤経亮, 稲川芳雄, 上田通, 牛尾博昭, 清水マリ, 大島喜代子, 岡基子, 岡原壽典, 織田哲至, 片岡逸, 門山尚貴, 兼田幸兒, 河上勲, 河上和洋, 河口俊子, 木村巖, 木村猛雄, 蔵重典明, 小泉和夫, 小泉清子, 小林優子, 佐島廣一, 上甲政枝, 白石貞子, 白水玄勇, 神徳翁甫, 末次清, 隅田茂生, 高松恵美子, 高山晋洋, 武居稔博, 竹内清海, 津次悠紀子, 徳田修, 徳山小学校ボランティア委員会, 徳山総合支援学校生徒会, 中原礼美子, 中山富蔵, 並川宏, 早田武, 原正昭, 平田鐘大, 広重清子, 藤沢ハヤ子, 藤本裙子, 日置農業高等学校生徒会, 堀田洋一郎, 松崎浩司, 光内美恵子, 宮本甫子, 浄土真宗明林寺, 山根喜美, 山根惇, 湯田自動車学校生徒職員一同, 吉広嘉市, 米田栄穂, 和田鵬亮, 渡辺満彦, 匿名 2 3 件

▼香川県: 関尚季, 藤田典生

▼福岡県: A S A 引野, A S A 南行橋店, 阿川琢磨, 秋枝蕭子, 秋吉省一郎, 浅井修平, 朝日カルチャーセンター北九州教室, 朝日新聞総合住宅展示場ハウジングプラザ片江, 朝日新聞日南販売所, 朝日メディアテック社員一同, 油絵屋大哲, 阿部志朗, 阿部英昭, 雨宮恵子, 荒木不動産, 有田雅子, 有吉通泰, 安西義孝, 安藤倫子, 飯塚聖母幼稚園, 池島信二, 池田幹久, 石田俊彦, 伊豆統一郎, 磯矢昭三・洋子, 一森軍生, 伊藤瑞子, 五貫敏枝, 稲永清泰, 井上静子, 井上敬次・てる, 井上祐毅・麻衣子・直哉, 今林昭, 今村寿和, 岩崎健治, 岩永知勝, 植田朋子, 上田シズエ, 上田英敏・キヨコ, 内田トキワ, 鶴木克己, 梅谷敬哲, 占部久, 遠藤信重・ひろみ, 大石雅史, 太田久香, 大西克己, 大西純一, 大野清, 大林るり子, 大村公人, 岡田良一, 奥永武, 小山田秀子, 香川医院, 梶務, 加治久昭, 春日雅樹, 嘉多山直人, 香月きょう子, 角野斉胤, 鴨川隆彦, 苅田ロータリークラブ一同, 川関富美子, 苅田ニコニコ会, 城戸傳, きとう胃腸科内科クリニック, 木村多美子, 木村俊夫, 九州国際テニスクラブ, 京都女子大学京築地区同窓会, 久志本日出子, 倉竹一知, 蔵永知彦, 蔵本一郎, 倉本恵

美子，黒木裕子，黒田哲玄，桑名純恵，小石純也・真理子，古賀明，国際ソロプチミスト北九州一東，國府敏男，小倉イルミネーション実行委員会，小倉北区身体障害者福祉協会，小倉教会ハッピー会，小嶋房江，小住和徳，児玉正子，小林恒喜，小林泰稔，小宮俊秀，金光教若松教会，西生寺護持会，坂井健二，佐々木愛子，佐々木清，佐田正武，里村知宣，佐野武・百合子，椎野千代子，塩塚春生，實藤正利，篠崎典子，芝尾伸子，柴田慎子，渋谷有恒，白石逸郎，真颯館高校生徒会，末吉楠雄，鈴木文郎，高木カツヨ，高嶋康年，高橋晶子，田上三雄，多川洋子，竹内俊次・逸子，竹藤寛，田代勝世，田中敬子，田中強，田中春雄・サナエ・聖久，田沼美雄，田端一敏，玉谷誠一，辻吉彦，土川勝美・格子，恒富誠・みずほ，鶴島光生，手嶋秀子，天満紀子，遠嶋洋子，常盤薬品(株)北九州支店社員一同，徳永雄一郎，富岡春子，豊田秀子，長崎，長野宏子，中牟田恭子，中村貢，中村洋子，波止君美，成重まり子，難波響子，西尾彪，西日本カラオケ連合，新田大地，長谷川恭子，波多野昌二，畑邊正治，8月を朗読とシャンソンで記憶する集い，林田乙次郎・美子，原陽一，原芳信，久恒一雄，日高孝枝，日高義之，日比生隼斗，姫路秀明，平田澄穂，平田利栄，平田淑子，平原政幸，福岡吹奏楽連盟，福嶋一雄，福田礼子，福留京子，福吉三代子・未紀子，藤島八重，藤見是，二見哲夫，淵上鯉一，(宗)法泉寺，前田紀道，前野恵子，牧山グラウンドゴルフ同好会，真島敬一郎，松井昭子，松下徹，松延彰友，松原建彦，三浦康明，三末勇，溝口義晴，光井幾蔵，三井茂生，光富慎吾，光安如成，魅モード1，宮島なずな・すずな，向笠洋三，牟田芳子，宗田利明，村上俊明，村上歯科医院スタッフ一同，室田光児・百合子，明治学園小学校児童会，安松聖高，安村茂男，弥永耕一，矢野雄，山岡光孝・芳恵，山家内科医院，山際久子，山口くに，山下新一郎，山本猛，山本哲夫，吉田守男，吉永正人，吉永淑子，米倉昭史，若松商業高校，渡邊千鶴子，渡邊優希野・優芽野，匿名30件

- ▼佐賀県：石井倫平，市丸晴子，口石將博，重松成典，杉原茂樹，武田清子，豊田俊明，野見山涼子，匿名3件
- ▼長崎県：ASA住吉，阿南貞雄，後田敏子，里崎裕康，高岡願生，中尾カスミ，浜野裕，原本康雄，牟田義人，百田眞瑳彦，吉岡利満，匿名5件
- ▼熊本県：ASA田迎，朝日新聞湯前専売店，岡山洋二，嘉島新聞販売センター，熊丸茂，坂田サチ子，志方栄吉，竹馬莉乃，竹中研治，樽海友希，永野昌安，中村修，間部病院，宮崎邦介，宮田和子，本村久子，森本政幸，匿名7件
- ▼大分県：ASA日出，ASA豊後高田，朝日新聞日田販売，朝日新聞三重・緒方店，安達和子，岩永知子，河野なみ子，棕園ミヨ子，神戸信之，佐々木伸子，佐藤トシ子，高橋由貴子，玉田正富，丹羽瑛，原隆，原嘉徳，藤島宣典，松岡郁男，松成満男，美登公希，矢永英子，山崎福男，山本宏子，匿名6件
- ▼宮崎県：赤池義昭，塚田嘉也，中山民男，藤元秀一郎，匿名2件
- ▼鹿児島県：赤崎安満，雨宮仁，木村龍一郎・理，田辺元，帖佐理子，匿名4件

【朝日福祉募金】

- ▼北海道：匿名
- ▼宮城県：匿名
- ▼福島県：阿部勇，匿名
- ▼茨城県：宮崎千勝，匿名
- ▼埼玉県：遠藤靖夫，小林佐千雄，中島竹二，松沢治郎，宮本義忠，山本久二男，匿名 2 件
- ▼千葉県：池田守，石川三朗，石原正太郎，岩間正雄，柿崎謙介，唐木田卓司，川島正治，菊原睦夫，桑折勇一，柴田眞樹，田口久雄，田辺昇一，都丸司，豊田明，永原正喜，野村誠二，林常蔵，藤井富一，水川毅，三石昭，武藤弘，吉川公朗，匿名 5 件
- ▼東京都：飯田孝一，石橋英太郎，伊藤牧夫，上田泰真，内山鶴雄，大東昇，大房順雄，荻野義夫，鏑木進，木下喜太郎，清時竹彦，久保田龍二，黒田正純，国府田七郎，小島正治，小林金太郎，小林頼重，近藤喜明，佐藤文雄，澤村綺一郎，柴田琇一，清水太一，鈴木弘，竹内實昭，田辺東平，谷義郎，寺田真文，登内正，中川隆生，永吉安正，奈良昌一，野本登，浜田隆，伴亘，福井正行，細川洋一，堀口昭，牧野清，宮内繁，宮澤恭人，米良哲，山崎有一郎，吉橋市太郎，匿名 1 3 件
- ▼神奈川県：石原嘉博，伊東義雄，今津弘，沖研三，尾崎昭雄，春日廣之助，加納安實，北村幸雄，小杉弘，小林朝貴，小宮末雄，中尾英一，中島善範，菱沼保幸，平土井寿男，匿名 1 6 件
- ▼富山県：匿名
- ▼石川県：進地三雄
- ▼福井県：匿名
- ▼長野県：小坂健介，宮沢東洋雄，師岡恒司
- ▼岐阜県：小林正典，長谷川弘，匿名
- ▼静岡県：匿名
- ▼愛知県：荒川敏夫，池田信之，伊藤隆之，尾関博，尾野忠雄，加藤武，加藤文男，蟹江大作，蒲田春雄，河合甲子，小林昌雄，佐野三郎，竹中辰夫，田村潔，中野博，西村光明，野田一三，林弘，堀鐵蔵，松川静雄，松野辰弥，三浦豊，山田美智子，匿名 1 3 件
- ▼三重県：別所禮三
- ▼滋賀県：匿名
- ▼京都府：北山，吉村幸夫，匿名 3 件
- ▼大阪府：井原邦夫，上田輝雄，鶴飼修三，梅原寿春，川人泰，佐藤勉，澤田雅春，嶋倉宏，新谷洋二，鈴木実，武林明，多湖校，田中勝美，辻治，辻義雄，中須賀敏，永田勇，奈良弘美，橋本文夫，福島勝，藤野キクエ，細川福義，堀昭一，松井繁，松崎一，松本善三郎，渡辺，渡里洋亮，匿名 1 2 件
- ▼兵庫県：小倉淳平，中江義雄，新妻義輔，匿名 1 0 件
- ▼奈良県：奥田清六郎，谷義郎，八木一夫，匿名 8 件
- ▼和歌山県：野口稔

- ▼鳥取県：矢谷啓，匿名
- ▼岡山県：匿名 2 件
- ▼広島県：匿名
- ▼徳島県：小畑光正
- ▼福岡県：秋成府左治，朝日新聞印刷部OB忘年会，朝日新聞写真製版OB会，浅海一隼，有馬律生，飯田隆之，飯田守人，池野美都子，石田明男，今井眞澄，井本武彦，岩下辰蔵，岩田光雄，上野敏彦，植村暹爾，内田満寿，内山健治，浦橋正男，江島幸子，扇谷範可，大木昭幸，大塚保人，岡村紀郎，奥野豊，小原秀俊，加来勉，梶谷忠夫，加治屋留美子，柏木昭二，金子隆彦，河村寅明，木下京子，木村賢示，楠野宏康，久保一博，熊谷新，熊野ちよ，倉本和美，栗栖克則，栗山太，黒川五郎，黒谷次郎一，久和秋雄，桑原純，河内山寛，小熊坂公千，小崎哲也，斎藤保，佐藤郁男，佐藤武美，佐保肇，三小田功，城後滋，城島伸介，末安巧児，副島恒彦，園田明信，園田正信，田尾美智代，高巢眞澄，高村広，竹中久，田島栄次，田中時雄，谷口幸子，田畑親，俵アキノ，長治良知，鶴田多賀子，徳山雅夫，戸田三七生，友井滋，豊田茂行，取違芳弘，中美穂子，中島敏夫，中荘俊，永田諫也，長野實，中野俊雄，中村治雄・知津子，中村寿，並波真，成重喜徳，野上智宏，野口正路，野口貢，畑富彦，畠中保實，日朝高晴，久野達明，日高毅，日高寛，日原五郎，平井信広，福島新生，福田宏行，藤尾且一郎，藤崎良人，藤崎良之，藤巻義範，古庄三喜男，堀益一，本田伸之，前田奉一郎，前田稔，松本弘，松本富士夫，丸野了，丸山隆志，水上平吉，水ノ江正，溝部忠増，宮崎冬樹，雌熊二三雄，毛利弥生，森幸十，森茂夫，森重和好，森脇巖，山下幸子，山本重美，山本英雄，横田チヨ子，米田勇，和田歩佳，渡辺凱昌，匿名 1 4 件
- ▼長崎県：匿名
- ▼大分県：石崎晃一郎，柳瀬陽之助，吉松忠徳，匿名 3 件
- ▼宮崎県：井上公宏
- ▼鹿児島県：匿名

朝日福祉ガイドブック・DVD・ビデオご案内

◆朝日福祉ガイドDVD◆

『自閉症の子どもの評価 全4巻』

セット価格 18,000円
各巻 4,800円

自閉症の人たちを正しく支援する上で、すべての基礎となる評価を詳しく・具体的に・分かりやすく映像化しました。第1巻「評価の仕方」(65分)・第2巻「評価のポイント」(48分)・第3巻「評価と課題設定」(86分)・第4巻「自立のための評価」(71分)。

『自閉症の子どもの自立課題 全3巻』

セット価格 13,500円
各巻 4,800円

「自分是可以るんだ」という感覚を養い、いろいろなことに取り組もうという意欲を育て、将来の自立した活動につながる「自立課題」を詳しくやさしく紹介。第1巻「自立課題の選び方」(64分)・第2巻「自立課題の作り方」(59分)・第3巻「自立課題の作り方」(49分)。

『青年期・成人期のTEACCHプログラム』

3,000円 (56分)

学校卒業後の就職や居住、余暇の過ごし方など、青年期・成人期の自閉症の人たちへのTEACCHによる支援プログラムを紹介。

『自閉症児の明日のために』

—TEACCHのねらいと考え方—
3,000円 (49分)

TEACCHプログラムの全体像をセラピストの立場から紹介。日本の自閉症の人たちを支援する上で何が必要かを示唆。

『親のためのTEACCHプログラム』

3,000円 (68分)

TEACCHプログラムの家庭での支援の実際を具体的に紹介。親の立場で実践できるように分かりやすくまとめた。

『教師のためのTEACCHプログラム』

3,000円 (67分)

教室やスケジュールの設定、親との連携など、学校や施設・作業所などで自閉症の人たちに関わる教師や指導員の参考に。

◆朝日福祉ガイドビデオ◆

『自閉症の治療教育』

3,000円 (60分)

全米自閉症児親の会の様子や米国ノースカロライナ州の自閉症の療育への取り組みを紹介。

『TEACCH』

3,000円 (90分)

TEACCH部で行われている一週間にわたる教師のための訓練セミナーの様子を詳しく紹介。

『ダウン症児のための赤ちゃん体操』

4巻セット 15,000円 (各30分)

ダウン症の赤ちゃんの発育に合わせて楽しい音楽で行う体操。生後2ヵ月から2歳位までの赤ちゃんに。

◆朝日福祉ガイドブック◆

- | | |
|-----------------------------|---|
| 『自閉症の人たちを支援するということ』
800円 | TEACCHプログラムの最高責任者ゲーリー・メジボフ教授が自閉症の障害と同プログラムの内容について分かりやすく解説。 |
| 『自閉症のひとたちへの援助システム』
500円 | TEACCHプログラムの実践事例を豊富な写真とイラストで紹介しながら、同プログラムを日本でいかに生かすかを提案。 |
| 『きみといっしょに』
500円 | 全国のLD児を持つ親たちがLD児への理解やよりよい付き合い方をまとめた手引。Q&Aと推薦する相談・診断機関などを掲載。 |
| 『くるまいす-第3改訂版』
300円 | 車いすの種類や構造、基礎的な介助方法や介助のポイントを分かりやすく解説。公共交通機関の利用についてもふれています。 |
| 『新・川崎病がわかる本改訂増補版』
500円 | 乳幼児を中心に発病する原因不明の“川崎病”について症状・特色・療養上の注意・相談窓口など最新の情報を加えて解説。 |
| 『小児ぜんそくは治る』
500円 | 小児ぜんそくを正しく理解し、どのように予防し、治していくかを分かりやすく解説。 |

◆お申し込み・お問い合わせ◆

ご希望の方は電話かFAX、電子メールで下記までお申し込みください。

(タイトル名、数量、送り先、電話番号を明記)

HP (<http://www.asahi-welfare.or.jp/>) からもお申し込みいただけます。

朝日新聞厚生文化事業団 朝日福祉ガイドブック・DVD・ビデオ係

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2 郵便振替 00130-1-9166

tel : 03-5540-7446 fax : 03-5565-1643

朝日新聞厚生文化事業団のあゆみ

人間尊重の原点に立って

朝日新聞厚生文化事業団の設立のきっかけは1923（大正12）年9月1日の関東大震災の被災者救援活動です。朝日新聞社は全国から寄せられた義援金や食糧、生活用品を被災者に配り、震災の翌年末には「歳末同情週間」（現在の「歳末助け合い」）を主催し、紙面キャンペーンや街頭募金をはじめ、美術家や作家などの協力を得た「色紙・短冊即売会」（現在の「朝日チャリティー美術展」）を催しました。これらの寄金を食糧や衣料品にかえて生活に困る人々に贈りました。

その後、世界的な経済恐慌で生活困窮者が増え、社会問題が続発したため、28年1月に「社団法人朝日新聞社会事業団」を大阪朝日新聞社に創設しました。「歳末同情週間」の寄金で生活困窮者に慰問袋や無料診療券、常備白米券を配布し、出世資金の貸し出し、農繁期託児所の開設、水上生活者のための無料診療船巡航などを実施しました。学校に弁当を持参できない子どもたちの「欠食児童給食運動」キャンペーンは現在の学校給食のきっかけとなりました。大阪に公衆衛生訪問婦協会を設立、保健、育児など多岐にわたる活動はわが国の保健師制度の基礎を築きました。

第2次大戦後は、戦災者や引揚者への家庭常備薬、衣料品の配布、傷病兵慰問などの援護事業から始まりました。廃虚の中での明るい話題は、49年9月にインドのネール首相から贈られた象「インディラ」の「移動動物園」でした。半年間で東日本18都市を回り、子どもたちの笑顔を取り戻しました。

52年に社会福祉事業法が制定され、朝日新聞社の東京、大阪、西部各本社にそれぞれ独立の社会福祉法人を設け、「朝日新聞厚生文化事業団」と改称しました。63年には大阪事業団の名古屋支部が独立し、全国展開事業とともに地域福祉事業の推進に着手しました。

戦後の復興とともに本格的な福祉事業への取り組みが始まり、大阪に「アサヒ生駒山キャンプセンター」を開設、児童養護施設の中学生修学旅行や福祉施設で暮らすお年寄りの温泉旅行も始まりました。54年8月に第1回の「朝日夏季保育大学」が開かれ、56年2月から始まった「この子たちの親を探そう」運動は、戦争で生き別れた親子146組の対面を実現しました。ハンセン病の正しい理解と患者支援ために「大阪ハンセン病協力会」を設立、「アサヒベビー相談室」が大阪、名古屋のデパートで開設し、大学医学部による全国の無医地区診療など医療と公衆衛生事業にも力を注ぎました。59年9月の伊勢湾台風、64年6月の新潟地震では被災地に朝日診療車が出動、被災者救護にあたり、全国からの救援物資を配布しました。

高度経済成長とともに事業を拡大。愛知県梶島の「アサヒキャンプセンター」、千葉県保田

海岸の「朝日臨海福祉センター」、大分県九重高原の「朝日高原福祉センター」を開設。各所では福祉施設の子どもや障害児のキャンプ事業が始まり、また激増する交通遺児家庭の支援活動や視覚障害学生の奨学金制度を創設しました。

障害者や難病患者の支援も本格化し、電動タイプライター、電動車いすの贈呈、普及キャンペーンを展開しました。福祉のまちづくりを進める「車いす市民交流集会」や障害者の海外旅行の先駆けとして注目された福祉先進国を訪ねる「車いすヨーロッパの旅」も始まりました。これらの参加者の多くが、障害者自立生活運動の中心となりました。また、「朝日ボランティア奨励金」「朝日福祉設備助成金」（86年に「朝日福祉助成金」に統合）を相次いで創設、各地でボランティア講座を開くなど草の根福祉活動の支援を進め、寝たきり、認知症（痴ほう）高齢者の問題に対応する「アサヒ老人家族相談室」も開設しました。

81年の国際障害者年には「障害者の自立を考えるシンポジウム」を全国で開催し、ノーマライゼーション思想を基にコミュニケーション、プリンターや手書き電話、福祉電話装置「ふれあい」などの贈呈運動を展開しました。精神障害者医療、福祉先進国の欧米5カ国に視察団を派遣、日中平和友好条約締結10周年記念の「日本・中国車いす市民友好相互交流」を実施しました。

また、自閉症の支援システム「TEACCH（ティーチ）プログラム」に着目、米国ノースカロライナ大学から講師を招請した研修会を開き、ガイドブック・ビデオを制作、頒布するなど本格的な普及活動を開始しました。同時に学習障害児（LD）の理解を進める公開相談会や深刻な社会問題となった青少年の「ひきこもり」問題を考えるシンポジウムも各地で開きました。手話の普及とボランティア活動、福祉教育の推進をはかる「全国高校生（大学生）の手話のスピーチコンテスト」は84年にスタート、「手話の甲子園大会」として定着しています。91年からの「アジア障害者の10年」にあたり、全国の障害者施設・団体と協力してタイ・ベトナム・カンボジア・フィリピンなどの障害者に車いすを贈る運動を展開、現地の障害者が働く車いすの製作、修理工場を設置しました。

一方、83年のアフリカ飢餓救援キャンペーンをはじめ国内外で起こった災害に対応、救援募金を呼びかけてきました。91年には「チェルノブイリに光を」キャンペーンを開始、広島・長崎の赤十字病院で被災地の子どもを診療、医師が被曝（ひばく）治療の研修をしました。

未曾有（みぞう）の大災害となった95年1月の阪神淡路大震災では、救援拠点の「朝日ボランティア基地」を開設、高齢者や障害者への緊急援助をはじめ、仮設住宅世帯、アジアからの留学生支援、震災遺児支援など多岐にわたる活動を行いました。この実績は、04年の新潟県中越地震でも生かされ、被災者の心のケアをはかる独自事業を展開しました。

東京・大阪・西部・名古屋で独立して活動してきた各事業団は、2001年4月1日に合併、新たに「社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団」として発足しました。

08年に創設80年を迎え、より強固な基盤と未来を見据え事業の見直しと組織改革に取り組んでいます。

2008年度 収支計算書

(2008年4月1日～2009年3月31日)

単位：円

事業活動収入	567,513,625	事業活動支出	481,493,317
事業収入	201,452,250	事業支出	223,258,605
児童福祉事業	2,996,678	児童福祉事業	19,829,576
障害者福祉事業	14,321,293	障害者福祉事業	26,354,998
高齢者福祉事業	521,921	高齢者福祉事業	1,955,943
西部福祉助成金	389	西部福祉助成金	5,000,995
チャリティー事業	166,375,706	チャリティー事業	101,839,004
医療と公衆衛生	3,446,492	医療と公衆衛生	506,633
福祉啓発推進	430,124	福祉啓発推進	1,686,583
朝日福祉ガイド(DVD 他)	13,355,240	朝日福祉ガイド(DVD 他)	8,851,820
80周年事業	4,407	80周年事業	57,233,053
寄付金収入	346,193,715		
引当金戻入	19,867,660	引当金繰入	18,722,500
		人件費	192,618,742
		事務費	46,566,535
		減価償却費	326,935
事業活動外・特別収入	44,268,807	事業活動外・特別支出	30,989,053
財産収入	13,279,754		
経理区分間繰入金収入	30,989,053	経理区分間繰入金支出	30,989,053
		当期活動収支差額	99,300,062
合計	611,782,432	合計	611,782,432

理事・評議員名簿

2009年3月31日現在

社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団／理事・監事・評議員

(理事 6人 監事 2人 評議員 13人) 敬称略・順不同

理事長	山本 義博	朝日新聞厚生文化事業団理事長 朝日新聞社常勤顧問
常務理事	関戸 衛	朝日新聞厚生文化事業団常務理事
理事	佐々木正美	川崎医療福祉大学特任教授
同	佐方 紀子	社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団常務理事
同	橘 優	財団法人朝日新聞文化財団常務理事
同	山田 雄一	朝日新聞厚生文化事業団事務局長
監事	関岡 武次	元東京都福祉局長
同	福井 正行	朝日新聞信用組合理事長
評議員	野村 寛	東京都社会福祉協議会事務局長
同	炭谷 茂	社会福祉法人恩賜財団済生会理事長・元環境事務次官
同	佐々木正美	川崎医療福祉大学特任教授
同	山田 昭義	社会福祉法人A J U自立の家専務理事
同	佐方 紀子	社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団常務理事
同	窪田 悦郎	社会福祉法人こどもの国協会園長
同	橘 優	財団法人朝日新聞文化財団常務理事
同	粕谷 卓志	朝日新聞社役員待遇・編集担当
同	後藤 尚雄	朝日新聞社役員待遇・事業・国際・出版担当
同	石井 勤	朝日新聞社グループ戦略本部長
同	山本 義博	朝日新聞厚生文化事業団理事長 朝日新聞社常勤顧問
同	関戸 衛	朝日新聞厚生文化事業団常務理事
同	桑山 明彦	朝日新聞厚生文化事業団大阪事務所長

※09年3月31日付の定款一部変更に伴い・理事定数6人（従来は9人）・評議員定数13人（同19人）に改めた。

お問い合わせ先

■本部・東京事務所

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

TEL03(5540)7446 FAX03(5565)1643

□郵便振替…口座番号「00130-1-9166」

□銀行振込…三井住友銀行新橋支店 普通「303668」

■大阪事務所

〒530-8211 大阪府大阪市北区中之島3-2-4

TEL06(6201)8008 FAX06(6231)3004

■西部事務所

〒803-8586 福岡県北九州市小倉北区室町1-1-1

TEL093(563)1284 FAX093(563)1287

■名古屋事務所

〒460-8488 愛知県名古屋市中区栄1-3-3

TEL052(221)0307 FAX052(221)5453

※ご寄付に際して朝日新聞厚生文化事業団が振込料金を負担する「郵便振替用紙」をご希望の方はご請求下さい。銀行振込の場合はご連絡下さい。

※各地の朝日新聞本・支社・総局・支局でもお受けします。

※寄付金は所得税法・法人税法による寄付金控除が認められております。

朝日新聞厚生文化事業団職員名簿（2009年4月1日現在）

■本部・東京事務所

事務局長 山田 雄一
次長 島田佳津比古
事業課長 福田 年之
管理課長 池谷 澄子
野崎 貴士
小倉 玲子
中村 宣人
保谷 加代子

■大阪事務所

事務局長 喜田 洋
次長 松永 勉
事業課長 中村 茂高
坂東 美喜子
脇 敬子
柳沢 佐和子
参与 桑山 明彦

■西部事務所

事務局長 成重 博美
榎並 怜子

■名古屋事務所

事務局長 植田 幹夫
東 幸枝
参与 山田 篤